

蒲郡市における公共交通に関する住民アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 調査対象

蒲郡市在住の満 16 歳以上の方 3,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）

(2) 調査方法

郵送による配布・回収

(3) 調査期間

平成 29 年 9 月 12 日（火）～平成 29 年 9 月 25 日（月）

(4) 回収数

1,159 票（38.6%）

(5) 調査項目

問 1：回答者属性

問 2：外出頻度・目的

問 3：公共交通に対する評価

問 4：バスの利用実態とその満足度

問 5：「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度

問 6：蒲郡市の将来的な公共交通のあり方

問 7：バスを全く利用しない人の理由と利用可能性

（参考）居住地別分析に係る中学校区分

校区	町名
大塚校区	相楽町、大塚町、海陽町
三谷校区	三谷町、三谷北通
蒲郡校区	平田町、豊岡町、五井町、府相町、新井形町、蒲郡町、堀込町、新井町、八百富町、神明町、本町、上本町、中央本町、元町、丸山町、竹島町、松原町、港町
中部校区	水竹町、清田町、坂本町、神ノ郷町、宝町、御幸町、宮成町、緑町、旭町、栄町
塩津校区	柏原町、竹谷町、西迫町、拾石町、鹿島町、浜町
形原校区	一色町、金平町、形原町、形原町北浜、形原町春日浦
西浦校区	西浦町

(6) 備考

回答結果の集計は百分率を採用し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、各選択肢の割合の合計値が 100%にならない場合がある。

2. 調査結果概要

(1) 総括

- 蒲郡市民においては、主な移動手段が自家用車であり、公共交通の利用状況及び利用意向は、高くなく、今後も公共交通への転換意向は低い。また、税金を投入した民間路線バスについては、維持もしくは抑制すべきとの意向が高い。
- 年齢別では、自家用車を主な交通手段としている 20 歳代～60 歳代前半については、公共交通の利便性の向上が利用のきっかけになるとは考えにくい結果となった。
- 居住地別では、名鉄西尾・蒲郡線の沿線ではない「大塚校区」、「三谷校区」、「蒲郡校区」、「中部校区」で公共交通に対するサービス水準の満足度が低く、加えて、税金を投入した路線維持に対して税金投入が多いとの評価とになっている。
- 他方で、名鉄西尾・蒲郡線、路線バスを有する「形原校区」・「西浦校区」では、「妥当な税金投入額」との評価が他校区と比較して高く、路線維持への期待と言える。
- 今後、自家用車を有しない公共交通利用者に対して、適正な税金投入額を見定めた効率的なサービスの検討と提供が求められる。

(2) 各設問における結果概要

【問 3】公共交通に対する評価

全体	・ 日常の公共交通での移動における不便の有無は、「感じている」と「やや感じている」が 34.6%で、3 人に 1 人が移動に不便を感じている。 ・ その理由は、「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」が 55.4%と最も高く、次いで、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」(48.9%)、「車の方が公共交通と比べて便利」(46.9%)。
年齢別	・ 「40 歳代」(42.6%)と「50 歳代」(40.1%)で「感じている」と「やや感じている」が 40%以上。 ・ 「20 歳代」(59.1%)、「40 歳代」(59.7%)で「車の方が公共交通と比べて便利」が最上位。
居住地別	・ 「大塚校区」で「感じている」と「やや感じている」が 42.4%と唯一 40%以上。 ・ 「大塚校区」(66.7%)、「三谷校区」(50.9%)、「形原校区」(55.6%)、「西浦校区」(57.1%)で「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」が最上位。

【問４】バスの利用実態とその満足度

全体	・ 利用頻度は、「ほとんど乗らない」が 85.4%で大半を占めており、利用しても「年に数日」(8.1%)。 ・ 満足度は、「満足」と「おおむね満足」が 35.1%、「やや不満」と「不満」が 46.3%。また、「バスを必要としない」が 6.7%。
年齢別	・ 利用頻度は、高齢になるほど利用頻度は向上するが、最も利用頻度が高い「80歳以上」でも 17.3%。 ・ 満足度は、「満足」と「おおむね満足」が「20歳未満」(75.0%)、「20歳代」(57.2%)で 50%以上、「50歳代」が 17.3%と最下位。
居住地別	・ 利用頻度は、「形原校区」(17.1%)と「西浦校区」(19.8%)が約 20%と他の校区より利用頻度が高い。 ・ 満足度は、「大塚校区」が 45.5%と最も高く、次いで、「形原校区」(40.0%)、「塩津校区」(37.5%)で、「三谷校区」が 18.2%と最下位。

【問５】「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度

全体	・ 利用頻度は、「ほとんど乗らない」が 75.8%と大半。 ・ 利用しない理由は、「自分で車を運転できるから」が 69.6%と過半数。 ・ 利用促進活動に対する考えは、「廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するように PR すべき」が 35.1%と最も高く、次いで、「路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき」(30.0%)、「廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき」(29.4%)。
年齢別	・ 利用頻度は、「20歳未満」(10.0%)と「20歳代」(7.7%)で約 10%が「週に 3 日以上」利用。 ・ 利用しない理由は、「20歳未満」で「行きたい場所に名鉄が通っていない」が 50.0%と最も高い。 ・ 利用促進活動に対する考えは、「65～69歳」(21.1%)、「70～74歳」(23.3%)、「75～79歳」(21.8%)で「生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい」も上位。
居住地別	・ 利用頻度は、「ほとんど乗らない」が 75.8%と大半。 ・ 「形原校区」(43.6%)と「西浦校区」(53.9%)で他校区と比較して利用頻度が高い。 ・ 利用しない理由は、全体と同様の傾向。 ・ 利用促進活動に対する考えは、「形原校区」(34.6%)と「西浦校区」(45.1%)で「生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい」も上位。

【問 6】蒲郡市の将来的な公共交通のあり方

① 税金を投入して維持すべきために優先する目的

全体	・ 「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が 58.6%と最も高く、次いで、「高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」(49.3%)、「病院に通院」できるようにするため」(44.2%)。
年齢別	・ 「20 歳代」(44.6%) で「「通勤」できるようにするため」が、上位 3 項目のひとつ。
居住地別	・ 「西浦校区」(42.9%) で「「通勤」できるようにするため」が、上位 3 項目のひとつ。

② 形原地区支線バス（あじさいくりんバス）の認知度

全体	・ 「知っている」(51.3%) が「知らない」(44.6%)。
年齢別	・ 「20 歳未満」(66.7%)、「20 歳代」(72.3%)、30 歳代」(60.0%) で「知らない」が 60%以上となっており、年齢層が高いほど認知度が高い。
居住地別	・ 「大塚校区」(55.3%)、「三谷校区」(59.3%)、「蒲郡校区」(60.8%)、「中部校区」(61.0%) で「知らない」がおおむね 60%以上。「形原校区」(86.8%) と「西浦校区」(75.8%) では「知っている」が大半。

③ 形原地区以外の地区でのコミュニティバスの事業化に対する考え

全体	・ 「地区の要望と協力があれば、コミュニティバスをその地区で運行すべき」が 48.0%と約半数。
年齢別	・ 「30 歳代」(20.0%) で「市の負担（税投入）を前提とする赤字事業は行うべきではない」が次点（同率を含む）。
居住地別	・ 「大塚校区」(15.3%)、「三谷校区」(17.4%)、「中部校区」(14.0%)、「塩津校区」(13.5%) で「市の負担（税投入）を前提とする赤字事業は行うべきではない」が次点（同率を含む）。

④ 路線ごとに投入する税金の額の違いに対する考え

全体	「現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき」（維持すべき）が 33.4%、次いで、「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき」（コスト削減を図るべき）（32.4%）。 「維持すべき」と「コスト削減を図るべき」との考えが、ほぼ同等。
年齢別	「50 歳代」以下で「コスト削減すべき」、「60～64 歳」以上で「維持すべき」が最上位。
居住地別	「大塚校区」（36.5%）、「三谷校区」（37.1%）、「中部校区」（33.1%）で「コスト削減を図るべき」、「蒲郡校区」（32.1%）、「塩津校区」（36.8%）、「形原校区」（40.6%）、「西浦校区」（50.5%）で「維持すべき」が最上位。

⑤ 鉄道・路線バス・支線バス等を維持するための年間約 1 億 6,000 万円の税金投入に対する考え

全体	「妥当」が 31.1%と最も高く、「多すぎる」と「やや多すぎる」が 50.8%。
年齢別	「20 歳代」～「50 歳代」で「多すぎる」と「やや多すぎる」が 50%以上。
居住地別	「大塚校区」、「三谷校区」、「蒲郡校区」、「中部校区」、「塩津校区」で「多すぎる」と「やや多すぎる」が 50%以上。

⑥ 今後の税金投入とこれからの公共交通サービスの水準に対する考え

全体	「わからない」が 25.3%と最も高く、次いで、「別の方法で対応する」（19.2%）、「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」（16.0%）。
年齢別	「20 歳代」で「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）」（21.5%）、「50 歳代」で「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」（20.3%）が最上位。
居住地別	「形原校区」（24.4%）と「西浦校区」（24.2%）で「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」が最上位。

⑦ 「高齢者タクシー運賃助成事業」に対する考え

全体	「高齢者向けの移動サービスとして、現在の事業をそのまま継続すべき」が 40.8%で最も高く、次いで、「現在配布している枚数（100 枚）を、年間 50 枚に削減し、市の補助額を削減すべき」（28.3%）、「配布対象年齢を 70 歳から、75 歳に引き上げることで、補助額を削減すべき」（26.7%）。
年齢別	「75～79 歳」で「配布対象年齢を 70 歳から、75 歳に引き上げることで、補助額を削減すべき」（39.6%）、「80 歳以上」で「配布対象年齢を 70 歳から、75 歳に引き上げることで、補助額を削減すべき」（34.5%）が最上位。
居住地別	全体と同様の傾向。

⑧ 「交通空白地域」に対する考え

全体	「交通空白地域」に対する考えは、「地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい」が23.8%で最も高く、次いで、「民間バス事業者と協議・連携し、(一定の補助金を出しても)交通空白地域をなくすよう路線をつくるべき」(19.1%)、「70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、枚数の制限をなくして配布すればよい」(17.1%)となっている。
年齢別	「20歳未満」で「交通空白地域であるので、税金を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき」(30.0%)、「20歳代」(24.6%)で「70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、年齢の制限を無くして配布すればよい」、「30歳代」で「民間バスの事業者が対応しないところだから、交通空白地帯でもやむを得ない」(26.1%)が最上位。
居住地別	全体と同様の傾向。

⑨ 自家用車中心から公共交通中心の生活への転換に対する考え

全体	「将来、年をとったらできると思う」が39.7%で最も高く、次いで、「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」(32.1%)。 - 転換する年齢は、「80～84歳」が26.7%で最も高く、次いで、「75～79歳」(25.2%)、「70～74歳」(23.5%)。
年齢別	「20歳未満」(40.0%)、「20歳代」(43.1%)、「30歳代」(41.7%)、「50歳代」(39.1%)で「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」が最上位。 「20歳未満」(33.3%)で「65～69歳」での転換が最上位。年齢層が低いほど転換する年齢が低くなる傾向。
居住地別	「大塚校区」(40.0%)、「三谷校区」(40.1%)、「中部校区」(41.9%)で「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」が最上位。 - 転換する年齢は、全体と同様の傾向。

【問 7】バスを全く利用しない人の理由と利用可能性

① 自宅近くのバス停留所の有無

全体	・ 「ある」が 41.3%、「ない」が 29.7%。
居住地別	・ 「中部校区」で「ない」が 49.4%と「ある」(21.5%)を上回る。

② 利用しない理由

全体	・ 利用しない理由は、「自分で車を運転できるから」が 77.5%と大半。
年齢別	・ 利用しない理由は、全体と同様の傾向。
居住地別	・ 利用しない理由は、全体と同様の傾向。

③ 自宅近くにバスが運行された場合の利用に対する考え

全体	・ 「利用しない」が 54.5%と過半数。 ・ 利用しない理由は、「自家用車での移動を優先する」が 74.7%と大半。
年齢別	・ 年齢層が低くなるほど「利用しない」の割合が高い。 ・ 利用しない理由は、「20 歳未満」(42.9%)、「80 歳以上」(42.1%)で「家族の人が車で送迎してくれる」が最上位。「徒歩や自転車がある」の割合も高い。
居住地別	・ 「西浦校区」において「条件が合えば、たぶん利用する」が 51.9%と過半数を占め、他校区より高い。 ・ 利用しない理由は、全体と同様の傾向。

④ 条件が合えば利用する場合の条件

運行本数	・ 「30 分毎に 1 本程度運行するなら利用」が 39.6%と最も高く、次いで、「1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用」(22.2%)、「運行本数は関係ない(判断条件にはならない)」(16.0%)。 ・ 年齢別では、「70～74 歳」(52.2%)と「80 歳以上」(37.5%)で「1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用」が最上位。 ・ 居住地別では、「西浦校区」(33.3%)で「1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用」が最上位。
運賃	・ 「現在のバスの運賃と同じ程度であれば利用」が 36.8%と最も高く、次いで、「運賃は関係ない(判断条件にはならない)」(19.3%)、「距離で変動しない「定額運賃」であれば利用」(18.4%)。 ・ 年齢別、居住地別ともに、全体と同様の傾向。

所要時間	・ 「乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用」が 47.6%と最も高く、次いで、「ルートの設定から遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用」(26.9%)、「所要時間は関係ない(判断条件にはならない)」(15.6%)。 ・ 年齢別では、「75～79 歳」(40.7%)で「ルートの設定から遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用」が最上位。 ・ 居住地別では、全体と同様の傾向。
車両形状	・ 「車両の形状は関係ない(判断条件にはならない)」が 41.5%と最も高く、次いで、「ジャンボタクシーサイズの車両でも利用可能」(23.1%)、「一般的な「バス」車両であれば利用(車いすやバリアフリーは対応)」(22.2%)。 ・ 年齢別では、「80 歳以上」(25.0%)で「一般的な「バス」車両であれば利用(車いすやバリアフリーは対応)」が最上位。 ・ 居住地別では、「大塚校区」(35.3%)で「一般的な「バス」車両であれば利用(車いすやバリアフリーは対応)」がと最上位。
運行方式	・ 「自分が利用したい時間帯に運行している定時運行方式なら利用」が 46.7%と最も高く、次いで、「あらかじめ「予約」する方法でもかまわない(不定期運行方式)」(25.9%)、「運行方式は関係ない(判断条件にはならない)」(17.5%)。 ・ 年齢別では、全体と同様の傾向。 ・ 居住地別では、「塩津校区」(36.4%)で「あらかじめ「予約」する方法でもかまわない(不定期運行方式)」が最上位。
バス利用 が考えら れる目的 別の目的 地と外出 頻度	【通勤・通学】 ・ 目的地は、「蒲郡校区」が 12.7%と最も高く、次いで、「市外」(9.0%)、「形原校区」(3.3%)。 ・ 外出頻度は、「平日ほぼ毎日」が 18.4%と最も高く、次いで、「1 週間のほぼ毎日」(9.9%)、「ほとんど行かない」(2.8%)。
	【買い物・娯楽】 ・ 目的地は、「蒲郡校区」が 35.8%と最も高く、次いで、「市外」(5.7%)、「塩津校区」(4.7%)。 ・ 外出頻度は、「週に 1～2 日」が 22.2%と最も高く、次いで、「週に 3～4 日」(15.1%)、「1 ヶ月に数日」(12.3%)。
	【病院（通院）】 ・ 目的地は、「蒲郡校区」が 36.8%と最も高く、次いで、「三谷校区」(5.7%)、「形原校区」(4.2%)。 ・ 外出頻度は、「1 ヶ月に数日」が 29.7%と最も高く、次いで、「年に数日」(13.7%)、「ほとんど行かない」(6.1%)。

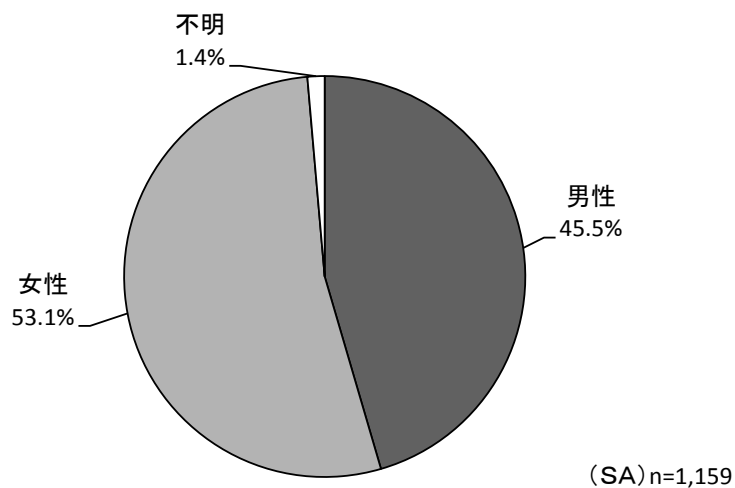
3. 調査結果

問1 回答者属性

(1) 性別

性別は、「男性」が45.5%、「女性」が53.1%となっている。

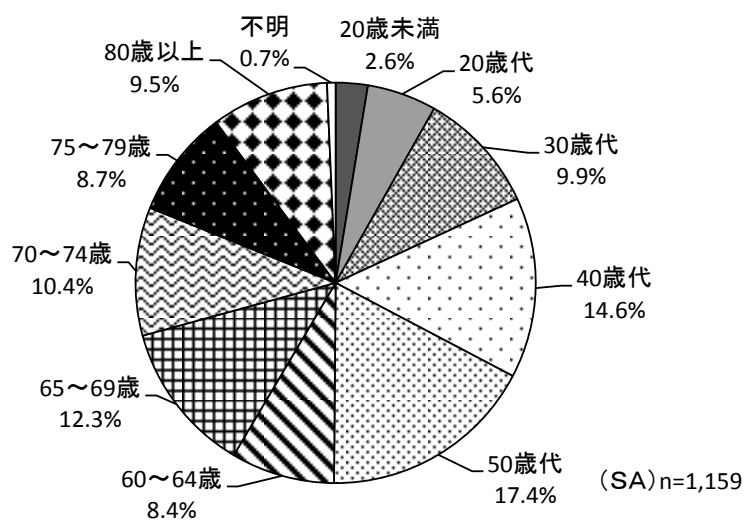
図表 1- 1 性別



(2) 年齢

年齢は、「50 歳代」が 17.4%と最も多く、次いで、「40 歳代」(14.6%)、「70～74 歳」(10.4%)の順となっている。

図表 1- 2 年齢



(3) 居住地

居住地は、「蒲郡校区」が 23.1%と最も多く、次いで、「形原校区」(20.2%)、「中部校区」(14.8%)となっている。

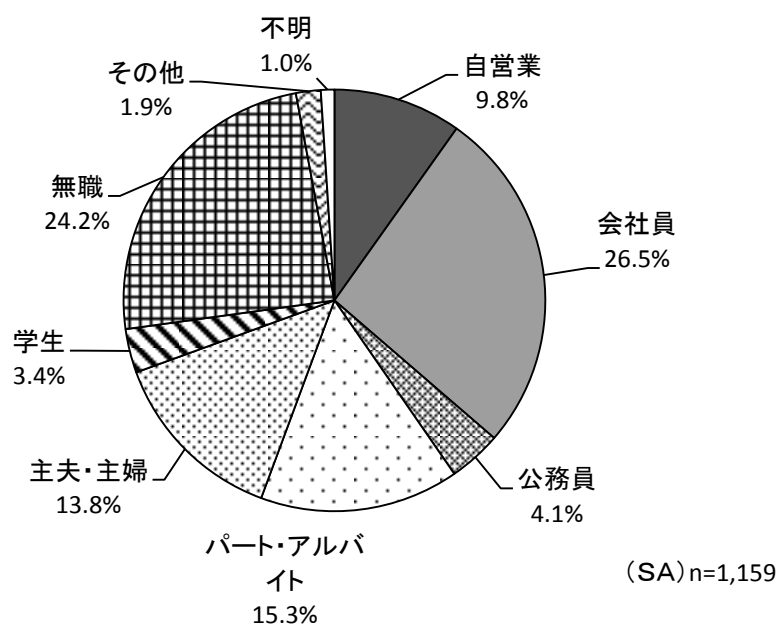
図表 1- 3 居住地

中学校区	回収数	割合 (%)
大塚校区	85	7.3
三谷校区	167	14.4
蒲郡校区	268	23.1
中部校区	172	14.8
塩津校区	133	11.5
形原校区	234	20.2
西浦校区	91	7.9
市外	2	0.2
不明	7	0.6
計	1,159	100.0

(4) 職業

職業は、「会社員」が 26.5%と最も多く、次いで、「無職」(24.2%)、「パート・アルバイト」(15.3%)の順となっている。

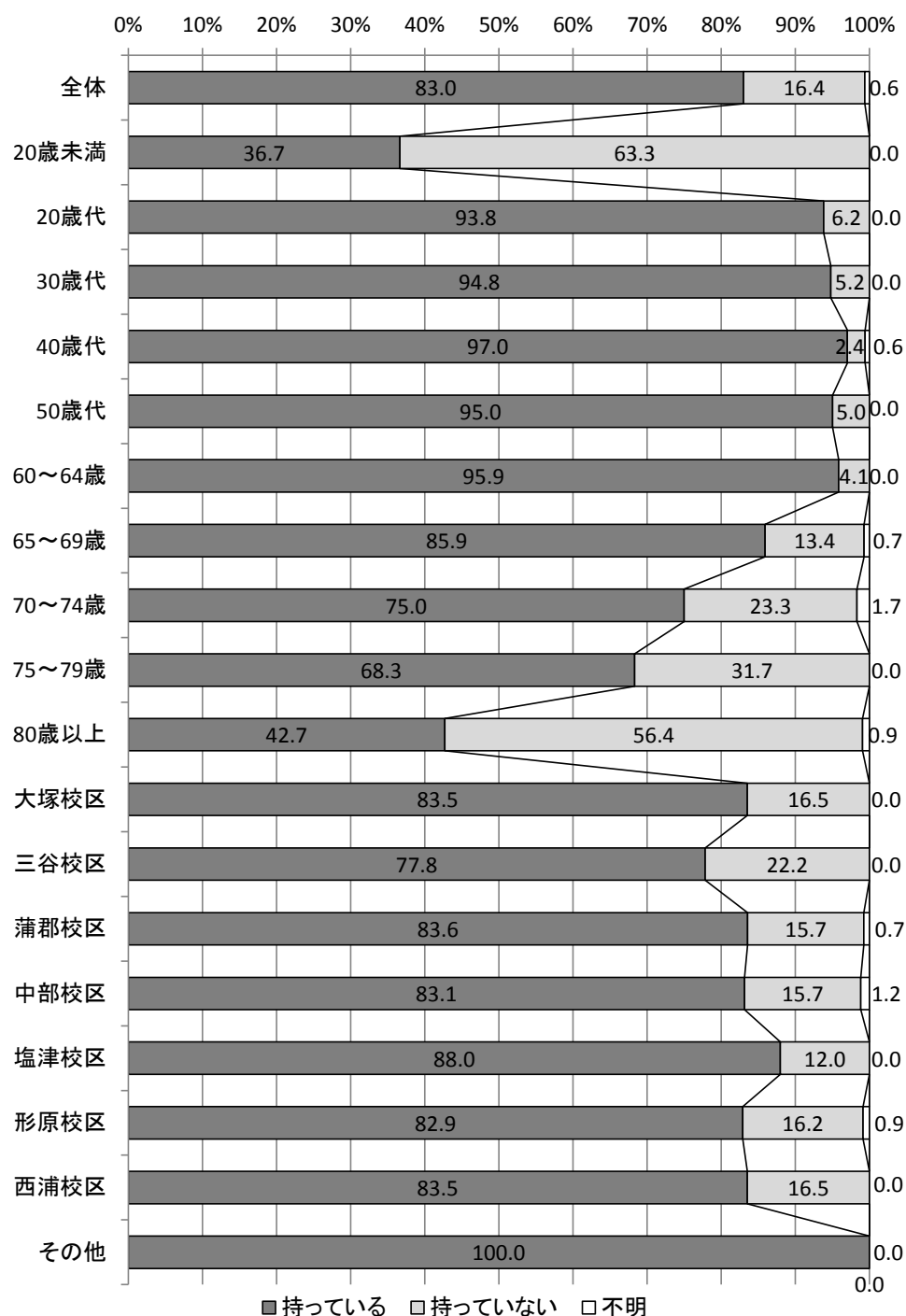
図表 1- 4 職業



(5) 自動車免許の保有

自動車免許の保有は、「持っている」が 83.0%、「持っていない」が 16.4%となっている。
 年齢別では、「20 歳未満」と「80 歳以上」で 50%未満となっている。
 居住地別では、各校区で概ね 80%前後となっている。

図表 1- 5 自動車免許の保有



(SA n=1,159)

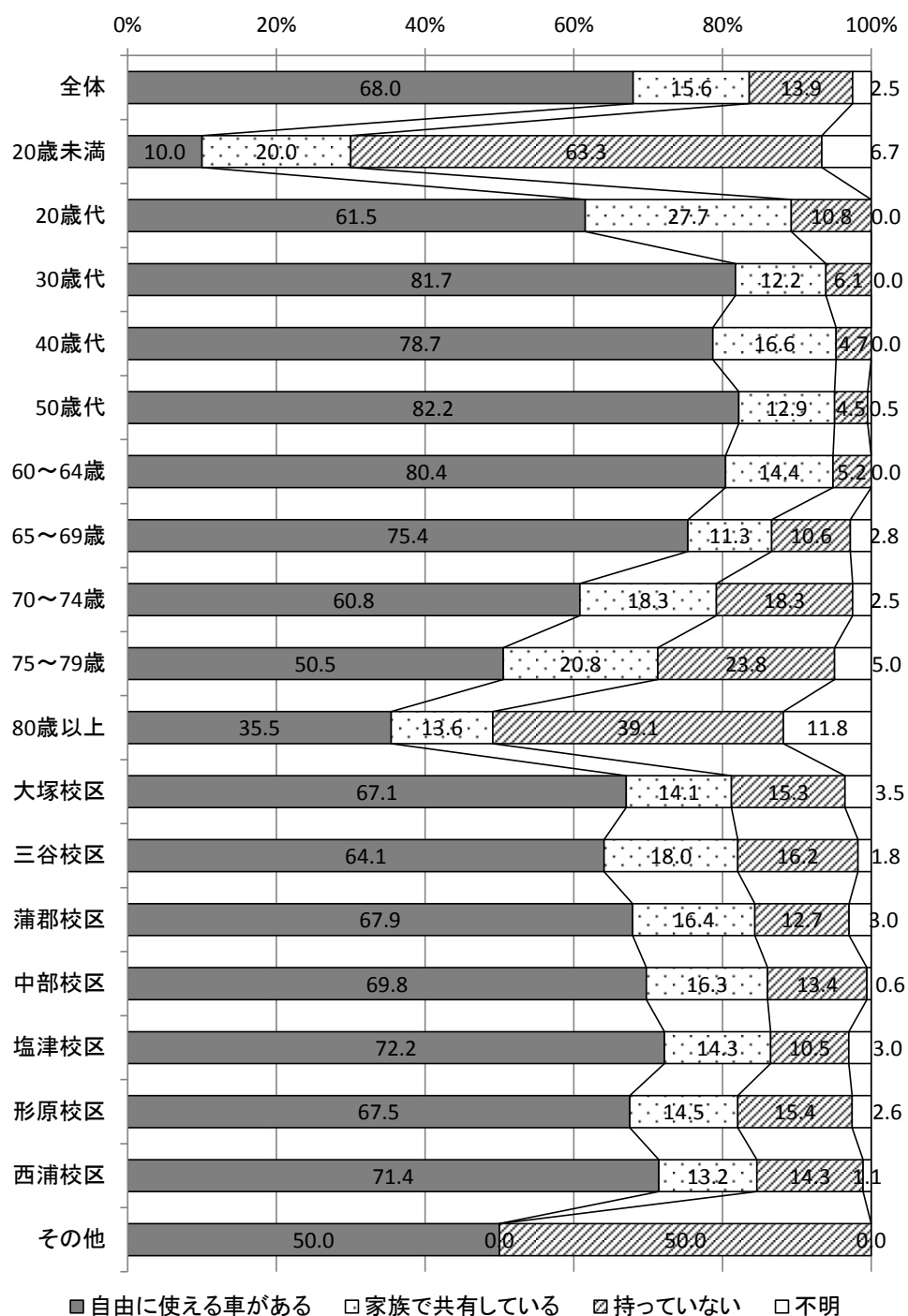
(6) 自家用車の保有

自家用車の保有は、「自由に使える車がある」が 68.0%、「家族で共有している」が 15.6%、「持っていない」が 13.9%となっている。

年齢別では、「65 歳以上」で「家族で共有している」、「持っていない」の割合が増加している。

居住地別では、「家族で共有している」、「持っていない」ともに 15%前後となっている。

図表 1- 6 自家用車の保有



(SA) n=1,159

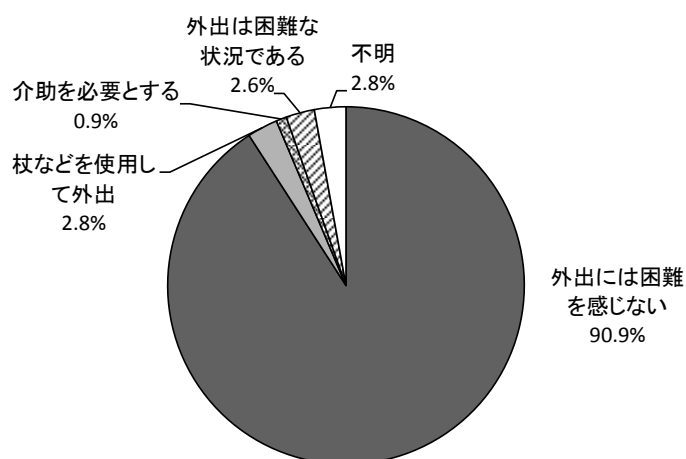
(7) 外出（通勤・通学含む）の状況

外出（通勤・通学含む）の状況は、「外出に困難を感じない」が90.9%となっているが、「外出が困難」とする割合が約6%となっている。

年齢別では、年齢とともに「外出が困難」とする割合が増加しており、「80歳以上」では10%以上となっている。

居住地別で大きな差異はないが、「三谷校区」と「西浦校区」で「外出が困難」とする割合が他校区と比較してやや高くなっている。

図表 1- 7 外出（通勤・通学含む）の状況



(SA) n=1,159

図表 1- 8 外出（通勤・通学含む）の状況（年齢別・居住地別）

	外出には困難を感じない	杖などを使用して外出	介助を必要とする	外出は困難な状況である	不明	合計
全体	90.9	2.8	0.9	2.6	2.8	1,159
20歳未満	96.7	0.0	3.3	0.0	0.0	30
20歳代	98.5	0.0	1.5	0.0	0.0	65
30歳代	98.3	0.0	0.0	1.7	0.0	115
40歳代	97.6	0.6	0.0	0.6	1.2	169
50歳代	98.5	0.5	1.0	0.0	0.0	202
60～64歳	97.9	1.0	0.0	0.0	1.0	97
65～69歳	93.7	1.4	0.0	2.1	2.8	142
70～74歳	86.7	4.2	0.0	2.5	6.7	120
75～79歳	81.2	5.0	0.0	8.9	5.0	101
80歳以上	59.1	14.5	6.4	10.9	9.1	110
不明	50.0	12.5	0.0	0.0	37.5	8
大塚校区	91.8	1.2	1.2	4.7	1.2	85
三谷校区	88.0	6.0	1.2	2.4	2.4	167
蒲郡校区	91.0	3.0	1.1	1.5	3.4	268
中部校区	93.0	1.7	1.2	2.3	1.7	172
塩津校区	93.2	3.0	0.0	0.8	3.0	133
形原校区	91.9	1.7	0.9	3.8	1.7	234
西浦校区	86.8	2.2	0.0	4.4	6.6	91
その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	57.1	0.0	14.3	0.0	28.6	7

問2 外出頻度・目的

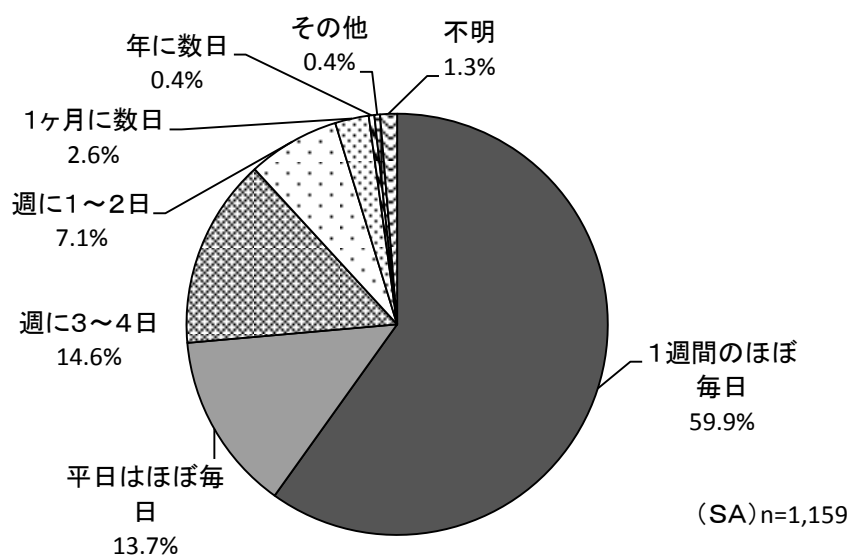
問2-1 外出頻度

外出頻度は、「1週間のほぼ毎日」が59.9%と過半数を占めている。

年齢別の「1週間のほぼ毎日」外出する層は、「30歳代」が82.6%と最も高く、次いで、「40歳代」(81.1%)、「50歳代」(77.2%)となっている。一方で、「75～79歳」では22.8%、「80歳代」では21.8%となっており、「80歳代」では「1ヶ月に数日」が13.6%存在している。

居住地別の「1週間のほぼ毎日」外出する層は、「中部校区」が64.5%と最も高く、次いで、「蒲郡校区」(61.9%)、「形原校区」61.5%となっている。一方で、「西浦校区」は47.3%と唯一50%未満となっている。

図表2-1 外出頻度



図表 2- 2 外出頻度（年齢別・居住地別）

	1週間の ほぼ毎日	平日はほ ぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	1ヶ月に 数日	年に数日	その他	不明	合計
全体	59.9	13.7	14.6	7.1	2.6	0.4	0.4	1.3	1,159
20歳未満	73.3	23.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30
20歳代	76.9	15.4	1.5	1.5	3.1	0.0	0.0	1.5	65
30歳代	82.6	8.7	6.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	115
40歳代	81.1	7.7	7.7	1.8	0.6	0.0	0.0	1.2	169
50歳代	77.2	13.4	5.0	4.0	0.5	0.0	0.0	0.0	202
60～64歳	57.7	15.5	18.6	7.2	0.0	0.0	0.0	1.0	97
65～69歳	58.5	9.2	19.0	8.5	2.8	0.0	0.7	1.4	142
70～74歳	37.5	18.3	27.5	12.5	0.8	1.7	0.8	0.8	120
75～79歳	22.8	23.8	28.7	14.9	5.9	0.0	1.0	3.0	101
80歳以上	21.8	16.4	25.5	14.5	13.6	2.7	1.8	3.6	110
不明	37.5	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	8
大塚校区	60.0	7.1	18.8	10.6	2.4	0.0	0.0	1.2	85
三谷校区	58.1	16.8	12.0	7.8	4.2	0.0	0.0	1.2	167
蒲郡校区	61.9	14.6	13.8	4.1	2.6	0.0	0.4	2.6	268
中部校区	64.5	16.3	10.5	4.7	2.9	0.6	0.6	0.0	172
塩津校区	58.6	14.3	15.0	7.5	2.3	0.8	0.8	0.8	133
形原校区	61.5	11.1	15.4	7.3	1.7	0.9	0.9	1.3	234
西浦校区	47.3	13.2	24.2	14.3	1.1	0.0	0.0	0.0	91
その他	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	7

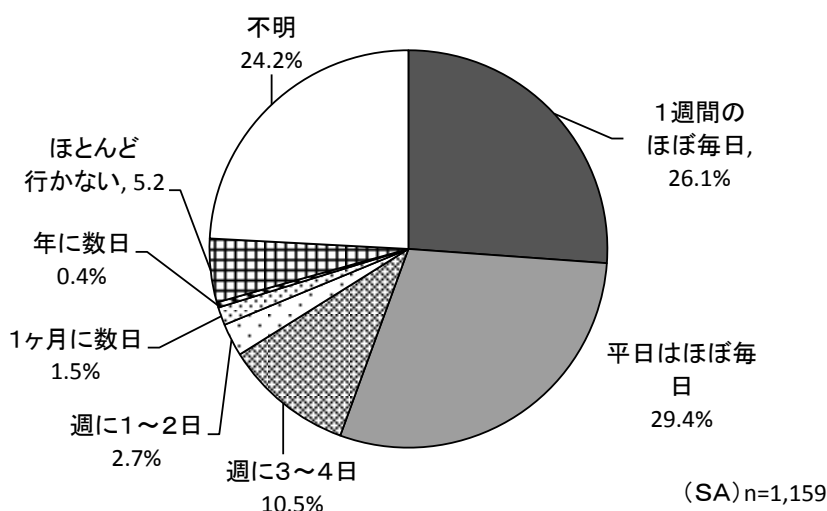
問 2 - 2 「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の外出頻度と交通手段

(1) 「通勤・通学」における外出頻度・交通手段（施設名）

外出頻度は、「平日はほぼ毎日」が 29.4%と最も高い。年齢別の「平日はほぼ毎日」外出する層は「20 歳未満」が 56.7%と最も高く、居住地別では「大塚校区」が 35.3%と最も高い。

交通手段は、「自家用車」が 54.0%と過半数を占めている。年齢別の「自家用車」利用者は「20 歳代」～「60～64 歳」が 50%以上で、居住地別では全校区で 50%前後以上となっている。

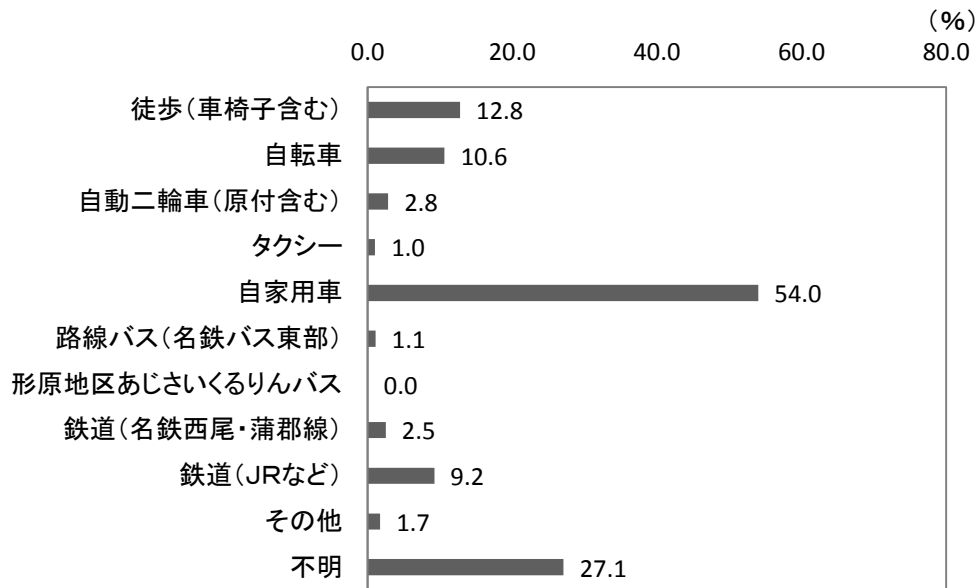
図表 2- 3 外出頻度（通勤・通学）



図表 2- 4 外出頻度（通勤・通学）（年齢別・居住地別）

	1週間の ほぼ毎日	平日はほ ぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	1ヶ月に 数日	年に数日	ほとんど 行かない	不明	合計
全体	26.1	29.4	10.5	2.7	1.5	0.4	5.2	24.2	1,159
20歳未満	43.3	56.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30
20歳代	32.3	52.3	4.6	0.0	1.5	0.0	3.1	6.2	65
30歳代	32.2	45.2	9.6	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	115
40歳代	36.1	43.8	5.9	2.4	0.0	0.0	5.9	5.9	169
50歳代	32.7	43.1	5.9	1.5	0.0	0.0	8.4	8.4	202
60～64歳	24.7	26.8	18.6	2.1	1.0	1.0	2.1	23.7	97
65～69歳	21.8	13.4	12.7	4.9	2.1	0.0	1.4	43.7	142
70～74歳	21.7	13.3	10.8	2.5	0.8	0.8	3.3	46.7	120
75～79歳	11.9	7.9	20.8	6.9	3.0	1.0	5.0	43.6	101
80歳以上	7.3	7.3	14.5	3.6	7.3	1.8	7.3	50.9	110
不明	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	8
大塚校区	25.9	35.3	9.4	2.4	2.4	0.0	5.9	18.8	85
三谷校区	25.1	27.5	10.8	1.2	0.0	0.6	6.6	28.1	167
蒲郡校区	26.5	25.4	11.2	2.2	1.1	0.0	6.0	27.6	268
中部校区	27.3	34.9	7.6	2.3	1.2	0.6	3.5	22.7	172
塩津校区	27.1	29.3	9.0	3.8	2.3	0.8	3.0	24.8	133
形原校区	27.8	30.3	12.4	1.7	2.1	0.9	5.1	19.7	234
西浦校区	17.6	25.3	13.2	8.8	1.1	0.0	6.6	27.5	91
その他	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	7

図表 2- 5 交通手段（通勤・通学）



(MA)n=1,159

図表 2- 6 交通手段（通勤・通学）（年齢別・居住地別）

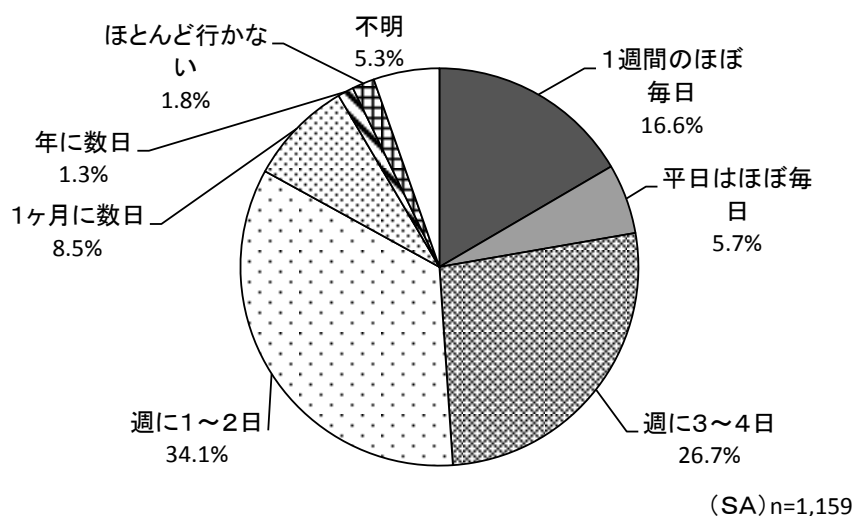
	徒歩(車椅子含む)	自転車	自動二輪車(原付含む)	タクシー	自家用車	路線バス(名鉄バス東部)	形原地区あじさいくるりんバス	鉄道(名鉄西尾・蒲郡線)	鉄道(JRなど)	その他	不明	合計
全体	12.8	10.6	2.8	1.0	54.0	1.1	0.0	2.5	9.2	1.7	27.1	1,159
20歳未満	33.3	70.0	6.7	0.0	16.7	0.0	0.0	6.7	60.0	13.3	0.0	30
20歳代	21.5	24.6	3.1	0.0	50.8	0.0	0.0	7.7	29.2	4.6	9.2	65
30歳代	9.6	9.6	2.6	0.0	72.2	0.9	0.0	3.5	7.8	0.9	13.0	115
40歳代	14.2	8.9	3.6	0.0	71.6	0.0	0.0	1.8	12.4	1.2	11.2	169
50歳代	15.3	9.4	5.0	0.0	68.8	2.0	0.0	2.0	9.9	1.0	13.4	202
60～64歳	14.4	8.2	2.1	0.0	59.8	0.0	0.0	3.1	7.2	0.0	25.8	97
65～69歳	5.6	6.3	1.4	0.0	45.1	0.7	0.0	0.7	2.1	1.4	44.4	142
70～74歳	12.5	5.8	0.8	0.8	39.2	1.7	0.0	0.8	1.7	0.8	49.2	120
75～79歳	8.9	5.9	3.0	4.0	41.6	1.0	0.0	2.0	3.0	1.0	44.6	101
80歳以上	10.0	9.1	1.8	6.4	26.4	3.6	0.0	3.6	4.5	3.6	48.2	110
不明	12.5	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8
大塚校区	9.4	7.1	7.1	1.2	54.1	1.2	0.0	0.0	9.4	1.2	25.9	85
三谷校区	15.6	11.4	2.4	0.6	49.7	1.2	0.0	0.0	7.2	1.8	31.7	167
蒲郡校区	13.4	13.1	1.5	1.1	48.1	0.4	0.0	0.4	9.3	2.2	31.7	268
中部校区	12.2	14.5	1.7	2.9	55.2	0.6	0.0	0.0	14.5	2.3	22.7	172
塩津校区	9.8	7.5	2.3	0.8	63.9	1.5	0.0	2.3	6.8	2.3	24.8	133
形原校区	11.5	7.3	3.8	0.0	59.0	0.0	0.0	6.8	9.4	0.9	22.2	234
西浦校区	16.5	7.7	4.4	1.1	48.4	6.6	0.0	9.9	5.5	1.1	33.0	91
その他	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	28.6	42.9	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7

(2)「買い物や娯楽」における外出頻度・交通手段

外出頻度は、「週に1～2日」が34.1%と最も高い。年齢別の「週に1～2日」外出する層は「40歳代」が50.9%と最も高く、「20歳代」(49.2%)、「30歳代」(48.7%)も約50%となっている。居住地別では「塩津校区」(40.6%)、「大塚校区」(40.0%)が40%以上となっている。

交通手段は、「自家用車」が76.5%と大半を占めている。年齢別の「自家用車」利用者は「30歳代」～「65～69歳」が80%以上で、居住地別では「塩津校区」で85.0%と最も高く、全校区で75%前後以上となっている。

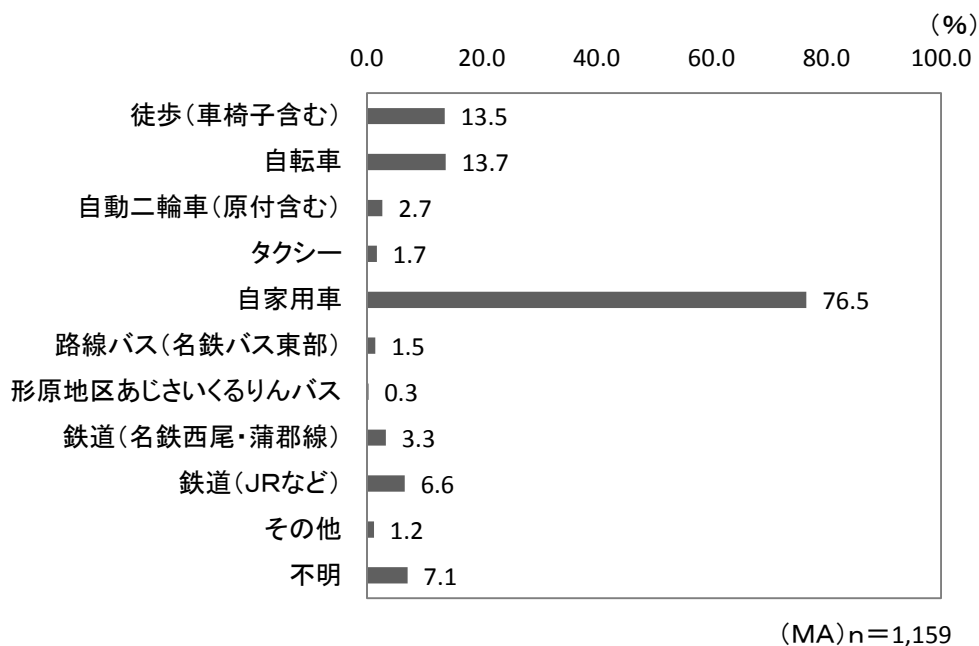
図表 2- 7 外出頻度（買い物や娯楽）



図表 2- 8 外出頻度（買い物や娯楽）（年齢別・居住地別）

	1週間の ほぼ毎日	平日はほ ぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	1ヶ月に 数日	年に数日	ほとんど 行かない	不明	合計
全体	16.6	5.7	26.7	34.1	8.5	1.3	1.8	5.3	1,159
20歳未満	0.0	0.0	10.0	30.0	43.3	0.0	3.3	13.3	30
20歳代	7.7	1.5	10.8	49.2	15.4	1.5	9.2	4.6	65
30歳代	7.0	4.3	22.6	48.7	13.9	0.9	0.0	2.6	115
40歳代	14.8	1.8	24.3	50.9	4.1	0.6	1.2	2.4	169
50歳代	21.8	4.0	22.3	41.1	5.9	0.5	1.5	3.0	202
60～64歳	16.5	8.2	25.8	40.2	5.2	1.0	0.0	3.1	97
65～69歳	29.6	2.8	37.3	19.0	4.2	2.1	0.0	4.9	142
70～74歳	19.2	12.5	31.7	21.7	6.7	0.0	0.8	7.5	120
75～79歳	15.8	8.9	35.6	18.8	8.9	1.0	2.0	8.9	101
80歳以上	10.9	11.8	30.0	13.6	10.9	5.5	5.5	11.8	110
不明	12.5	0.0	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	8
大塚校区	12.9	4.7	28.2	40.0	7.1	2.4	1.2	3.5	85
三谷校区	18.6	7.2	22.8	32.9	9.0	1.8	3.0	4.8	167
蒲郡校区	21.3	5.6	29.1	28.4	7.5	0.7	2.2	5.2	268
中部校区	16.3	4.7	26.2	36.0	8.7	1.2	0.6	6.4	172
塩津校区	14.3	8.3	24.8	40.6	8.3	0.8	0.0	3.0	133
形原校区	14.1	5.6	25.6	34.2	9.4	1.3	2.6	7.3	234
西浦校区	12.1	3.3	33.0	34.1	8.8	2.2	1.1	5.5	91
その他	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	28.6	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	7

図表 2- 9 交通手段（買い物や娯楽）



図表 2- 10 交通手段（買い物や娯楽）（年齢別・居住地別）

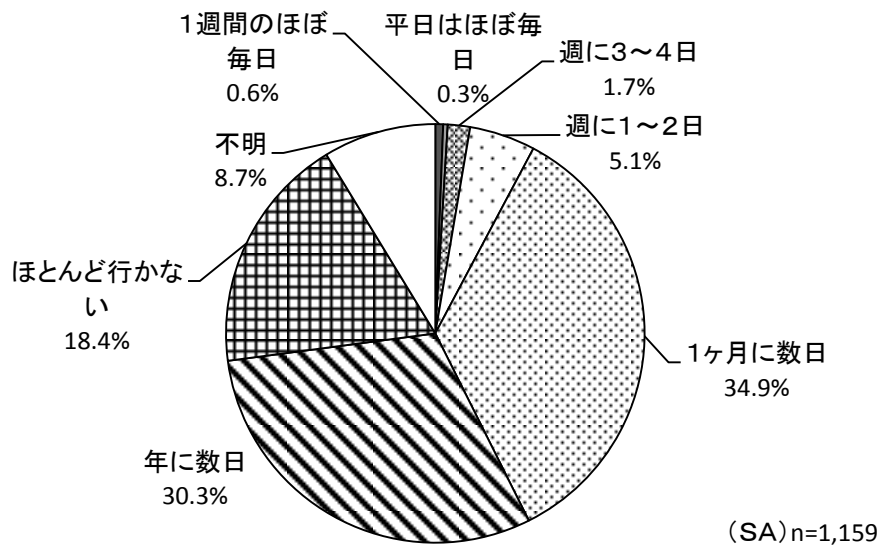
	徒歩(車椅子含む)	自転車	自動二輪車(原付含む)	タクシー	自家用車	路線バス(名鉄バス東部)	形原地区あじさいくるりんバス	鉄道(名鉄西尾・蒲郡線)	鉄道(JRなど)	その他	不明	合計
全体	13.5	13.7	2.7	1.7	76.5	1.5	0.3	3.3	6.6	1.2	7.1	1,159
20歳未満	33.3	43.3	3.3	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0	40.0	0.0	16.7	30
20歳代	7.7	13.8	1.5	0.0	75.4	0.0	0.0	1.5	12.3	3.1	15.4	65
30歳代	9.6	7.0	0.9	1.7	89.6	0.0	0.0	0.9	10.4	0.9	2.6	115
40歳代	9.5	10.7	3.0	0.6	89.3	0.6	0.0	1.8	5.3	0.6	3.0	169
50歳代	12.4	7.9	3.5	1.0	87.1	1.5	0.0	3.5	5.9	0.5	4.0	202
60～64歳	13.4	10.3	4.1	1.0	87.6	0.0	0.0	5.2	1.0	0.0	4.1	97
65～69歳	12.7	14.1	1.4	0.7	80.3	0.7	0.0	1.4	4.2	1.4	4.9	142
70～74歳	17.5	18.3	3.3	0.8	69.2	2.5	1.7	2.5	1.7	0.8	9.2	120
75～79歳	13.9	19.8	3.0	5.0	67.3	5.0	1.0	6.9	7.9	0.0	7.9	101
80歳以上	21.8	19.1	2.7	6.4	40.0	2.7	0.0	5.5	5.5	5.5	18.2	110
不明	0.0	25.0	0.0	0.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	8
大塚校区	5.9	8.2	5.9	3.5	77.6	1.2	0.0	0.0	10.6	1.2	5.9	85
三谷校区	20.4	13.2	1.2	0.0	75.4	0.6	0.0	0.0	5.4	1.2	6.6	167
蒲郡校区	19.0	20.5	3.0	3.4	72.8	0.4	0.0	0.7	8.6	0.7	6.3	268
中部校区	7.0	13.4	2.3	2.9	77.3	0.6	0.0	0.0	7.6	1.2	9.9	172
塩津校区	7.5	9.0	2.3	0.8	85.0	1.5	0.0	2.3	4.5	2.3	2.3	133
形原校区	12.8	10.3	2.1	0.4	74.8	1.7	1.3	9.4	5.6	1.7	9.4	234
西浦校区	14.3	14.3	4.4	1.1	79.1	7.7	0.0	12.1	3.3	0.0	6.6	91
その他	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	28.6	28.6	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	7

(3) 「病院や福祉施設利用」における外出頻度・交通手段

外出頻度は、「1ヶ月に数日」が34.9%と最も高い。年齢別の「1ヶ月に数日」外出する層は「70～74歳」が56.7%と最も高く、「65～69歳」以上で45%以上となっている。居住地別では「中部校区」(29.7%)のみ30%未満となっている。

交通手段は、「自家用車」が62.5%と過半数を占めている。年齢別の「自家用車」利用者は「30歳代」～「70～74歳」が60%以上で、居住地別では全校区で55%以上となっている。

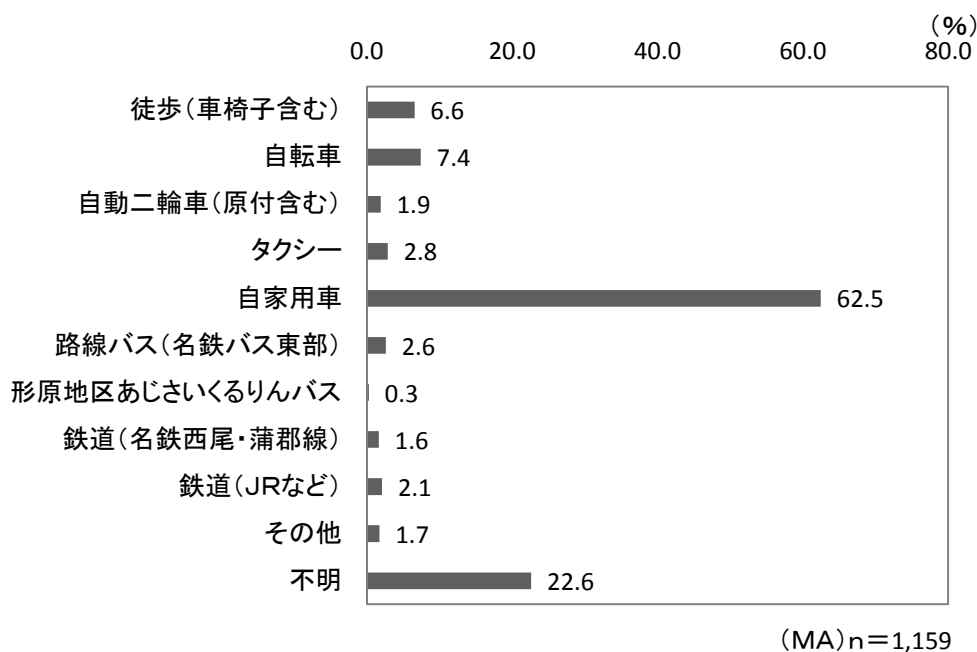
図表 2- 11 外出頻度（病院や福祉施設利用）



図表 2- 12 外出頻度（病院や福祉施設利用）（年齢別・居住地別）

	1週間の ほぼ毎日	平日はほ ぼ毎日	週に3～4 日	週に1～2 日	1ヶ月に 数日	年に数日	ほとんど 行かない	不明	合計
全体	0.6	0.3	1.7	5.1	34.9	30.3	18.4	8.7	1,159
20歳未満	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	36.7	40.0	16.7	30
20歳代	1.5	0.0	0.0	3.1	13.8	27.7	43.1	10.8	65
30歳代	0.0	0.0	0.0	1.7	35.7	38.3	20.9	3.5	115
40歳代	0.0	0.6	1.2	3.0	19.5	43.2	26.6	5.9	169
50歳代	0.0	0.0	1.0	3.5	27.7	42.6	20.3	5.0	202
60～64歳	1.0	0.0	0.0	4.1	29.9	40.2	15.5	9.3	97
65～69歳	1.4	0.0	0.7	4.9	45.8	24.6	10.6	12.0	142
70～74歳	0.0	0.0	0.8	5.8	56.7	12.5	11.7	12.5	120
75～79歳	1.0	1.0	5.9	6.9	48.5	17.8	9.9	8.9	101
80歳以上	1.8	1.8	6.4	13.6	45.5	10.9	7.3	12.7	110
不明	0.0	0.0	12.5	25.0	37.5	0.0	12.5	12.5	8
大塚校区	1.2	0.0	2.4	1.2	42.4	32.9	11.8	8.2	85
三谷校区	1.8	0.6	1.2	4.2	40.1	26.9	17.4	7.8	167
蒲郡校区	0.0	0.0	0.4	5.2	34.7	28.0	22.8	9.0	268
中部校区	0.0	1.2	3.5	7.0	29.7	33.7	17.4	7.6	172
塩津校区	1.5	0.0	2.3	2.3	30.8	36.1	19.5	7.5	133
形原校区	0.4	0.4	1.7	6.8	32.5	31.6	17.1	9.4	234
西浦校区	0.0	0.0	2.2	5.5	41.8	20.9	16.5	13.2	91
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2
不明	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0	7.0

図表 2- 13 交通手段（病院や福祉施設利用）



図表 2- 14 交通手段（病院や福祉施設利用）（年齢別・居住地別）

	徒歩(車椅子含む)	自転車	自動二輪車(原付含む)	タクシー	自家用車	路線バス(名鉄バス東部)	形原地区あじさいくるりんバス	鉄道(名鉄西尾・蒲郡線)	鉄道(JRなど)	その他	不明	合計
全体	6.6	7.4	1.9	2.8	62.5	2.6	0.3	1.6	2.1	1.7	22.6	1,159
20歳未満	3.3	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	56.7	30
20歳代	1.5	7.7	1.5	0.0	47.7	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	44.6	65
30歳代	5.2	3.5	0.0	0.0	71.3	2.6	0.0	0.0	2.6	1.7	20.9	115
40歳代	5.9	3.6	1.8	2.4	65.7	0.0	0.0	0.0	1.8	0.6	26.6	169
50歳代	5.4	4.5	2.5	1.0	72.8	2.0	0.0	1.0	2.5	0.5	18.8	202
60～64歳	5.2	4.1	3.1	2.1	73.2	3.1	0.0	2.1	2.1	1.0	16.5	97
65～69歳	7.0	10.6	0.7	3.5	63.4	2.1	0.0	2.1	2.1	0.0	19.0	142
70～74歳	5.0	10.0	2.5	0.8	63.3	4.2	0.8	2.5	0.8	0.8	19.2	120
75～79歳	12.9	12.9	3.0	7.9	59.4	4.0	1.0	5.0	2.0	1.0	19.8	101
80歳以上	11.8	11.8	2.7	10.0	38.2	6.4	0.0	3.6	3.6	10.0	20.0	110
不明	0.0	25.0	0.0	0.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	8
大塚校区	4.7	2.4	4.7	2.4	68.2	1.2	1.2	0.0	3.5	4.7	14.1	85
三谷校区	12.0	9.0	1.8	4.2	56.9	1.2	0.0	0.0	4.2	1.2	22.8	167
蒲郡校区	7.8	10.4	2.6	3.4	58.2	2.6	0.0	0.0	1.9	1.5	25.0	268
中部校区	3.5	7.0	1.2	4.7	65.7	1.2	0.0	0.0	1.2	1.7	22.1	172
塩津校区	1.5	3.0	2.3	0.8	69.9	1.5	0.0	0.8	0.8	0.8	23.3	133
形原校区	7.7	6.4	0.9	1.3	65.0	3.8	0.9	5.1	1.7	2.1	20.1	234
西浦校区	5.5	8.8	1.1	3.3	56.0	7.7	0.0	6.6	1.1	1.1	29.7	91
その他	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	0.0	14.3	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	7

問 3 公共交通に対する評価

問 3 - 1 日常の公共交通での移動における不便の有無

日常の公共交通での移動における不便の有無は、「感じている」(16.1%)と「やや感じている」(18.5%)が34.6%で、3人に1人が移動に不便を感じていると言える。

年齢別では、「40歳代」(42.6%)と「50歳代」(40.1%)で40%以上となっている。

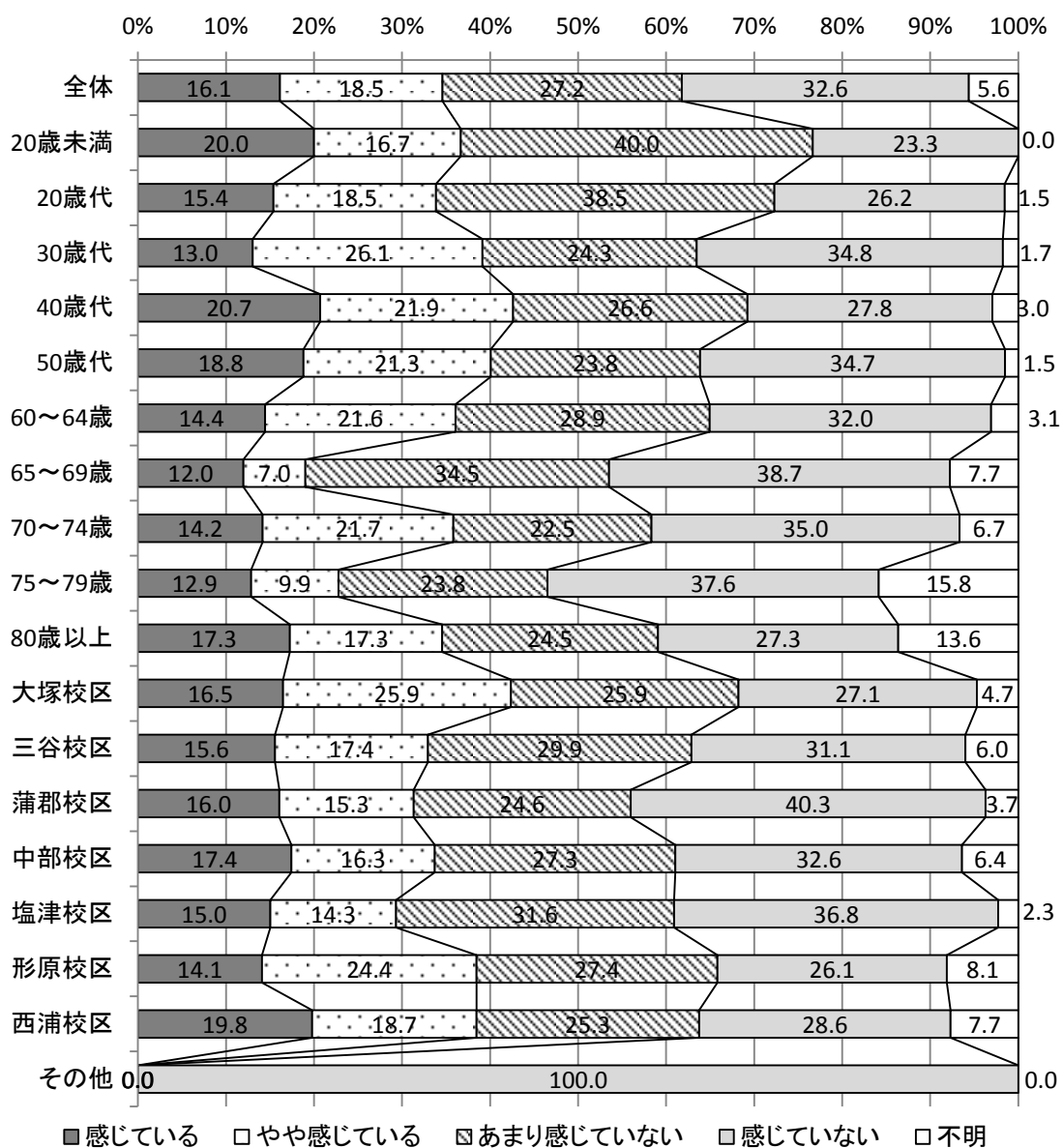
居住地別では、「大塚校区」で42.4%と唯一40%以上となっている。

その理由は、「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」が55.4%と最も高く、次いで、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」(48.9%)、「車の方が公共交通と比べて便利」(46.9%)となっている。

年齢別では、上位の項目は同様であるが、「20歳代」(59.1%)、「40歳代」(59.7%)で「車の方が公共交通と比べて便利」が最も高くなっている。

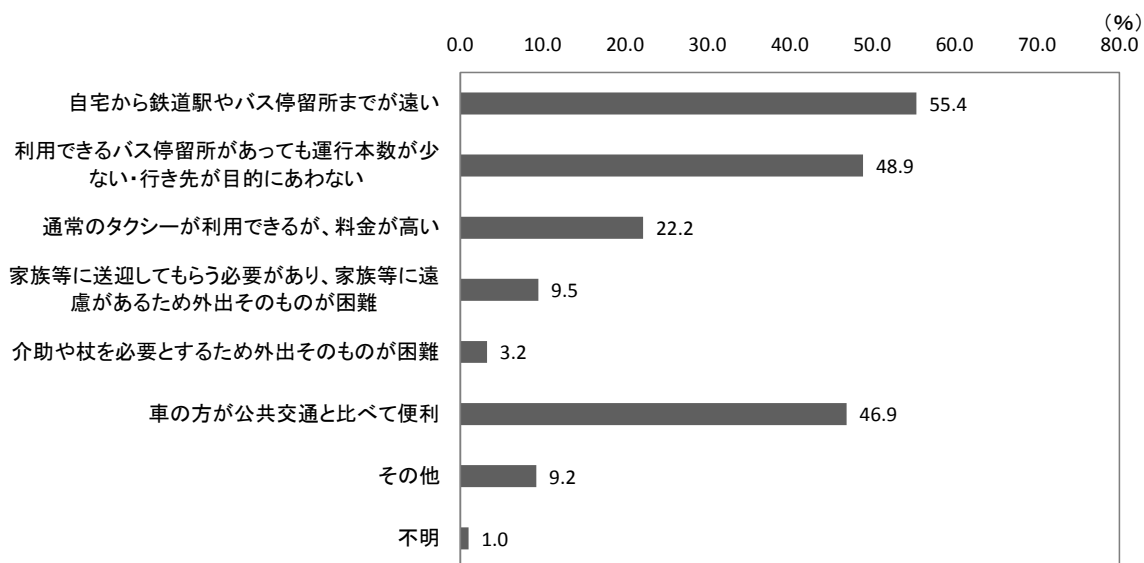
居住地別も上位の項目は同様であるが、「大塚校区」(66.7%)、「三谷校区」(50.9%)、「形原校区」(55.6%)、「西浦校区」(57.1%)で「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」が最も高くなっている。

図表 3- 1 日常の公共交通での移動における不便の有無



(SA) n=1,159

図表 3- 2 日常の公共交通での移動における不便の理由



(MA) n=1,159

図表 3- 3 日常の公共交通での移動における不便の理由（年齢別・居住地別）

	自宅から 鉄道駅や バス停留 所までが 遠い	利用でき るバス停 留所があ っても運 行本数が 少ない・ 行き先が 目的にあ わない	通常のタ クシーが 利用できる が、料 金が安い	家族等に 送迎して もらう必要 があり、家 族等に遠 慮がある ため外出 そのものが 困難	介助や杖 を必要と するため 外出その ものが困 難	車の方が 公共交通 と比べて 便利	その他	不明	合計
全体	55.4	48.9	22.2	9.5	3.2	46.9	9.2	1.0	401
20歳未満	45.5	45.5	9.1	18.2	0.0	0.0	36.4	0.0	11
20歳代	50.0	50.0	22.7	9.1	0.0	59.1	18.2	0.0	22
30歳代	55.6	46.7	17.8	8.9	0.0	51.1	8.9	2.2	45
40歳代	52.8	50.0	26.4	5.6	0.0	59.7	8.3	0.0	72
50歳代	54.3	56.8	25.9	6.2	0.0	46.9	16.0	0.0	81
60～64歳	65.7	42.9	20.0	0.0	0.0	54.3	2.9	2.9	35
65～69歳	59.3	63.0	37.0	7.4	3.7	59.3	0.0	3.7	27
70～74歳	53.5	55.8	18.6	14.0	2.3	46.5	2.3	0.0	43
75～79歳	56.5	30.4	17.4	8.7	4.3	30.4	4.3	4.3	23
80歳以上	57.9	28.9	13.2	28.9	26.3	21.1	7.9	0.0	38
不明	50.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	4
大塚校区	50.0	66.7	30.6	13.9	0.0	52.8	5.6	0.0	36
三谷校区	49.1	50.9	18.2	10.9	5.5	41.8	16.4	3.6	55
蒲郡校区	53.6	50.0	15.5	11.9	6.0	44.0	3.6	1.2	84
中部校区	70.7	24.1	24.1	5.2	1.7	37.9	6.9	1.7	58
塩津校区	69.2	35.9	30.8	12.8	2.6	56.4	7.7	0.0	39
形原校区	50.0	55.6	24.4	5.6	1.1	52.2	13.3	0.0	90
西浦校区	45.7	57.1	17.1	8.6	5.7	48.6	11.4	0.0	35
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
不明	75.0	100.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	4

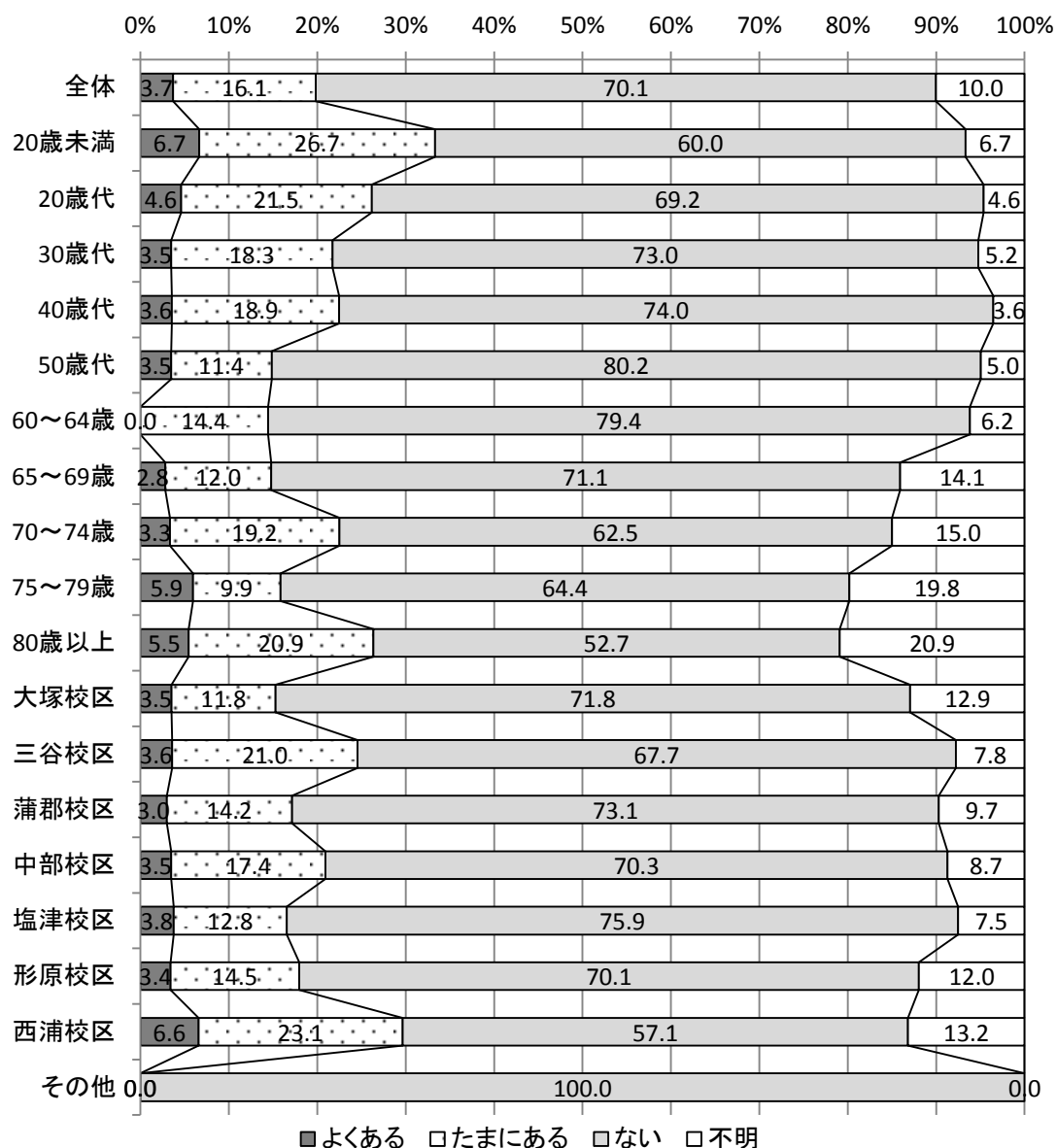
問3-2 公共交通が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことの有無

公共交通が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことの有無は、「よくある」(3.7%)と「たまにある」(16.1%)が19.8%で、5人に1人が外出を控えたと言える。

年齢別では、「20歳未満」(33.4%)、「20歳代」(26.1%)と「80歳以上」(26.4%)で25%以上となっている。

居住地別では、「西浦校区」が29.7%と最も高くなっている。

図表3-4 外出を控えたことの有無



(SA n=1,159)

問 4 バスの利用実態とその満足度

問 4 - 1 市内のバスの利用状況

(1) 利用頻度

バスの利用頻度は、「ほとんど乗らない」が 85.4%で大半を占めており、利用しても「年に数日」(8.1%)となっている。

年齢別では、高齢になるほど利用頻度は向上するが、最も利用頻度が高い「80 歳以上」でも 17.3%となっている。

居住地別では、「形原校区」(17.1%)と「西浦校区」(19.8%)が約 20%と他の校区より利用頻度が高くなっている。

図表 4- 1 利用頻度（年齢別・居住地別）

	週に3日 以上	週に1～2 日	1ヶ月に 数日	年に数日	ほとんど 乗らない	不明	合計
全体	0.4	0.6	2.4	8.1	85.4	3.0	1,159
20歳未満	0.0	3.3	0.0	10.0	86.7	0.0	30
20歳代	1.5	0.0	3.1	6.2	87.7	1.5	65
30歳代	0.0	0.9	0.9	4.3	93.9	0.0	115
40歳代	0.0	0.6	0.6	8.3	90.5	0.0	169
50歳代	1.0	0.0	1.0	9.4	88.1	0.5	202
60～64歳	0.0	0.0	1.0	12.4	85.6	1.0	97
65～69歳	0.0	0.7	0.7	7.0	86.6	4.9	142
70～74歳	0.8	2.5	3.3	8.3	82.5	2.5	120
75～79歳	0.0	0.0	5.0	7.9	78.2	8.9	101
80歳以上	0.0	0.0	10.0	7.3	70.9	11.8	110
不明	12.5	0.0	0.0	12.5	75.0	0.0	8
大塚校区	0.0	1.2	2.4	9.4	84.7	2.4	85
三谷校区	0.6	0.0	0.6	5.4	89.8	3.6	167
蒲郡校区	0.4	0.0	3.0	5.2	88.4	3.0	268
中部校区	0.0	1.2	1.2	6.4	85.5	5.8	172
塩津校区	0.0	0.8	1.5	9.8	87.2	0.8	133
形原校区	0.4	1.3	3.4	12.0	80.3	2.6	234
西浦校区	2.2	0.0	5.5	12.1	78.0	2.2	91
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	2
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	7

(2) 利用するバス

利用するバスは、「路線バス（名鉄バス東部）」が 85.8%と大半を占めている。

年齢別では、「20 歳未満」を除く各年代で「路線バス（名鉄バス東部）」が 70%以上と最も高くなっている。「20 歳未満」、「20 歳代」、「30 歳代」では「ラグーナテンボス無料シャトルバス」の利用頻度が高くなっている。

居住地別では、「大塚校区」で「ラグーナテンボス無料シャトルバス」の利用が 54.5%と「路線バス（名鉄バス東部）」(63.6%)に近い利用頻度となっている。

図表 4- 2 利用するバス（年齢別・居住地別）

	路線バス (名鉄バス東部)	形原地区 あじさいく るりんバス	ラグーナ テンボス 無料シャ トルバス	寿楽荘ふ れあい入 浴送迎バス	ホテル・旅 館送迎バス	その他	不明	合計
全体	85.8	2.2	10.4	3.7	3.7	1.5	2.2	134
20歳未満	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
20歳代	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7
30歳代	71.4	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7
40歳代	87.5	0.0	18.8	0.0	6.3	6.3	0.0	16
50歳代	82.6	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	8.7	23
60～64歳	92.3	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	13
65～69歳	91.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	12
70～74歳	94.4	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	18
75～79歳	76.9	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	13
80歳以上	100.0	0.0	0.0	10.5	10.5	0.0	0.0	19
不明	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2
大塚校区	63.6	0.0	54.5	0.0	9.1	0.0	0.0	11
三谷校区	81.8	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11
蒲郡校区	78.3	0.0	13.0	0.0	4.3	0.0	8.7	23
中部校区	86.7	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	15
塩津校区	87.5	0.0	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0	16
形原校区	90.0	7.5	2.5	2.5	5.0	5.0	2.5	40
西浦校区	100.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	18
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

(3) 利用目的

利用目的は、「通院」が 35.8%で最も高く、次いで、「買い物」(24.6%)、「趣味・娯楽」(23.9%)となっている。

年齢別では、上位の項目は同様であるが、「20歳未満」(75.0%)、「40歳代」(43.8%)、「50歳代」(39.1%)で「趣味・娯楽」が最も高く、「20歳代」(71.4%)で「買い物」での利用目的が最も高くなっている。

居住地別でも上位の項目は同様であるが、「大塚校区」(36.4%)、「三谷校区」(27.3%)、「中部校区」(20.0%)で「趣味・娯楽」が最も高く、「蒲郡校区」(34.8%)で「買い物」での利用目的が最も高くなっている（「大塚校区」「三谷校区」は「通院」と同等）。

図表 4- 3 利用目的

	通勤	通学	買い物	塾・習い事	趣味・娯楽	観光	通院	福祉施設の利用	その他公共施設の	その他	不明	合計
全体	6.0	0.7	24.6	2.2	23.9	9.0	35.8	2.2	3.7	9.0	11.9	134
20歳未満	0.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
20歳代	28.6	0.0	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7
30歳代	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	7
40歳代	6.3	0.0	25.0	6.3	43.8	0.0	18.8	0.0	0.0	25.0	6.3	16
50歳代	13.0	0.0	21.7	0.0	39.1	8.7	13.0	4.3	4.3	8.7	13.0	23
60～64歳	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	46.2	0.0	15.4	7.7	15.4	13
65～69歳	8.3	0.0	33.3	0.0	8.3	25.0	41.7	0.0	8.3	16.7	0.0	12
70～74歳	0.0	0.0	27.8	5.6	11.1	5.6	38.9	5.6	0.0	11.1	16.7	18
75～79歳	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	7.7	61.5	7.7	0.0	7.7	23.1	13
80歳以上	0.0	0.0	21.1	5.3	21.1	10.5	57.9	0.0	0.0	0.0	15.8	19
不明	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
大塚校区	0.0	0.0	27.3	0.0	36.4	27.3	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1	11
三谷校区	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	0.0	11
蒲郡校区	8.7	0.0	34.8	0.0	17.4	4.3	21.7	4.3	4.3	8.7	17.4	23
中部校区	6.7	6.7	13.3	0.0	20.0	0.0	13.3	0.0	6.7	13.3	40.0	15
塩津校区	6.3	0.0	31.3	6.3	18.8	18.8	37.5	0.0	6.3	12.5	0.0	16
形原校区	5.0	0.0	22.5	2.5	30.0	7.5	52.5	0.0	2.5	10.0	5.0	40
西浦校区	11.1	0.0	27.8	0.0	16.7	5.6	38.9	5.6	0.0	5.6	16.7	18
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

問４－２ バスのサービス水準の満足度

（１）サービス水準の満足度

サービス水準の満足度は、「満足」（9.7％）と「おおむね満足」（25.4％）が 35.1％と、「やや不満」（29.9％）と「不満」（16.4％）が 46.3％となっている。また、「バスを必要としない」が 6.7％となっている。

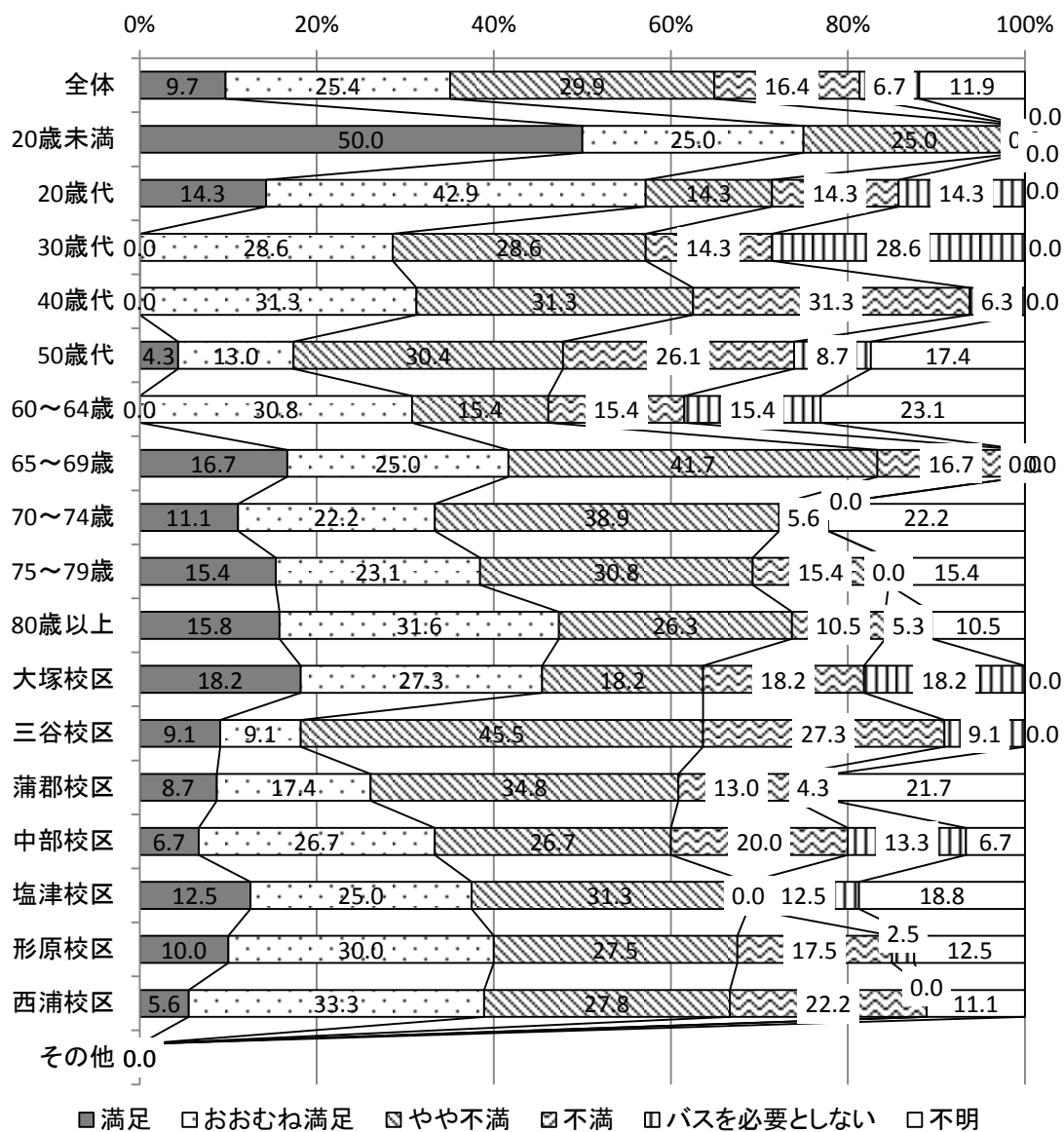
年齢別では、「満足」と「おおむね満足」が「20 歳未満」（75.0％）、「20 歳代」（57.2％）で 50％以上となっており、「50 歳代」では 17.3％と最も低くなっている。

居住地別では、「大塚校区」が 45.5％と最も高く、次いで、「形原校区」（40.0％）、「塩津校区」（37.5％）となっており、「三谷校区」が 18.2％と最も低くなっている。

満足の理由は、「目的地に直接行ける」が 55.3％と最も高く、次いで、「自宅から停留所までが近い」（44.7％）、「座れる」（42.6％）となっている。

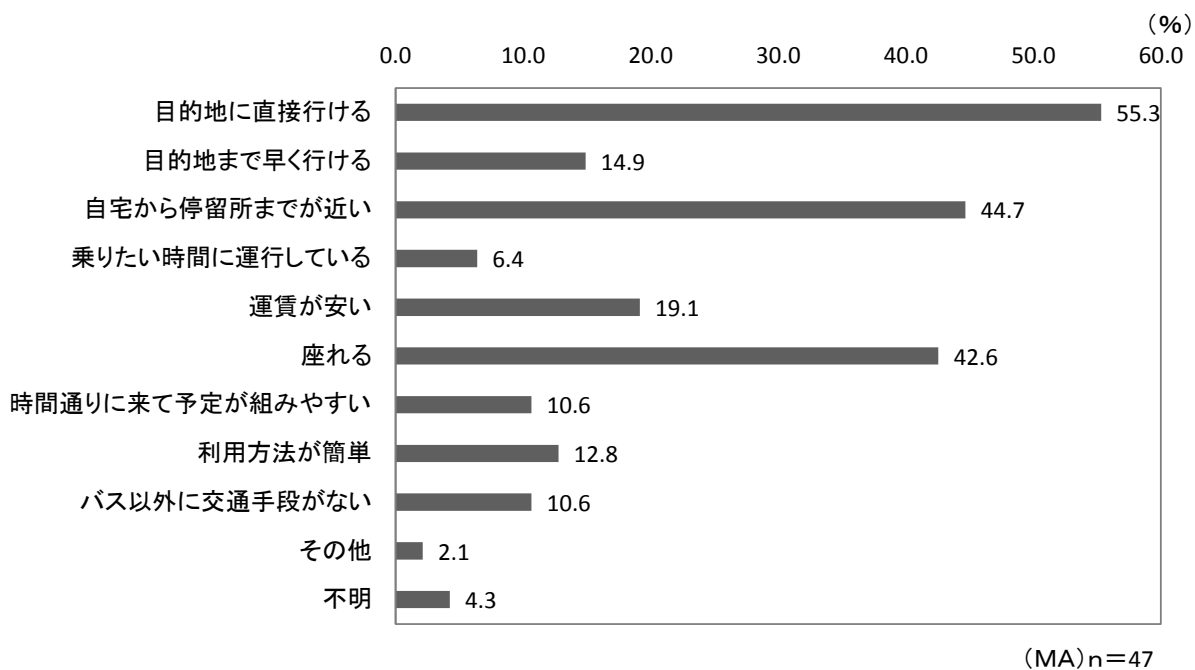
「不満」の理由は、「乗りたい時間に運行していない」が 74.2％と最も高く、次いで、自宅から停留所までが遠い」（35.5％）、「目的地に直接行けない」（33.9％）となっている。

図表 4- 4 サービス水準の満足度（年齢別・居住地別）

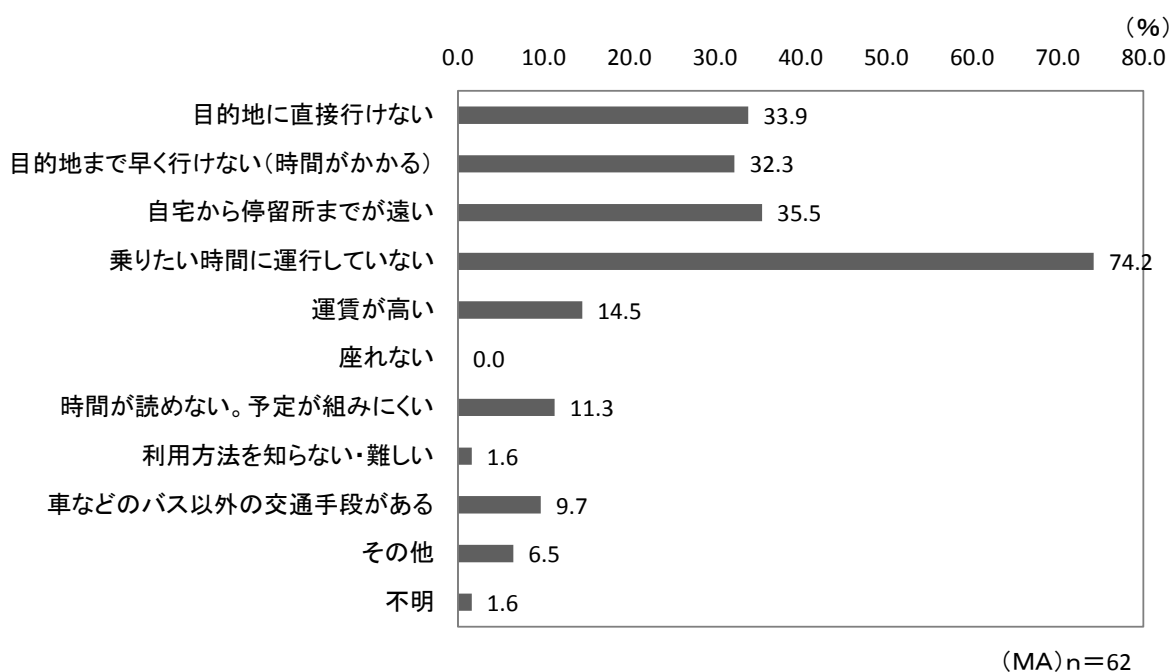


(SA) n=134

図表 4- 5 満足の原因



図表 4- 6 不満の原因



問 5 「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度

問 5 - 1 名鉄西尾・蒲郡線の利用状況

(1) 利用頻度

利用頻度は、「ほとんど乗らない」が 75.8%と大半を占めている。

年齢別でも同様の傾向が見られるが、「20 歳未満」(10.0%)と「20 歳代」(7.7%)において約 10%が「週に 3 日以上」の利用している。

居住地別では、「形原校区」(43.6%)と「西浦校区」(53.9%)で他校区と比較して利用頻度が高くなっている。

図表 5- 1 利用頻度（年齢別・居住地別）

	週に3日 以上	週に1～2 日	1ヶ月に 数日	年に数日	ほとんど 乗らない	不明	合計
全体	1.6	0.3	4.9	12.1	75.8	5.3	1,159
20歳未満	10.0	0.0	3.3	13.3	73.3	0.0	30
20歳代	7.7	0.0	6.2	7.7	73.8	4.6	65
30歳代	2.6	0.0	1.7	13.0	81.7	0.9	115
40歳代	0.6	0.0	4.1	14.2	79.3	1.8	169
50歳代	1.0	0.5	4.5	10.9	79.7	3.5	202
60～64歳	2.1	0.0	4.1	12.4	78.4	3.1	97
65～69歳	0.0	0.7	4.9	12.7	76.1	5.6	142
70～74歳	0.8	0.8	6.7	10.0	75.8	5.8	120
75～79歳	0.0	0.0	7.9	18.8	64.4	8.9	101
80歳以上	0.9	0.9	5.5	7.3	68.2	17.3	110
不明	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5	12.5	8
大塚校区	0.0	0.0	1.2	7.1	85.9	5.9	85
三谷校区	0.0	0.0	1.2	4.8	91.0	3.0	167
蒲郡校区	0.4	0.0	1.1	4.5	88.8	5.2	268
中部校区	0.0	0.6	0.0	5.8	83.7	9.9	172
塩津校区	0.0	1.5	3.0	12.8	76.7	6.0	133
形原校区	5.1	0.0	12.0	26.5	52.1	4.3	234
西浦校区	5.5	1.1	20.9	26.4	44.0	2.2	91
その他	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	2
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	7

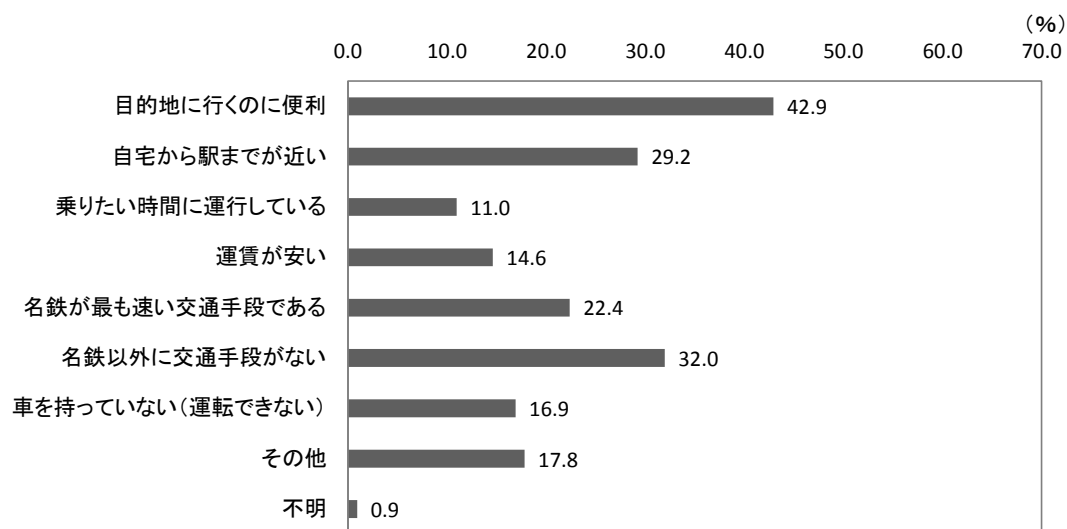
(2) 利用する理由

利用する理由は、「目的地に行くのに便利」が 42.9%と最も高く、次いで、「名鉄以外に交通手段がない」(32.0%)、「自宅から駅までが近い」(29.2%)となっている。

年齢別では、「65～69 歳」以上で「名鉄が最も速い交通手段である」も高くなっている。

居住地別では、「大塚校区」(28.6%)、「塩津校区」(26.5%)、「西浦校区」(26.5) で「名鉄が最も速い交通手段である」も高くなっている。

図表 5- 2 利用する理由



(MA)n=219

図表 5- 3 利用する理由（年齢別・居住地別）

	目的地に行くのに便利	自宅から駅までが近い	乗りたい時間に運行している	運賃が安い	名鉄が最も速い交通手段である	名鉄以外に交通手段がない	車を持っていない(運転できない)	その他	不明	合計
全体	42.9	29.2	11.0	14.6	22.4	32.0	16.9	17.8	0.9	219
20歳未満	37.5	62.5	12.5	12.5	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0	8
20歳代	64.3	50.0	7.1	14.3	14.3	42.9	7.1	21.4	0.0	14
30歳代	20.0	20.0	0.0	5.0	15.0	50.0	10.0	25.0	0.0	20
40歳代	50.0	21.9	6.3	9.4	15.6	31.3	9.4	31.3	0.0	32
50歳代	41.2	17.6	11.8	14.7	17.6	23.5	8.8	29.4	0.0	34
60～64歳	55.6	44.4	11.1	5.6	5.6	27.8	5.6	11.1	0.0	18
65～69歳	34.6	38.5	7.7	11.5	34.6	26.9	15.4	15.4	3.8	26
70～74歳	36.4	22.7	18.2	22.7	36.4	36.4	22.7	18.2	0.0	22
75～79歳	55.6	22.2	25.9	22.2	33.3	37.0	33.3	3.7	0.0	27
80歳以上	31.3	37.5	6.3	31.3	31.3	6.3	31.3	0.0	6.3	16
不明	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	2
大塚校区	57.1	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	7
三谷校区	60.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	30.0	0.0	10
蒲郡校区	37.5	18.8	12.5	18.8	12.5	12.5	31.3	25.0	6.3	16
中部校区	54.5	9.1	18.2	0.0	9.1	45.5	9.1	9.1	0.0	11
塩津校区	39.1	47.8	8.7	8.7	13.0	26.1	4.3	13.0	4.3	23
形原校区	38.2	34.3	8.8	17.6	26.5	30.4	19.6	21.6	0.0	102
西浦校区	49.0	28.6	18.4	18.4	26.5	40.8	16.3	10.2	0.0	49
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	1
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

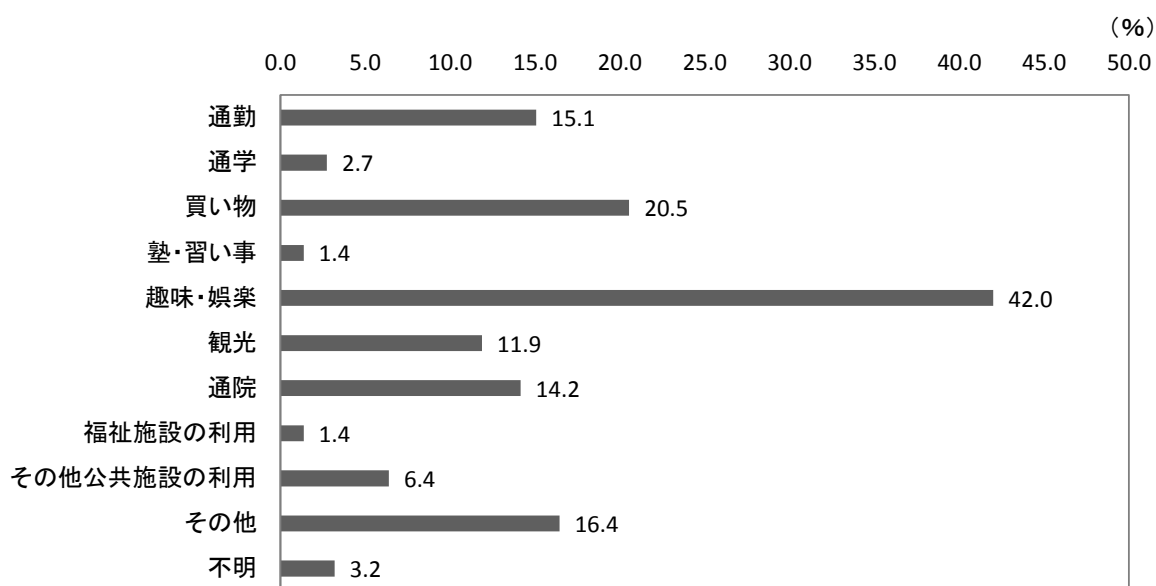
(3) 利用目的

利用目的は、「趣味・娯楽」が42.0%と最も高く、次いで、「買い物」(20.5%)、「通勤」(15.1%)となっている(「その他」を除く)。

年齢別では、「75～79歳」(40.7%)と「80歳以上」(37.5%)で「買い物」が最も高くなっている。

居住地別では、「三谷校区」(20.0%)と「中部校区」(27.3%)で「買い物」が最も高くなっている。

図表 5- 4 利用目的 (年齢別・居住地別)



(MA) n=219

図表 5- 5 利用目的 (年齢別・居住地別)

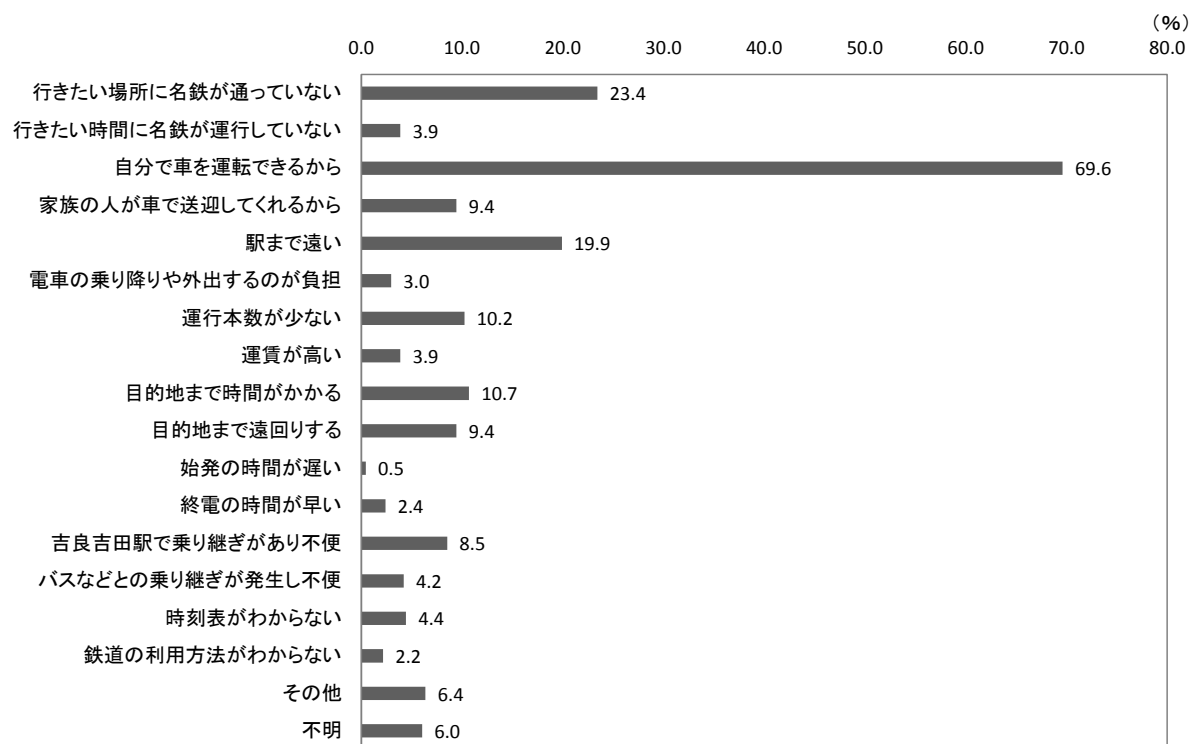
	通勤	通学	買い物	塾・習い事	趣味・娯楽	観光	通院	福祉施設の利用	その他公共施設の利用	その他	不明	合計
全体	15.1	2.7	20.5	1.4	42.0	11.9	14.2	1.4	6.4	16.4	3.2	219
20歳未満	12.5	37.5	12.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	8
20歳代	35.7	21.4	28.6	0.0	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14
30歳代	35.0	0.0	5.0	0.0	45.0	15.0	5.0	0.0	5.0	15.0	5.0	20
40歳代	18.8	0.0	12.5	3.1	65.6	6.3	0.0	0.0	12.5	15.6	3.1	32
50歳代	26.5	0.0	11.8	2.9	52.9	5.9	2.9	0.0	2.9	17.6	2.9	34
60～64歳	16.7	0.0	22.2	0.0	33.3	11.1	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6	18
65～69歳	3.8	0.0	19.2	0.0	34.6	19.2	15.4	3.8	11.5	19.2	0.0	26
70～74歳	4.5	0.0	18.2	0.0	22.7	22.7	27.3	0.0	13.6	31.8	0.0	22
75～79歳	0.0	0.0	40.7	0.0	29.6	14.8	33.3	0.0	0.0	14.8	11.1	27
80歳以上	0.0	0.0	37.5	6.3	37.5	12.5	50.0	6.3	6.3	12.5	0.0	16
不明	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
大塚校区	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	7
三谷校区	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10
蒲郡校区	25.0	0.0	12.5	6.3	31.3	12.5	0.0	6.3	6.3	18.8	6.3	16
中部校区	27.3	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	27.3	9.1	18.2	11
塩津校区	17.4	0.0	13.0	0.0	43.5	26.1	8.7	0.0	8.7	21.7	0.0	23
形原校区	13.7	3.9	25.5	0.0	51.0	8.8	14.7	1.0	3.9	16.7	2.0	102
西浦校区	10.2	4.1	26.5	4.1	36.7	8.2	26.5	2.0	6.1	12.2	2.0	49
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

問 5－2 名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由

利用しない理由は、「自分で車を運転できるから」が 69.6%と過半数を占めている。次いで、「行きたい場所に名鉄が通っていない」(23.4%)、「駅まで遠い」(19.9%)となっている。

年齢別、居住地別でも同様の傾向であるが、「20 歳未満」で「行きたい場所に名鉄が通っていない」が 50.0%と最も高くなっている。

図表 5- 6 利用しない理由



(MA) n=879

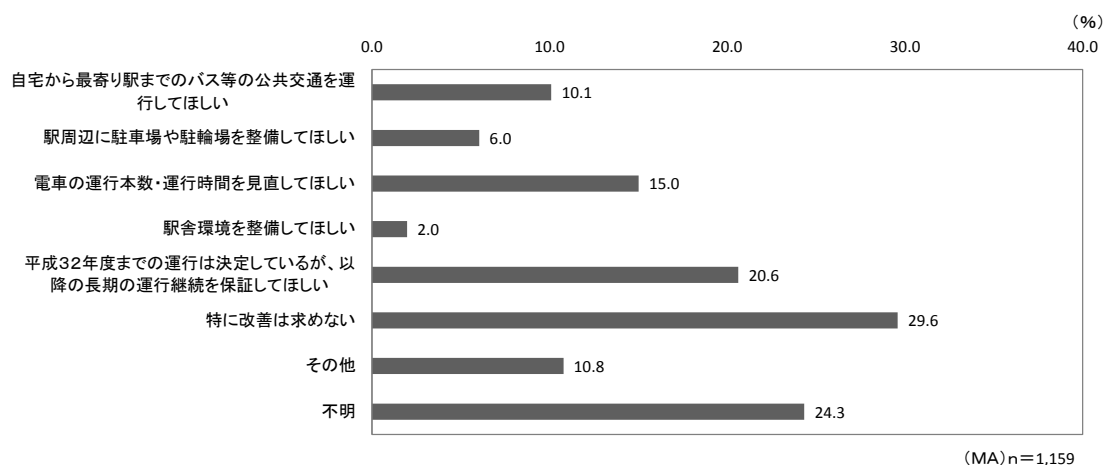
図表 5- 7 利用しない理由（年齢別・居住地別）

	行きたい 場所に名 鉄が通っ ていない	行きたい 時間に名 鉄が運行 していな い	自分で車 を運転で きるから	家族の人 が車で送 迎してく れるから	駅まで遠 い	電車の乗 り降りや 外出する のが負担	運行本数 が少ない	運賃が高 い	目的地ま で時間が かかる	目的地ま で遠回り する
全体	23.4	3.9	69.6	9.4	19.9	3.0	10.2	3.9	10.7	9.4
20歳未満	50.0	9.1	22.7	31.8	22.7	0.0	9.1	9.1	4.5	13.6
20歳代	45.8	4.2	60.4	10.4	18.8	12.5	20.8	4.2	16.7	18.8
30歳代	39.4	3.2	77.7	5.3	24.5	0.0	19.1	6.4	12.8	12.8
40歳代	26.9	6.7	82.1	3.0	23.9	0.7	10.4	3.0	14.2	12.7
50歳代	24.8	6.2	78.3	5.0	19.9	1.2	14.3	6.2	16.1	9.9
60～64歳	17.1	3.9	84.2	6.6	27.6	1.3	7.9	1.3	13.2	13.2
65～69歳	14.8	1.9	78.7	7.4	18.5	1.9	7.4	4.6	6.5	5.6
70～74歳	8.8	0.0	60.4	11.0	14.3	6.6	2.2	2.2	2.2	2.2
75～79歳	9.2	0.0	60.0	21.5	9.2	4.6	4.6	0.0	6.2	6.2
80歳以上	18.7	4.0	32.0	22.7	17.3	6.7	5.3	2.7	5.3	4.0
不明	60.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
大塚校区	27.4	2.7	68.5	5.5	26.0	1.4	11.0	4.1	8.2	6.8
三谷校区	21.1	3.9	65.1	9.9	21.7	1.3	9.9	0.7	7.2	6.6
蒲郡校区	26.5	4.2	67.2	7.1	15.5	3.8	6.3	2.5	12.2	11.8
中部校区	28.5	2.8	63.2	8.3	20.1	2.8	11.1	7.6	13.2	10.4
塩津校区	21.6	2.0	78.4	12.7	19.6	2.0	6.9	2.9	5.9	5.9
形原校区	16.4	4.9	81.1	13.9	23.0	4.9	18.0	6.6	12.3	9.8
西浦校区	10.0	7.5	75.0	12.5	17.5	5.0	12.5	2.5	17.5	12.5
その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
不明	42.9	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6
	始発の時 間が遅い	終電の時 間が早い	吉良吉田 駅で乗り 継ぎがあ り不便	バスなど との乗り 継ぎが発 生し不便	時刻表が わからない	鉄道の利 用方法が わからない	その他	不明	合計	
全体	0.5	2.4	8.5	4.2	4.4	2.2	6.4	6.0	879	
20歳未満	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	22.7	0.0	22	
20歳代	0.0	4.2	16.7	0.0	6.3	2.1	8.3	0.0	48	
30歳代	0.0	6.4	9.6	8.5	5.3	1.1	2.1	1.1	94	
40歳代	0.0	4.5	11.2	5.2	6.7	0.7	3.0	1.5	134	
50歳代	1.2	3.1	10.6	4.3	3.7	2.5	8.1	1.9	161	
60～64歳	1.3	1.3	10.5	7.9	5.3	3.9	2.6	6.6	76	
65～69歳	0.0	0.0	7.4	3.7	1.9	0.9	6.5	4.6	108	
70～74歳	0.0	0.0	3.3	1.1	3.3	3.3	6.6	17.6	91	
75～79歳	0.0	0.0	3.1	1.5	6.2	0.0	4.6	10.8	65	
80歳以上	1.3	1.3	4.0	2.7	4.0	4.0	13.3	17.3	75	
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	5	
大塚校区	0.0	1.4	1.4	5.5	5.5	1.4	5.5	9.6	73	
三谷校区	0.0	0.0	7.2	5.9	5.9	2.6	11.8	4.6	152	
蒲郡校区	0.0	0.4	6.3	3.8	4.6	2.1	7.1	4.6	238	
中部校区	0.7	2.1	10.4	2.8	5.6	1.4	4.9	7.6	144	
塩津校区	0.0	2.0	4.9	1.0	2.9	2.0	4.9	3.9	102	
形原校区	1.6	9.0	16.4	6.6	3.3	2.5	3.3	7.4	122	
西浦校区	2.5	5.0	12.5	2.5	0.0	2.5	2.5	5.0	40	
その他	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	
不明	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	7	

問5-3 名鉄西尾・蒲郡線を利用するために求める改善

利用するために求める改善は、「特に改善は求めない」が29.6%と最も高く、次いで、「平成32年度までの運行は決定しているが、以降の長期の運行継続を保証してほしい」(20.6%)、「電車の運行本数・運行時間を見直してほしい」(15.0%)となっており、年齢別、居住地別でも同様の傾向となっている(「不明」を除く)。

図表5-8 利用するために求める改善



図表5-9 利用するために求める改善（年齢別・居住地別）

	自宅から最寄り駅までのバス等の公共交通を運行してほしい	駅周辺に駐車場や駐輪場を整備してほしい	電車の運行本数・運行時間を見直してほしい	駅舎環境を整備してほしい	平成32年度までの運行は決定しているが、以降の長期の運行継続を保証してほしい	特に改善は求めない	その他	不明	合計
全体	10.1	6.0	15.0	2.0	20.6	29.6	10.8	24.3	1,159
20歳未満	10.0	0.0	23.3	3.3	23.3	46.7	3.3	0.0	30
20歳代	3.1	4.6	27.7	4.6	23.1	44.6	7.7	6.2	65
30歳代	11.3	7.8	23.5	3.5	25.2	37.4	11.3	10.4	115
40歳代	13.0	8.3	23.7	4.1	20.1	36.7	10.1	7.7	169
50歳代	12.9	5.4	16.3	2.0	17.8	34.7	14.9	14.9	202
60～64歳	14.4	10.3	16.5	1.0	25.8	28.9	13.4	14.4	97
65～69歳	9.9	9.9	9.9	0.7	25.4	19.7	12.7	32.4	142
70～74歳	5.8	3.3	10.0	0.8	15.8	22.5	10.8	45.8	120
75～79歳	5.0	4.0	3.0	0.0	20.8	21.8	6.9	44.6	101
80歳以上	7.3	0.0	3.6	0.9	13.6	17.3	7.3	55.5	110
不明	37.5	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	25.0	8
大塚校区	9.4	8.2	10.6	2.4	15.3	32.9	8.2	31.8	85
三谷校区	4.8	2.4	9.6	0.0	9.0	34.7	16.2	31.1	167
蒲郡校区	13.1	3.0	9.0	1.1	10.4	38.8	10.4	26.1	268
中部校区	14.0	5.2	8.7	0.0	16.3	31.4	9.9	25.0	172
塩津校区	13.5	7.5	12.8	4.5	11.3	33.8	11.3	25.6	133
形原校区	6.4	9.0	28.2	3.4	38.0	20.9	7.7	16.2	234
西浦校区	7.7	11.0	26.4	3.3	54.9	4.4	14.3	17.6	91
その他	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
不明	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	7

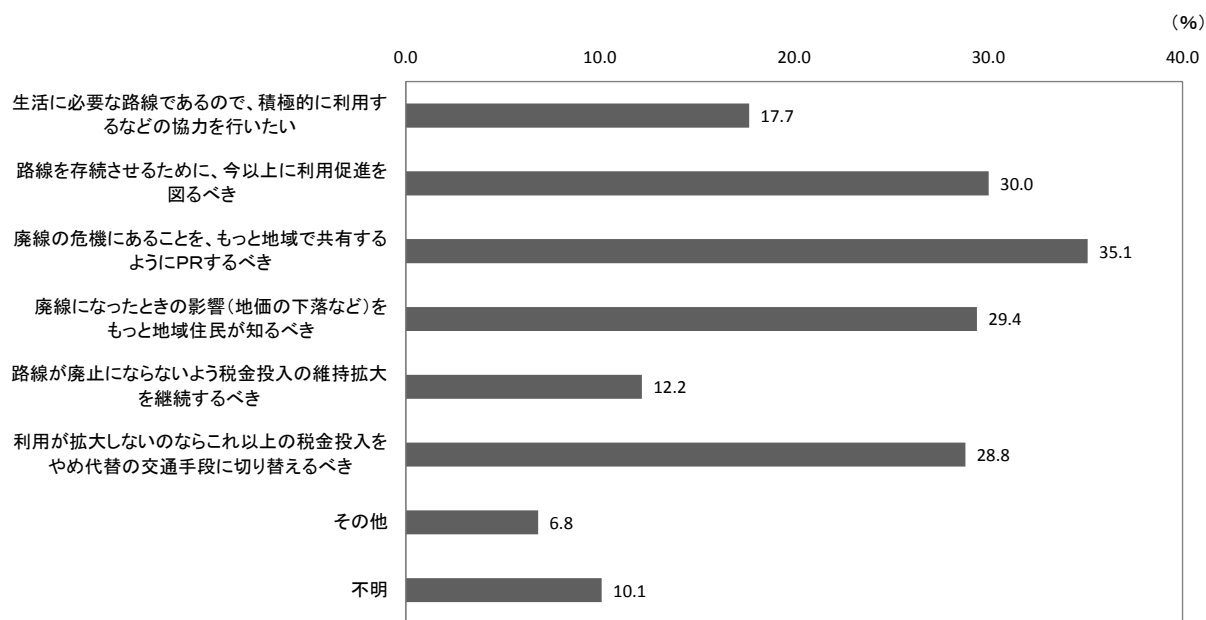
問5-4 名鉄西尾・蒲郡線の利用促進活動に対する考え

利用促進活動に対する考えは、「廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRすべき」が35.1%と最も高く、次いで、「路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき」(30.0%)、「廃線になったときの影響(地価の下落など)をもっと地域住民が知るべき」(29.4%)となっている。

年齢別では、同様の傾向であるが、年齢別では「65～69歳」(21.1%)、「70～74歳」(23.3%)、「75～79歳」(21.8%)で「生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい」も高くなっている。

居住地別では、「形原校区」(34.6%)と「西浦校区」(45.1%)で「生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい」も高くなっている。

図表5-10 利用促進活動に対する考え



(MA) n=1,159

図表 5- 11 利用促進活動に対する考え（年齢別・居住地別）

	生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力をやりたい	路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき	廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRするべき	廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき	路線が廃止にならないよう税金投入の維持拡大を継続するべき	利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき	その他	不明	合計
全体	17.7	30.0	35.1	29.4	12.2	28.8	6.8	10.1	1,159
20歳未満	10.0	33.3	36.7	33.3	20.0	6.7	6.7	3.3	30
20歳代	10.8	23.1	33.8	38.5	4.6	32.3	3.1	4.6	65
30歳代	18.3	29.6	34.8	40.9	7.0	37.4	12.2	2.6	115
40歳代	17.8	30.8	39.6	39.1	10.1	29.0	4.1	2.4	169
50歳代	12.9	32.2	34.7	30.7	10.9	32.7	8.9	4.0	202
60～64歳	15.5	33.0	38.1	28.9	12.4	30.9	7.2	7.2	97
65～69歳	21.1	29.6	40.1	25.4	9.9	28.2	6.3	12.0	142
70～74歳	23.3	33.3	31.7	25.0	20.8	26.7	8.3	13.3	120
75～79歳	21.8	27.7	28.7	20.8	13.9	25.7	5.0	21.8	101
80歳以上	18.2	25.5	30.9	14.5	17.3	20.9	3.6	30.9	110
不明	37.5	25.0	25.0	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	8
大塚校区	9.4	28.2	29.4	27.1	7.1	32.9	9.4	11.8	85
三谷校区	9.0	24.6	34.1	26.3	7.8	29.9	9.0	13.2	167
蒲郡校区	11.2	26.1	31.7	28.4	8.6	35.1	6.7	9.7	268
中部校区	9.3	27.9	30.8	27.3	9.3	30.2	4.1	9.3	172
塩津校区	10.5	21.1	32.3	27.8	12.0	33.8	6.8	14.3	133
形原校区	34.6	41.5	40.2	33.3	18.4	20.5	6.8	7.3	234
西浦校区	45.1	42.9	49.5	35.2	25.3	15.4	6.6	6.6	91
その他	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2
不明	0.0	0.0	57.1	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	7

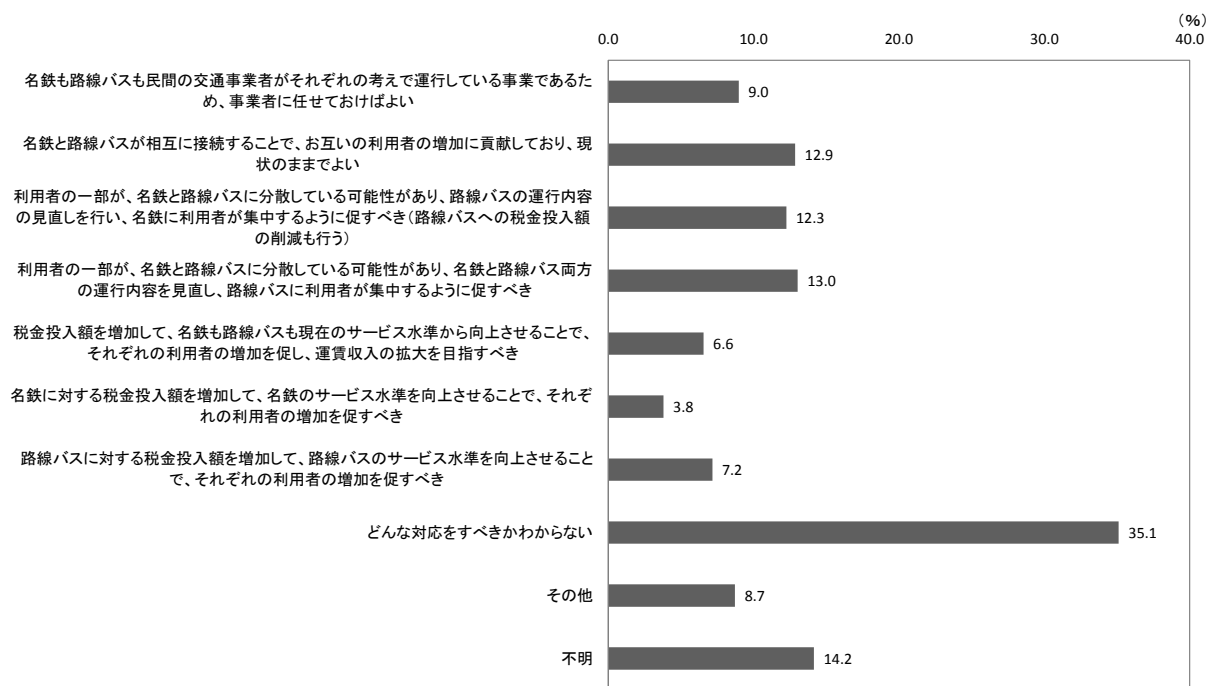
問 5－5 名鉄西尾・蒲郡線と路線バスの並行運行に対する考え

並行運行に対する考えは、「どんな対応をすべきかわからない」が 35.1%となっており、次いで、「利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき」(13.0%)、「名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい」(12.9%)となっている。

年齢別では「20 歳未満」(23.3%)、「30 歳代」(14.8%)、「40 歳代」(14.8%)、「50 歳代」(15.3%)、「60～64 歳」(14.4%)で「利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）」が、上位 3 項目のひとつとなっている。

居住地別では「大塚校区」(14.1%)、「蒲郡校区」(11.2%)、「中部校区」(12.2%)で、「利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）」が、上位 3 項目のひとつとなっている。

図表 5- 12 並行運行に対する考え



(MA)n=1,159

図表 5- 13 並行運行に対する考え（年齢別・居住地別）

	名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれで運行している事業であるため、事業者に任せておけばよい	名鉄と路線バスが相互に接続することでお互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい	利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）	利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき	税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサービス水準から向上させることで、それぞれの利用者の増加を促し、運賃収入の拡大を目指すべき	名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき	路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスのサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき	どんな対応をすべきかわからない	その他	不明	合計
全体	9.0	12.9	12.3	13.0	6.6	3.8	7.2	35.1	8.7	14.2	1,159
20歳未満	10.0	6.7	23.3	6.7	6.7	3.3	6.7	46.7	3.3	0.0	30
20歳代	13.8	18.5	6.2	10.8	4.6	4.6	6.2	35.4	7.7	7.7	65
30歳代	12.2	11.3	14.8	14.8	4.3	3.5	5.2	37.4	12.2	5.2	115
40歳代	9.5	11.2	14.8	15.4	5.9	3.0	7.7	37.9	8.9	4.1	169
50歳代	8.4	8.4	15.3	16.8	6.9	2.5	11.4	35.1	9.9	6.9	202
60～64歳	6.2	11.3	14.4	12.4	4.1	2.1	3.1	42.3	8.2	12.4	97
65～69歳	6.3	13.4	10.6	12.7	8.5	4.2	7.0	31.7	10.6	19.7	142
70～74歳	10.0	16.7	9.2	14.2	8.3	7.5	7.5	29.2	9.2	19.2	120
75～79歳	12.9	13.9	10.9	6.9	7.9	3.0	5.9	34.7	5.0	24.8	101
80歳以上	4.5	17.3	4.5	9.1	7.3	5.5	6.4	30.0	5.5	39.1	110
不明	0.0	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	12.5	8
大塚校区	8.2	10.6	14.1	9.4	2.4	3.5	5.9	32.9	12.9	17.6	85
三谷校区	9.0	9.6	7.8	12.0	6.6	2.4	3.0	40.1	8.4	13.8	167
蒲郡校区	9.0	10.4	11.2	13.8	5.2	2.6	8.6	36.6	8.2	15.7	268
中部校区	8.7	11.6	12.2	16.9	4.1	2.3	7.6	35.5	2.9	15.7	172
塩津校区	6.0	9.8	9.0	15.8	5.3	3.8	6.8	46.6	7.5	12.8	133
形原校区	12.4	17.9	16.2	11.5	9.4	7.3	8.5	26.1	9.8	12.8	234
西浦校区	6.6	23.1	14.3	9.9	14.3	4.4	8.8	30.8	15.4	8.8	91
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	2
不明	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	7

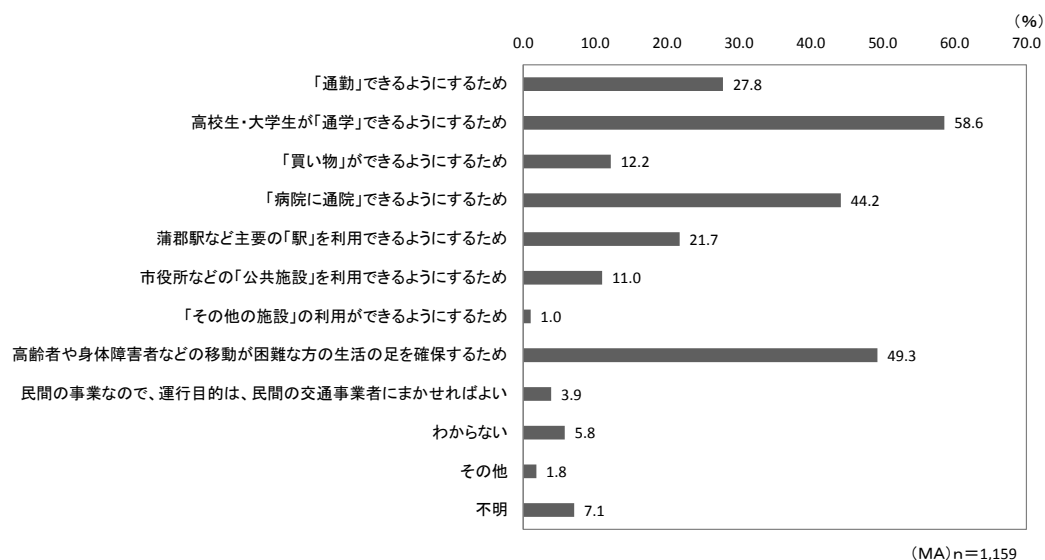
問 6 蒲郡市の将来的な公共交通のあり方

問 6 - 1 税金を投入して維持すべきために優先する目的

税金を投入して維持すべきために優先する目的は、「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が 58.6%と最も高く、次いで、「高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」(49.3%)、「「病院に通院」できるようにするため」(44.2%) となっている。

年齢別では「20 歳代」(44.6%) で、また、居住地別では「西浦校区」(42.9%) で「「通勤」できるようにするため」が、上位 3 項目のひとつとなっている。

図表 6- 1 税金を投入して維持すべきために優先する目的



図表 6- 2 税金を投入して維持すべきために優先する目的（年齢別・居住地別）

	「通勤」できるようにするため	高校生・大学生が「通学」できるようにするため	「買い物」ができるようにするため	「病院に通院」できるようにするため	蒲郡駅など主要の「駅」を利用できるようにするため	市役所などの「公共施設」を利用できるようにするため	「その他の施設」の利用ができるようにするため	高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため	民間の事業なので、運行目的は、民間の交通事業者にかかせればよい	わからない	その他	不明	合計
全体	27.8	58.6	12.2	44.2	21.7	11.0	1.0	49.3	3.9	5.8	1.8	7.1	1,159
20歳未満	53.3	86.7	6.7	20.0	26.7	3.3	6.7	36.7	0.0	3.3	0.0	0.0	30
20歳代	44.6	70.8	10.8	33.8	23.1	7.7	0.0	52.3	1.5	7.7	1.5	1.5	65
30歳代	34.8	67.8	13.0	44.3	22.6	13.0	0.9	52.2	1.7	2.6	5.2	1.7	115
40歳代	30.8	75.7	10.7	46.7	21.9	8.9	1.2	61.5	2.4	2.4	0.0	1.8	169
50歳代	27.7	61.9	12.4	49.5	23.8	10.4	0.0	54.0	3.0	3.0	2.0	3.0	202
60～64歳	29.9	60.8	8.2	42.3	32.0	12.4	1.0	49.5	3.1	3.1	2.1	6.2	97
65～69歳	29.6	62.0	15.5	50.0	26.8	16.9	2.1	46.5	2.8	2.8	1.4	6.3	142
70～74歳	12.5	43.3	10.8	41.7	21.7	13.3	0.0	41.7	5.8	15.0	3.3	9.2	120
75～79歳	23.8	40.6	15.8	45.5	8.9	7.9	1.0	44.6	8.9	9.9	0.0	15.8	101
80歳以上	14.5	30.9	10.9	39.1	11.8	9.1	1.8	39.1	8.2	11.8	1.8	22.7	110
不明	37.5	25.0	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	8
大塚校区	30.6	52.9	17.6	50.6	18.8	10.6	0.0	41.2	8.2	2.4	0.0	10.6	85
三谷校区	22.2	58.1	12.0	40.1	15.0	13.8	1.2	55.7	2.4	6.6	3.0	7.2	167
蒲郡校区	25.4	50.0	12.3	45.1	23.5	13.1	1.5	50.7	5.6	5.6	2.2	6.7	268
中部校区	22.7	57.0	13.4	39.5	27.9	11.6	0.0	51.2	4.1	2.9	0.6	8.1	172
塩津校区	22.6	54.9	15.0	49.6	18.0	4.5	1.5	45.9	3.0	11.3	3.0	8.3	133
形原校区	34.6	69.7	9.0	41.9	23.5	12.0	0.9	49.6	2.6	6.0	0.9	5.1	234
西浦校区	42.9	70.3	8.8	48.4	22.0	5.5	2.2	40.7	2.2	4.4	2.2	5.5	91
その他	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2
不明	28.6	57.1	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	57.1	0.0	14.3	0.0	14.3	7

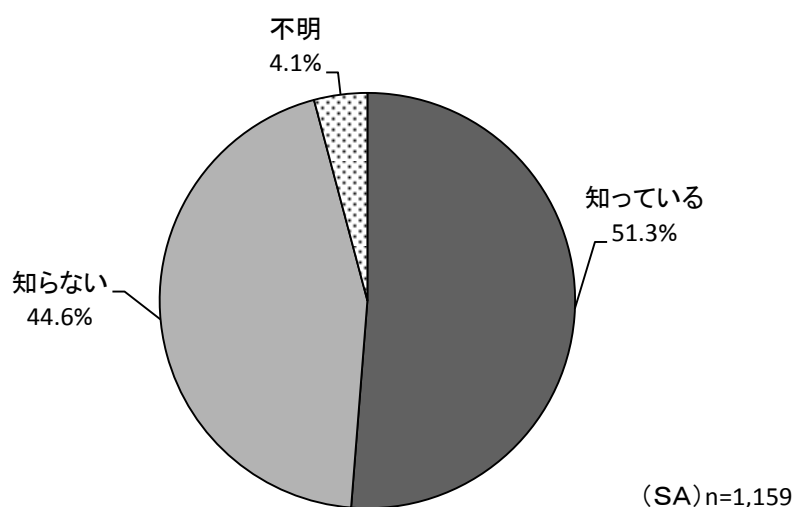
問 6 - 2 形原地区支線バス（あじさいくるりんバス）の認知度

形原地区支線バス（あじさいくるりんバス）の認知度は、「知っている」（51.3%）が「知らない」（44.6%）と比較してやや高くなっている。

年齢別では、「20 歳未満」（66.7%）、「20 歳代」（72.3%）、30 歳代」（60.0%）で「知らない」が 60%以上となっており、年齢層が高いほど認知度が高くなっている。

居住地では、「大塚校区」（55.3%）、「三谷校区」（59.3%）、「蒲郡校区」（60.8%）、「中部校区」（61.0%）で「知らない」がおおむね 60%以上となっており、「形原校区」（86.8%）と「西浦校区」（75.8%）では「知っている」が大半を占めている。

図表 6- 3 形原地区支線バス（あじさいくるりんバス）の認知度



図表 6- 4 形原地区支線バス（あじさいくるりんバス）の認知度（年齢別・居住地別）

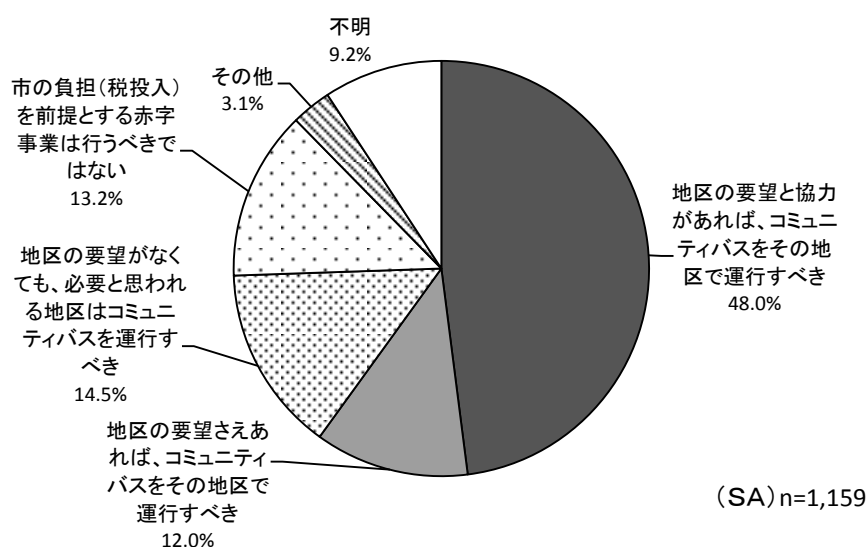
	知ってい	知らない	不明	合計
全体	51.3	44.6	4.1	1,159
20歳未満	33.3	66.7	0.0	30
20歳代	27.7	72.3	0.0	65
30歳代	38.3	60.0	1.7	115
40歳代	52.7	47.3	0.0	169
50歳代	52.0	47.0	1.0	202
60～64歳	56.7	40.2	3.1	97
65～69歳	58.5	38.0	3.5	142
70～74歳	55.8	37.5	6.7	120
75～79歳	62.4	29.7	7.9	101
80歳以上	49.1	33.6	17.3	110
不明	75.0	12.5	12.5	8
大塚校区	38.8	55.3	5.9	85
三谷校区	37.1	59.3	3.6	167
蒲郡校区	35.4	60.8	3.7	268
中部校区	33.1	61.0	5.8	172
塩津校区	54.1	40.6	5.3	133
形原校区	86.8	11.1	2.1	234
西浦校区	75.8	20.9	3.3	91
その他	50.0	50.0	0.0	2
不明	28.6	42.9	28.6	7

問 6 - 3 形原地区以外の地区でのコミュニティバスの事業化に対する考え

形原地区以外の地区でのコミュニティバスの事業化に対する考えは、「地区の要望と協力があれば、コミュニティバスをその地区で運行すべき」が 48.0%と約半数を占めている。

年齢別、居住地別でも同様の傾向であるが、年齢別では「30 歳代」(20.0%)、また、居住地別では「大塚校区」(15.3%)、「三谷校区」(17.4%)、「中部校区」(14.0%)、「塩津校区」(13.5%)で、「市の負担(税投入)を前提とする赤字事業は行うべきではない」が次点となっている(同率を含む)。

図表 6- 5 形原地区以外の地区でのコミュニティバスの事業化に対する考え



図表 6-6 形原地区以外の地区でのコミュニティバスの事業化に対する考え（年齢別・居住地別）

	地区の要望と協力があれば、コミュニティバスをその地区で運行すべき	地区の要望さえあれば、コミュニティバスをその地区で運行すべき	地区の要望がなくとも、必要と思われる地区はコミュニティバスを運行すべき	市の負担（税投入）を前提とする赤字事業は行わない	その他	不明	合計
全体	48.0	12.0	14.5	13.2	3.1	9.2	1,159
20歳未満	63.3	10.0	20.0	6.7	0.0	0.0	30
20歳代	53.8	16.9	9.2	13.8	6.2	0.0	65
30歳代	53.0	10.4	10.4	20.0	4.3	1.7	115
40歳代	61.5	15.4	10.7	9.5	1.8	1.2	169
50歳代	55.9	10.4	15.3	11.9	2.5	4.0	202
60～64歳	47.4	3.1	23.7	18.6	0.0	7.2	97
65～69歳	46.5	12.0	14.1	12.7	2.1	12.7	142
70～74歳	35.0	13.3	20.0	14.2	4.2	13.3	120
75～79歳	34.7	17.8	15.8	12.9	4.0	14.9	101
80歳以上	30.9	9.1	9.1	11.8	5.5	33.6	110
不明	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	25.0	8
大塚校区	44.7	15.3	15.3	15.3	0.0	9.4	85
三谷校区	43.1	10.2	16.2	17.4	3.6	9.6	167
蒲郡校区	51.5	9.3	13.8	13.4	2.2	9.7	268
中部校区	45.3	13.4	14.0	14.0	3.5	9.9	172
塩津校区	45.9	13.5	12.0	13.5	5.3	9.8	133
形原校区	55.1	9.8	14.1	9.8	3.0	8.1	234
西浦校区	41.8	19.8	18.7	8.8	4.4	6.6	91
その他	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
不明	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	7

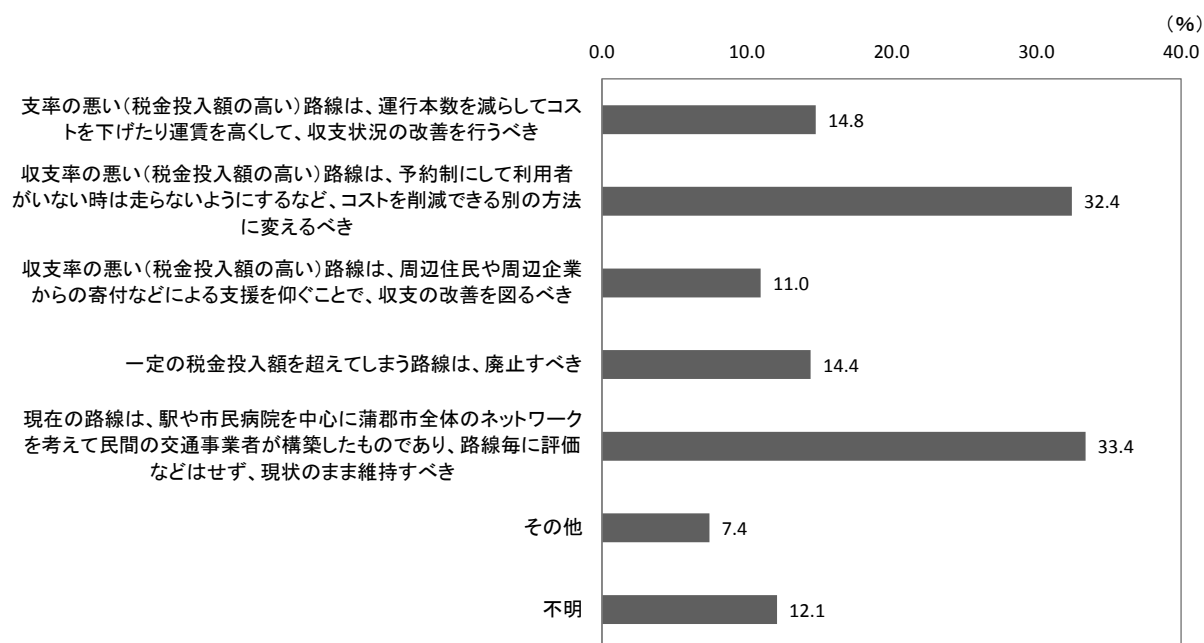
問 6－4 路線ごとに投入する税金の額の違いに対する考え

路線ごとに投入する税金の額の違いに対する考えは、「現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき」が 33.4%、次いで、「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき」（32.4%）となっており、「維持すべき」と「コスト削減を図るべき」との考えが、ほぼ同等となっている。

年齢別では、「50 歳代」以下で「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき」が最も高くなっている。また、「60～64 歳」以上で「現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき」が最も高くなっている。

居住地別では、「大塚校区」（36.5%）、「三谷校区」（37.1%）、「中部校区」（33.1%）で「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき」が最も高くなっている。また、「蒲郡校区」（32.1%）、「塩津校区」（36.8%）、「形原校区」（40.6%）、「西浦校区」（50.5%）で「現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき」が最も高くなっている。

図表 6- 7 路線ごとに投入する税金の額の違いに対する考え



(MA) n=1,159

図表 6- 8 路線ごとに投入する税金の額の違いに対する考え（年齢別・居住地別）

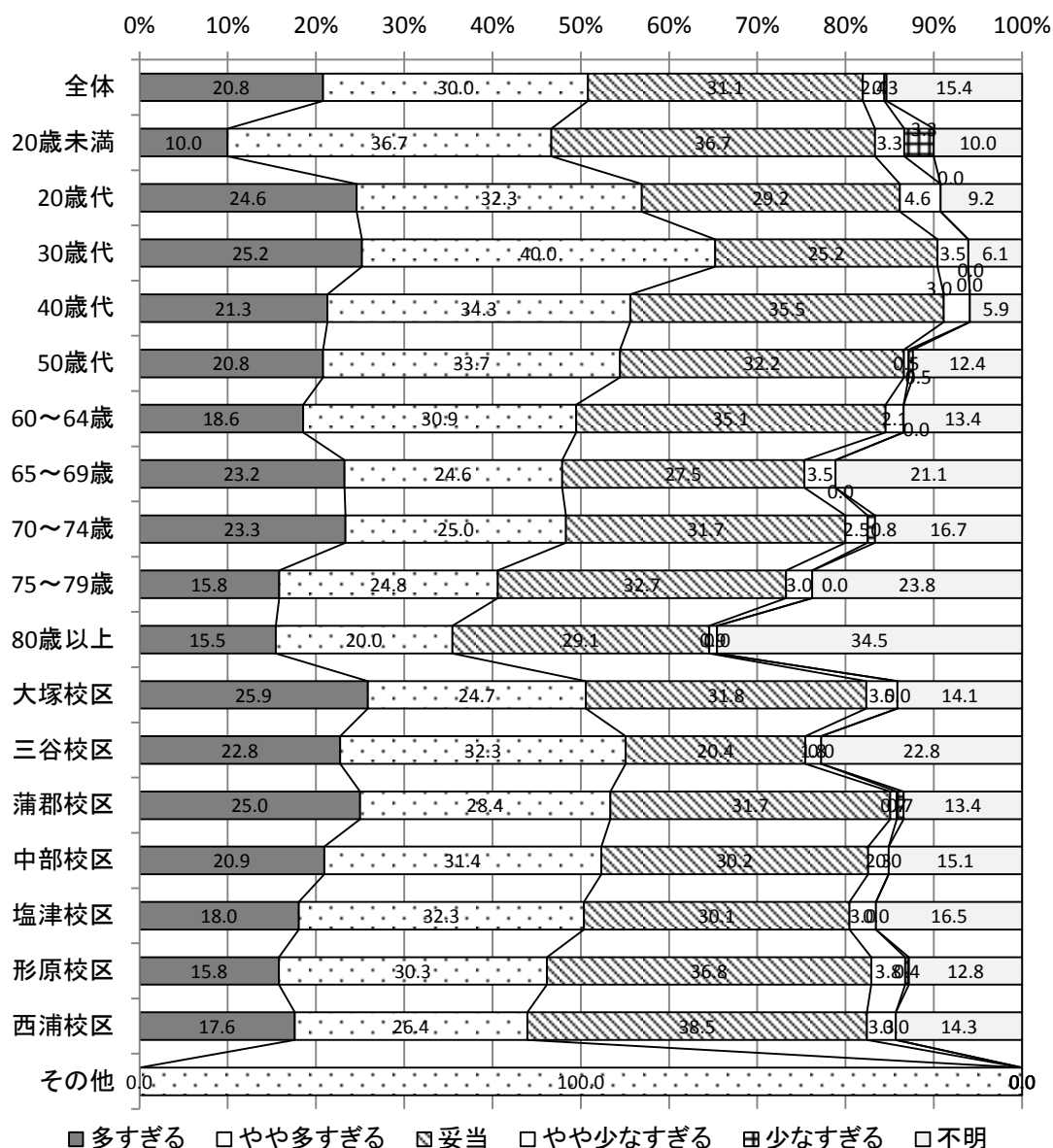
	収支率の悪い(税金投入額の多い) 路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき	収支率の悪い(税金投入額の多い) 路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき	収支率の悪い(税金投入額の多い) 路線は、周辺住民や周辺企業からの寄付などによる支援を仰ぐことで、収支の改善を図るべき	一定の税金投入額を超えてしまう路線は、廃止すべき	現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき	その他	不明	合計
全体	14.8	32.4	11.0	14.4	33.4	7.4	12.1	1,159
20歳未満	20.0	36.7	16.7	6.7	20.0	3.3	6.7	30
20歳代	30.8	43.1	21.5	18.5	15.4	7.7	4.6	65
30歳代	27.8	36.5	12.2	23.5	16.5	9.6	6.1	115
40歳代	15.4	42.0	8.3	14.8	23.7	4.7	6.5	169
50歳代	10.4	32.7	14.4	13.4	33.7	8.4	7.4	202
60～64歳	10.3	32.0	10.3	13.4	42.3	9.3	10.3	97
65～69歳	19.0	34.5	12.0	9.9	41.5	9.2	12.0	142
70～74歳	9.2	31.7	6.7	15.8	40.8	8.3	14.2	120
75～79歳	8.9	15.8	8.9	9.9	50.5	4.0	24.8	101
80歳以上	7.3	20.0	6.4	16.4	37.3	7.3	27.3	110
不明	12.5	25.0	0.0	0.0	37.5	0.0	37.5	8
大塚校区	10.6	36.5	16.5	18.8	21.2	10.6	14.1	85
三谷校区	15.0	37.1	12.6	11.4	26.3	7.2	16.8	167
蒲郡校区	13.8	31.0	9.7	19.8	32.1	8.6	9.7	268
中部校区	15.1	33.1	12.8	16.9	27.3	5.8	12.8	172
塩津校区	19.5	32.3	11.3	15.0	36.8	6.0	9.0	133
形原校区	14.5	32.5	9.4	9.0	40.6	6.8	13.2	234
西浦校区	14.3	22.0	7.7	8.8	50.5	8.8	7.7	91
その他	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	14.3	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	7

問 6－5 鉄道・路線バス・支線バス等を維持するための年間約 1 億 6,000 万円の税金投入に対する考え

税金投入に対する考えは、「妥当」が 31.1%と最も高く、次いで、「やや多すぎる」(30.0%)、「多すぎる」(20.8%)となっており、「多すぎる」(20.8%)と「やや多すぎる」(30.0%)が 50.8%と過半数となっている。

年齢別では「20 歳代」～「50 歳代」で、また、居住地別では「大塚校区」、「三谷校区」、「蒲郡校区」、「中部校区」、「塩津校区」で「多すぎる」と「やや多すぎる」が 50%以上となっている。

図表 6－9 年間約 1 億 6,000 万円の税金投入に対する考え（年齢別・居住地別）



(SA) n=1,159

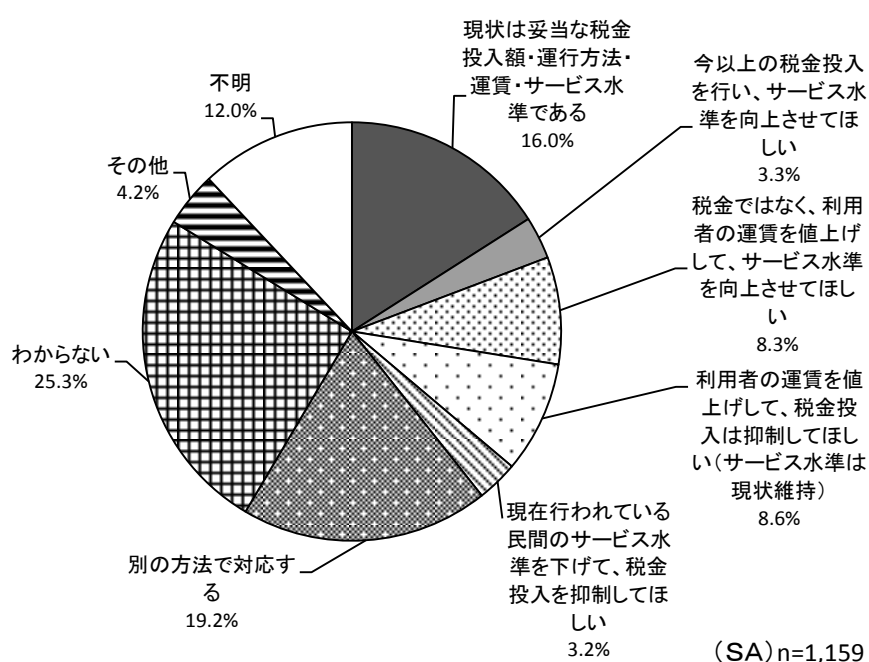
問 6－6 今後の税金投入とこれからの公共交通サービスの水準に対する考え

今後の税金投入とこれからの公共交通サービスの水準に対する考えは、「わからない」が 25.3%と最も高く、次いで、「別の方法で対応する」(19.2%)、「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」(16.0%) となっている。

年齢別では、「20 歳代」で「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）」(21.5%)、「50 歳代」で「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」(20.3%) が最も高くなっている。

居住地別では、「形原校区」(24.4%) と「西浦校区」(24.2%) で「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」が最も高くなっている。

図表 6- 10 今後の税金投入とこれからの公共交通サービスの水準に対する考え



図表 6-11 今後の税金投入とこれら公共交通サービスの水準に対する考え（年齢別・居住地別）

	現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である	今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい	税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい	利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）	現在行われている民間のサービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい（使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある）	税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービスを絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する	わからない	その他	不明	合計
全体	16.0	3.3	8.3	8.6	3.2	19.2	25.3	4.2	12.0	1,159
20歳未満	10.0	3.3	10.0	0.0	0.0	10.0	63.3	0.0	3.3	30
20歳代	10.8	4.6	10.8	21.5	1.5	13.8	21.5	7.7	7.7	65
30歳代	15.7	4.3	8.7	12.2	3.5	19.1	22.6	7.0	7.0	115
40歳代	16.0	4.7	5.3	9.5	5.9	21.3	27.8	4.7	4.7	169
50歳代	20.3	2.0	11.9	7.9	4.0	18.3	19.8	5.9	9.9	202
60～64歳	19.6	2.1	3.1	4.1	3.1	23.7	30.9	7.2	6.2	97
65～69歳	15.5	3.5	9.9	8.5	2.8	21.1	21.8	2.8	14.1	142
70～74歳	15.8	3.3	10.0	9.2	1.7	19.2	25.8	2.5	12.5	120
75～79歳	17.8	2.0	4.0	4.0	2.0	24.8	24.8	1.0	19.8	101
80歳以上	10.0	2.7	7.3	8.2	2.7	11.8	25.5	0.9	30.9	110
不明	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	25.0	8
大塚校区	15.3	3.5	7.1	11.8	3.5	22.4	20.0	3.5	12.9	85
三谷校区	10.2	3.0	9.0	7.8	1.8	19.2	25.7	6.0	17.4	167
蒲郡校区	15.7	2.2	8.6	6.3	3.7	19.8	28.0	5.2	10.4	268
中部校区	11.0	1.2	9.9	11.6	4.1	23.3	22.1	3.5	13.4	172
塩津校区	11.3	2.3	9.8	9.8	3.0	16.5	35.3	3.8	8.3	133
形原校区	24.4	4.7	6.0	9.0	3.4	16.7	22.6	3.8	9.4	234
西浦校区	24.2	8.8	7.7	5.5	2.2	16.5	18.7	2.2	14.3	91
その他	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
不明	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	28.6	7

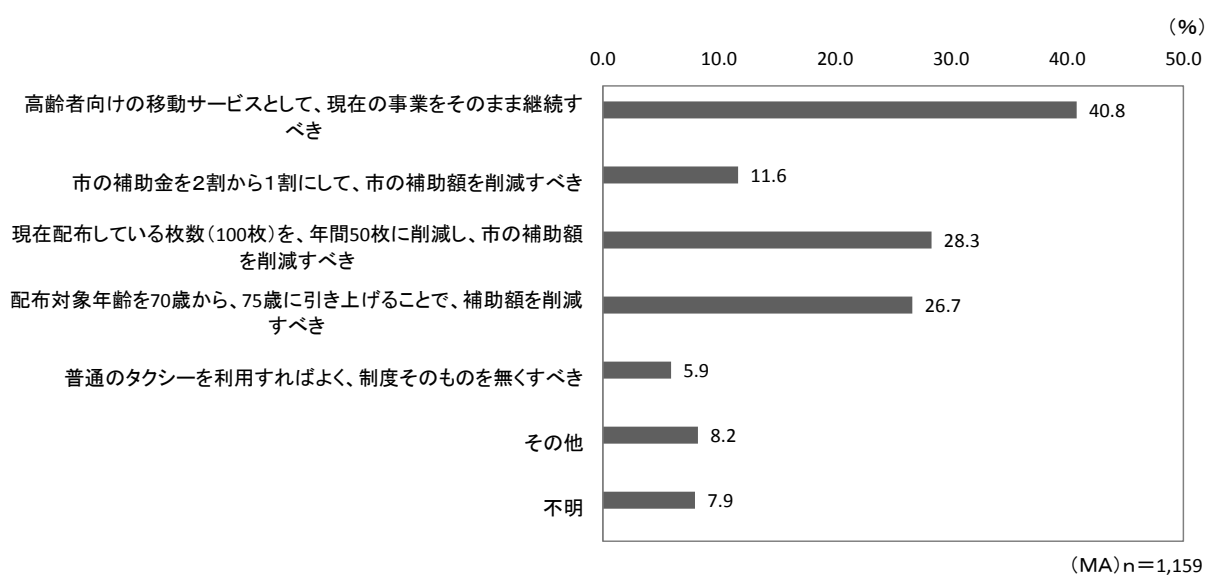
問 6－7 「高齢者タクシー運賃助成事業」に対する考え

「高齢者タクシー運賃助成事業」に対する考えは、「高齢者向けの移動サービスとして、現在の事業をそのまま継続すべき」が 40.8%で最も高く、次いで、「現在配布している枚数（100 枚）を、年間 50 枚に削減し、市の補助額を削減すべき」（28.3%）、「配布対象年齢を 70 歳から、75 歳に引き上げることで、補助額を削減すべき」（26.7%）となっている。

年齢別では、「75～79 歳」で「配布対象年齢を 70 歳から、75 歳に引き上げることで、補助額を削減すべき」（39.6%）、「80 歳以上」で「配布対象年齢を 70 歳から、75 歳に引き上げることで、補助額を削減すべき」（34.5%）が最も高くなっている。

居住地別では、同様の傾向となっている。

図表 6- 12 「高齢者タクシー運賃助成事業」に対する考え



図表 6- 13 「高齢者タクシー運賃助成事業」に対する考え（年齢別・居住地別）

	高齢者向けの移動サービスとして、現在の事業をそのまま継続すべき	市の補助金を2割から1割にして、市の補助額を削減すべき	現在配布している枚数(100枚)を、年間50枚に削減し、市の補助額を削減すべき	配布対象年齢を70歳から、75歳に引き上げることで、補助額を削減すべき	普通のタクシーを利用すればよく、制度そのものを無くすべき	その他	不明	合計
全体	40.8	11.6	28.3	26.7	5.9	8.2	7.9	1,159
20歳未満	46.7	16.7	20.0	20.0	10.0	3.3	0.0	30
20歳代	35.4	21.5	26.2	15.4	9.2	13.8	4.6	65
30歳代	47.0	14.8	27.0	15.7	8.7	14.8	2.6	115
40歳代	41.4	12.4	32.0	22.5	3.6	7.7	2.4	169
50歳代	46.5	10.4	21.8	21.3	6.9	9.4	4.5	202
60～64歳	44.3	10.3	22.7	26.8	6.2	9.3	5.2	97
65～69歳	43.7	12.7	33.1	32.4	4.9	6.3	9.2	142
70～74歳	35.0	10.0	26.7	39.2	9.2	5.0	10.8	120
75～79歳	38.6	7.9	34.7	39.6	3.0	5.9	10.9	101
80歳以上	27.3	8.2	34.5	29.1	1.8	5.5	25.5	110
不明	25.0	0.0	25.0	37.5	0.0	0.0	37.5	8
大塚校区	41.2	9.4	24.7	23.5	9.4	9.4	8.2	85
三谷校区	41.9	12.6	27.5	22.8	3.0	8.4	9.6	167
蒲郡校区	41.0	6.7	31.0	26.9	8.6	8.6	4.5	268
中部校区	36.6	14.5	25.0	26.2	4.7	8.1	12.8	172
塩津校区	39.1	12.8	25.6	27.8	6.0	9.0	9.8	133
形原校区	41.9	14.1	29.5	29.9	4.3	8.1	7.3	234
西浦校区	44.0	12.1	33.0	28.6	6.6	4.4	4.4	91
その他	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2
不明	71.4	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	7

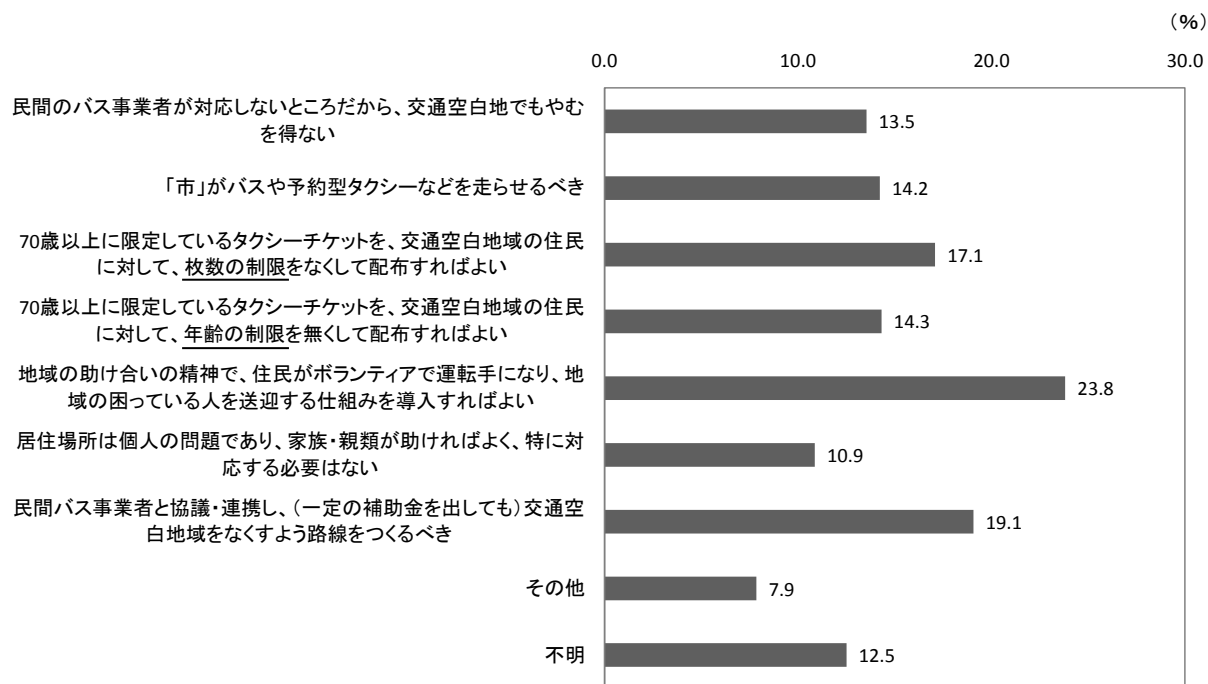
問6－8 「交通空白地域」に対する考え

「交通空白地域」に対する考えは、「地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい」が 23.8%で最も高く、次いで、「民間バス事業者と協議・連携し、(一定の補助金を出しても) 交通空白地域をなくすよう路線をつくるべき」(19.1%)、「70 歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、枚数の制限をなくして配布すればよい」(17.1%) となっている。

年齢別では、「20 歳未満」で「交通空白地域であるので、税金を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき」(30.0%)、「20 歳代」(24.6%) で「70 歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、年齢の制限を無くして配布すればよい」、「30 歳代」で「民間バスの事業者が対応しないところだから、交通空白地帯でもやむを得ない」(26.1%) が最も高くなっている。

居住地別では、同様の傾向となっている。

図表 6- 14 「交通空白地域」に対する考え



(MA) n=1,159

図表 6- 15 「交通空白地域」に対する考え（年齢別・居住地別）

	民間のバス事業者が対応しないところだから、交通空白地でもやむを得ない	交通空白地域であるので、税金を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき	70歳以上に限定しているタクシーを、交通空白地域の住民に対して、 枚数の制限 をなくして配布すればよい	70歳以上に限定しているタクシーを、交通空白地域の住民に対して、 年齢の制限 を無くして配布すればよい	地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい	居住場所は個人の問題であり、家族・親類が助ければよく、特に対応する必要はない	民間バス事業者と協議・連携し、（一定の補助金を出しても）交通空白地域をなくすよう路線をつくるべき	その他	不明	合計
全体	13.5	14.2	17.1	14.3	23.8	10.9	19.1	7.9	12.5	1,159
20歳未満	16.7	30.0	6.7	6.7	13.3	6.7	26.7	6.7	3.3	30
20歳代	20.0	12.3	24.6	24.6	15.4	10.8	15.4	6.2	6.2	65
30歳代	26.1	7.0	18.3	21.7	17.4	18.3	13.0	13.9	2.6	115
40歳代	17.2	13.6	19.5	15.4	22.5	8.9	20.1	4.7	5.9	169
50歳代	10.4	18.3	15.8	10.4	25.7	11.9	20.3	8.9	5.4	202
60～64歳	10.3	17.5	18.6	18.6	38.1	10.3	16.5	9.3	8.2	97
65～69歳	7.7	14.8	14.8	11.3	23.2	9.9	20.4	7.0	19.0	142
70～74歳	11.7	15.0	15.8	19.2	30.8	14.2	20.0	7.5	10.8	120
75～79歳	15.8	11.9	21.8	5.9	24.8	5.9	16.8	5.9	25.7	101
80歳以上	7.3	10.0	10.9	10.9	18.2	8.2	22.7	8.2	34.5	110
不明	0.0	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	50.0	8
大塚校区	12.9	15.3	21.2	17.6	25.9	8.2	12.9	12.9	10.6	85
三谷校区	11.4	12.6	12.6	14.4	30.5	10.2	13.2	7.2	14.4	167
蒲郡校区	13.8	10.8	16.4	14.6	24.3	13.1	19.8	7.1	10.8	268
中部校区	16.3	18.0	19.8	14.0	16.9	11.0	19.8	6.4	13.4	172
塩津校区	11.3	14.3	21.1	15.0	19.5	10.5	13.5	9.8	16.5	133
形原校区	15.8	15.0	13.2	12.8	24.4	12.0	22.6	7.7	10.7	234
西浦校区	11.0	15.4	22.0	12.1	24.2	5.5	29.7	6.6	13.2	91
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	2
不明	0.0	42.9	28.6	42.9	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	7

問 6－9 自家用車中心から公共交通中心の生活への転換に対する考え

自家用車中心から公共交通中心の生活への転換に対する考えは、「将来、年をとったらできると思う」が 39.7%で最も高く、次いで、「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」(32.1%) となっている。

年齢別では、「20 歳未満」(40.0%)、「20 歳代」(43.1%)、「30 歳代」(41.7%)、「50 歳代」(39.1%) で「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」が最も高くなっている。

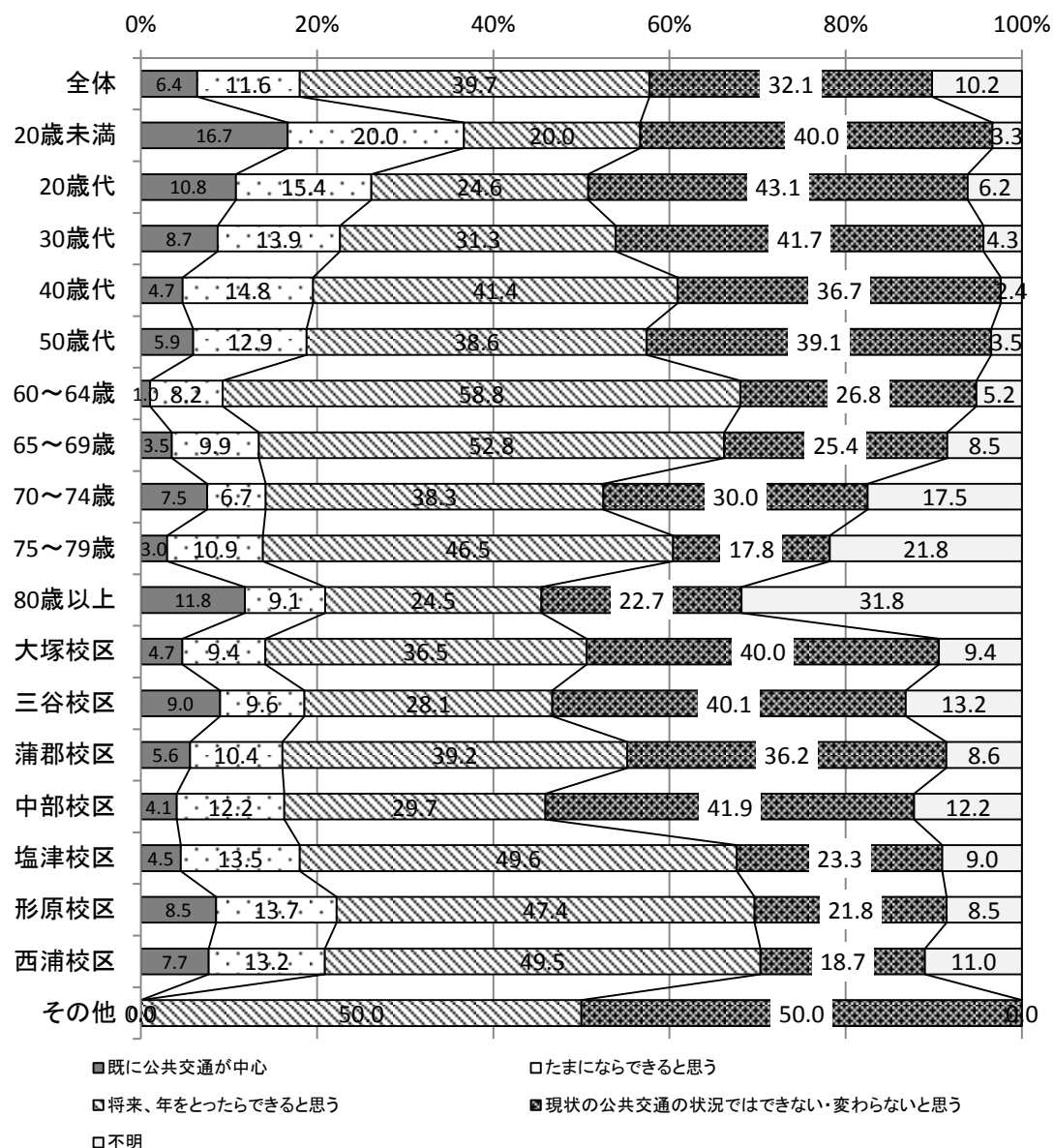
居住地別では、「大塚校区」(40.0%)、「三谷校区」(40.1%)、「中部校区」(41.9%) で「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」が最も高くなっている。

公共交通中心の生活への転換する年齢は、「80～84 歳」が 26.7%で最も高く、次いで、「75～79 歳」(25.2%)、「70～74 歳」(23.5%) となっている。

年齢別では、「20 歳未満」で「65～69 歳」が 33.3%で最も高くなっており、年齢層が低いほど転換する年齢が低くなっている。

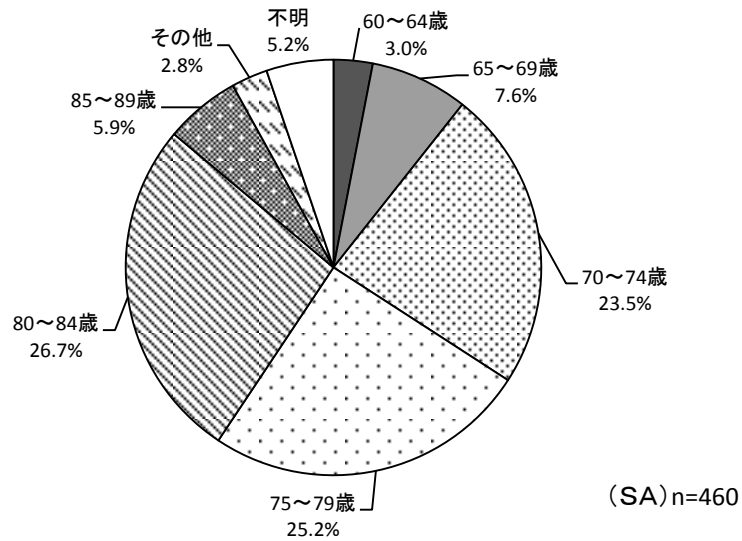
居住地別では、おおむね同様の傾向となっている。

図表 6- 16 自家用車中心から公共交通中心の生活への転換に対する考え（年齢別・居住地別）



(SA) n=1,159

図表 6- 17 公共交通中心の生活への転換する年齢



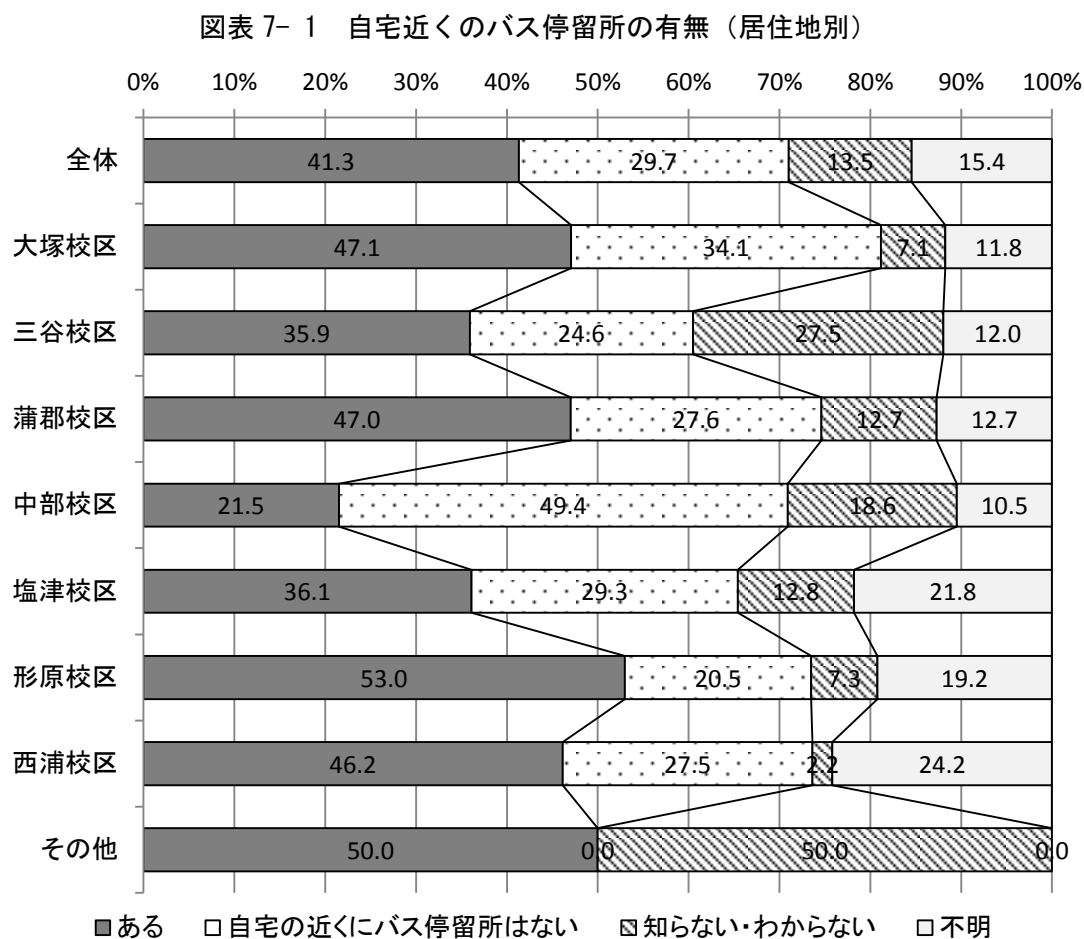
図表 6- 18 公共交通中心の生活への転換する年齢（年齢別・居住地別）

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	その他	不明	合計
全体	3.0	7.6	23.5	25.2	26.7	5.9	2.8	5.2	460
20歳未満	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6
20歳代	12.5	25.0	50.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	16
30歳代	11.1	16.7	38.9	25.0	2.8	0.0	2.8	2.8	36
40歳代	4.3	15.7	35.7	24.3	14.3	0.0	4.3	1.4	70
50歳代	2.6	7.7	32.1	23.1	23.1	2.6	1.3	7.7	78
60～64歳	0.0	8.8	28.1	29.8	21.1	3.5	1.8	7.0	57
65～69歳	0.0	1.3	17.3	41.3	26.7	2.7	5.3	5.3	75
70～74歳	2.2	0.0	8.7	30.4	50.0	4.3	2.2	2.2	46
75～79歳	0.0	0.0	0.0	10.6	68.1	14.9	2.1	4.3	47
80歳以上	3.7	0.0	0.0	11.1	25.9	37.0	3.7	18.5	27
不明	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
大塚校区	6.5	9.7	29.0	29.0	22.6	3.2	0.0	0.0	31
三谷校区	0.0	2.1	27.7	38.3	23.4	8.5	0.0	0.0	47
蒲郡校区	2.9	4.8	24.8	21.9	27.6	4.8	4.8	8.6	105
中部校区	3.9	9.8	25.5	27.5	19.6	5.9	2.0	5.9	51
塩津校区	4.5	12.1	21.2	19.7	33.3	6.1	3.0	0.0	66
形原校区	1.8	7.2	24.3	24.3	27.9	4.5	3.6	6.3	111
西浦校区	2.2	11.1	8.9	26.7	28.9	11.1	2.2	8.9	45
その他	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
不明	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3

問 7 バスを全く利用しない人の理由と利用可能性

問 7-1 自宅近くのバス停留所の有無

自宅近くのバス停留所の有無は、「ある」が 41.3%、「ない」が 29.7%となっている。
地域別では、「中部校区」で「ない」が 49.4%と「ある」(21.5%)を上回っている。



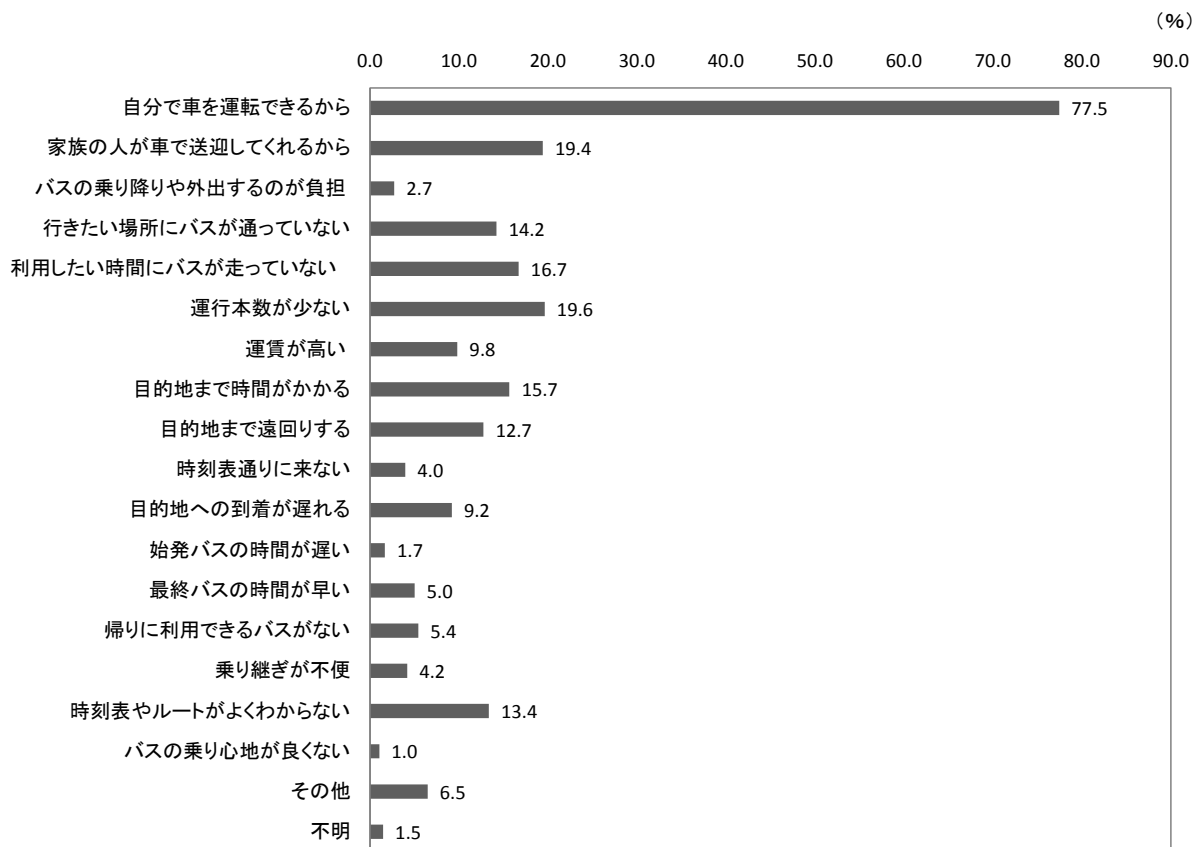
(SA) n=1,159

問 7-2 自宅近くのバス停留所があるがバスを利用しない理由

自宅近くのバス停留所があるがバスを利用しない理由は、「自分で車を運転できるから」が77.5%と大半を占めている。

年齢別、居住地別でも同様の傾向となっている。

図表 7-2 自宅近くのバス停留所があるがバスを利用しない理由



(MA) n=479

図表 7- 3 自宅近くのバス停留所があるがバスを利用しない理由（年齢別・居住地別）

	自分で車を運転できるから	家族の人が車で送迎してくれるから	バスの乗り降りや外出するのが負担	行きたい場所にバスが通っていない	利用したい時間にバスが走っていない	運行本数が少ない	運賃が高い	目的地まで時間がかかる	目的地まで遠回りする	時刻表通りに来ない
全体	77.5	19.4	2.7	14.2	16.7	19.6	9.8	15.7	12.7	4.0
20歳未満	25.0	58.3	0.0	33.3	16.7	8.3	25.0	25.0	25.0	0.0
20歳代	90.0	33.3	3.3	23.3	10.0	16.7	23.3	13.3	13.3	3.3
30歳代	87.2	14.9	0.0	14.9	19.1	14.9	12.8	25.5	12.8	8.5
40歳代	86.7	16.0	2.7	17.3	20.0	24.0	10.7	13.3	17.3	1.3
50歳代	81.3	8.8	2.2	13.2	26.4	27.5	9.9	27.5	23.1	9.9
60～64歳	74.4	10.3	2.6	12.8	17.9	25.6	10.3	15.4	12.8	2.6
65～69歳	84.2	21.1	0.0	15.8	12.3	15.8	7.0	8.8	1.8	1.8
70～74歳	72.0	20.0	0.0	12.0	10.0	20.0	6.0	14.0	10.0	2.0
75～79歳	77.5	22.5	5.0	5.0	5.0	7.5	5.0	5.0	2.5	0.0
80歳以上	44.7	36.8	13.2	7.9	15.8	15.8	2.6	2.6	5.3	2.6
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大塚校区	67.5	15.0	0.0	12.5	30.0	35.0	15.0	17.5	20.0	2.5
三谷校区	68.3	21.7	3.3	20.0	18.3	23.3	3.3	13.3	10.0	3.3
蒲郡校区	73.8	18.3	2.4	14.3	17.5	16.7	6.3	11.9	15.9	4.0
中部校区	81.1	24.3	2.7	8.1	18.9	18.9	10.8	10.8	8.1	0.0
塩津校区	85.4	22.9	4.2	10.4	6.3	10.4	4.2	10.4	2.1	4.2
形原校区	79.8	19.4	4.0	14.5	16.1	21.0	12.9	21.8	12.1	6.5
西浦校区	90.5	14.3	0.0	16.7	11.9	16.7	21.4	19.0	19.0	0.0
その他	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
不明	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	目的地への到着が遅れる	始発バスの時間が遅い	最終バスの時間が早い	帰りに利用できるバスがない	乗り継ぎが不便	時刻表やルートがよくわからない	バスの乗り心地が良くない	その他	不明	合計
全体	9.2	1.7	5.0	5.4	4.2	13.4	1.0	6.5	1.5	479
20歳未満	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	25.0	0.0	16.7	0.0	12
20歳代	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	3.3	0.0	30
30歳代	6.4	4.3	4.3	4.3	8.5	6.4	0.0	8.5	2.1	47
40歳代	12.0	4.0	16.0	5.3	4.0	20.0	2.7	6.7	1.3	75
50歳代	19.8	1.1	3.3	4.4	4.4	16.5	2.2	11.0	0.0	91
60～64歳	2.6	5.1	0.0	12.8	5.1	17.9	0.0	5.1	0.0	39
65～69歳	1.8	0.0	1.8	3.5	3.5	7.0	0.0	1.8	1.8	57
70～74歳	6.0	0.0	4.0	6.0	2.0	18.0	2.0	8.0	4.0	50
75～79歳	2.5	0.0	0.0	5.0	0.0	2.5	0.0	0.0	5.0	40
80歳以上	2.6	0.0	7.9	7.9	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	38
不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
大塚校区	12.5	5.0	12.5	15.0	2.5	15.0	0.0	10.0	2.5	40
三谷校区	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	16.7	3.3	5.0	3.3	60
蒲郡校区	5.6	0.8	2.4	6.3	4.0	19.0	0.8	9.5	1.6	126
中部校区	2.7	5.4	8.1	2.7	2.7	8.1	0.0	2.7	0.0	37
塩津校区	8.3	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	6.3	0.0	48
形原校区	12.9	2.4	8.1	6.5	5.6	12.9	0.0	4.0	1.6	124
西浦校区	9.5	0.0	4.8	4.8	4.8	11.9	2.4	7.1	0.0	42
その他	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

問7-3 自宅近くにバスが運行された場合の利用に対する考え

自宅近くにバスが運行された場合の利用に対する考えは、「利用しない」が54.5%と過半数を占めている。

年齢別では、年齢層が低くなるほど「利用しない」の割合が高くなっている。

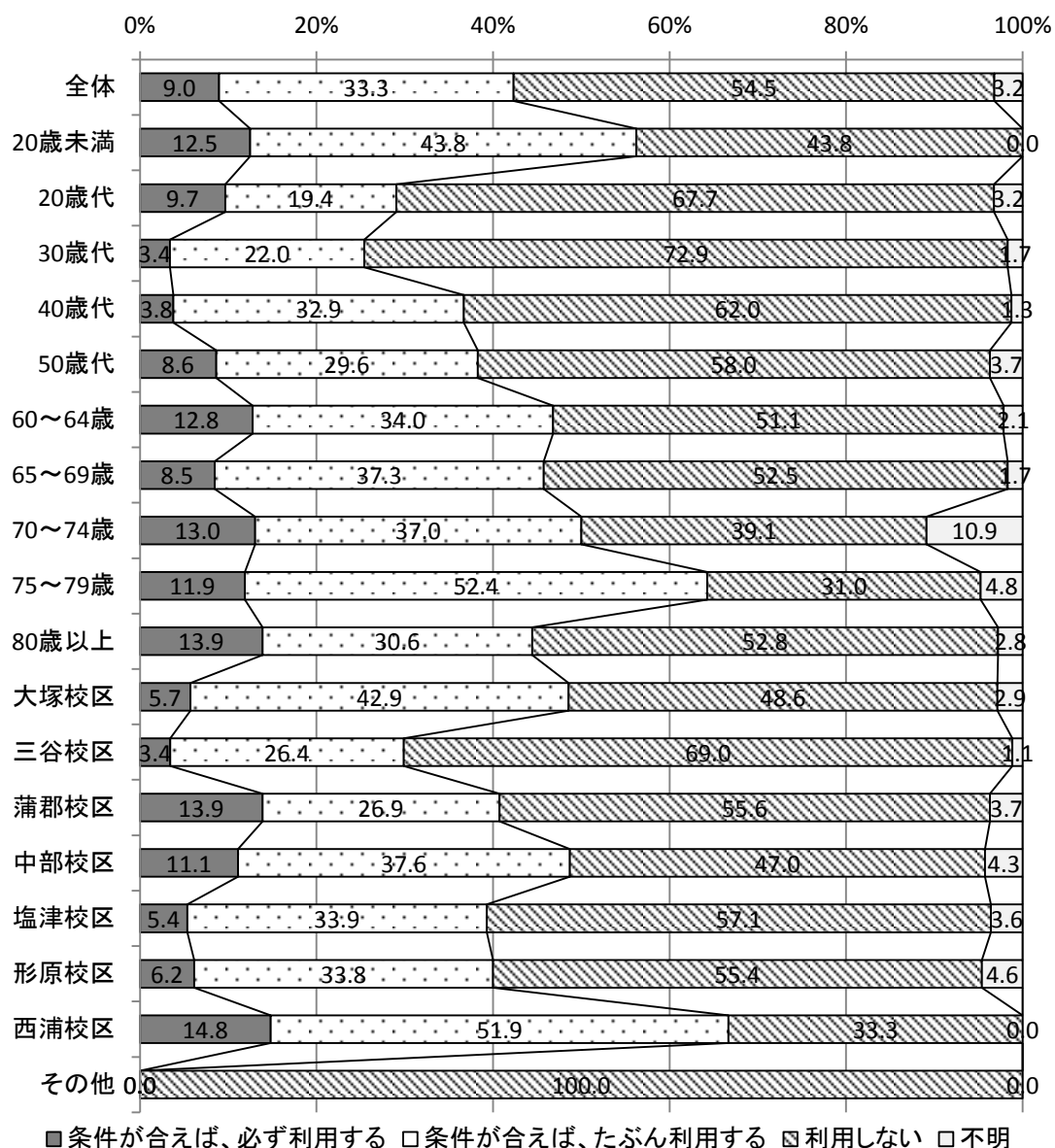
居住地別では、「西浦校区」において「条件が合えば、たぶん利用する」が51.9%と過半数を占め、他校区より高くなっている。

利用しない理由は、「自家用車で移動を優先する」が74.7%と大半を占めている。

年齢別では、「20歳未満」(42.9%)、「80歳以上」(42.1%)で「家族の人が車で送迎してくれる」が最も高くなっており、「徒歩や自転車がある」の割合も高くなっている。

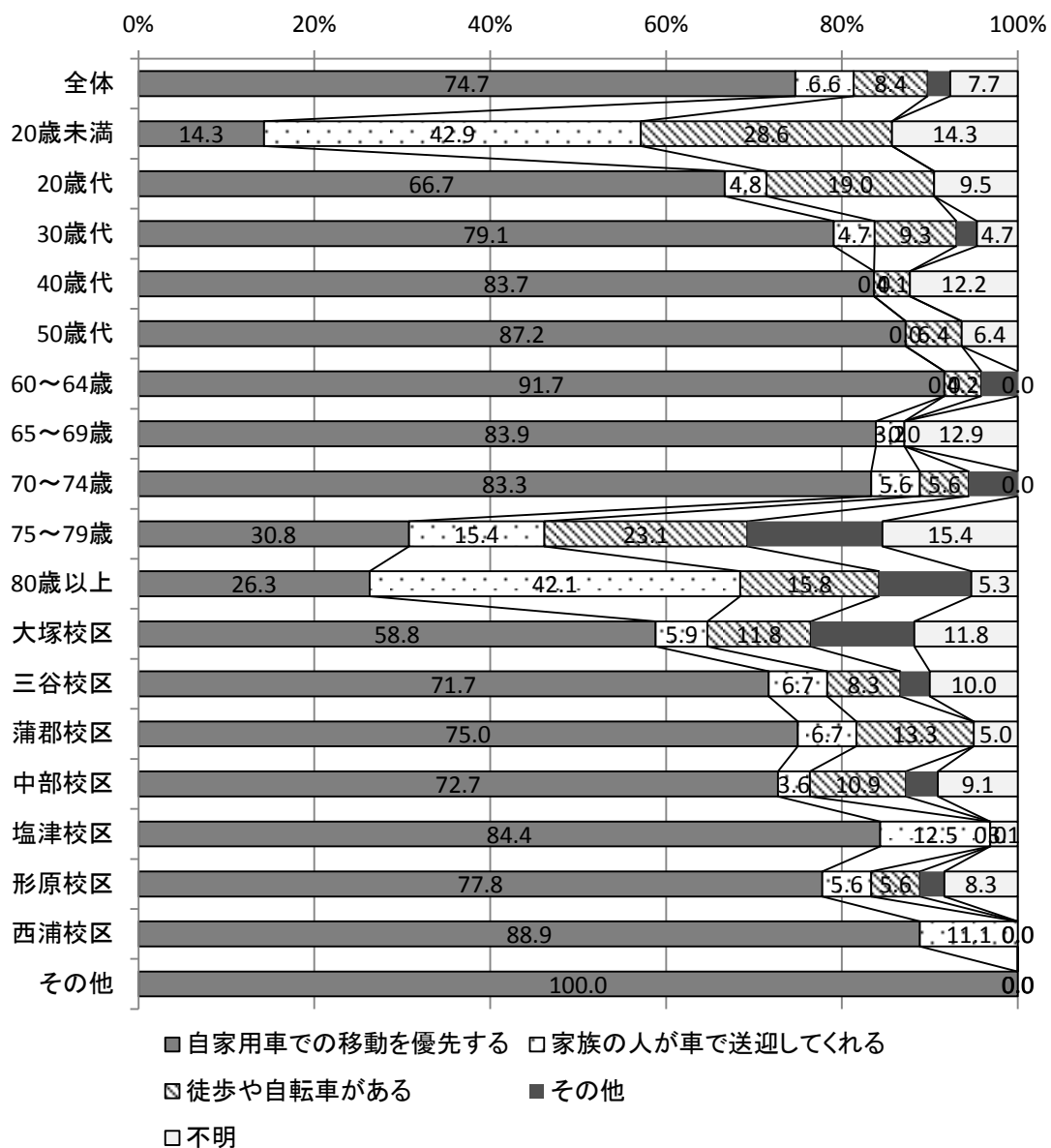
居住地別では、同様の傾向となっている。

図表7-4 自宅近くにバスが運行された場合の利用に対する考え（年齢別・居住地別）



(SA) n=501

図表 7- 5 利用しない理由（年齢別・居住地別）



(SA) n=273

問 7 - 4 条件が合えば利用する場合の条件

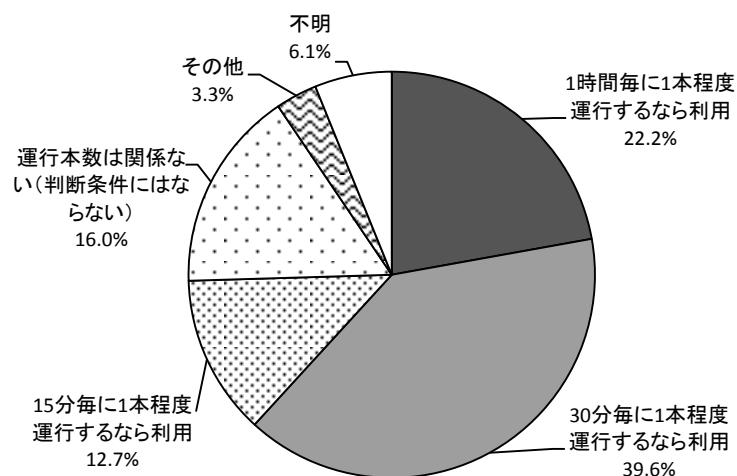
(1) 運行本数に関する条件

運行本数に関する条件は、「30 分毎に 1 本程度運行するなら利用」が 39.6%と最も高く、次いで、「1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用」(22.2%)、「運行本数は関係ない(判断条件にはならない)」(16.0%)となっている。

年齢別では、「70～74 歳」(52.2%)と「80 歳以上」(37.5%)で「1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用」が最も高くなっている。

居住地別では、「西浦校区」で「1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用」が 33.3%と最も高くなっている。

図表 7- 6 運行本数に関する条件



(SA) n=212

図表 7- 7 運行本数に関する条件（年齢別・居住地別）

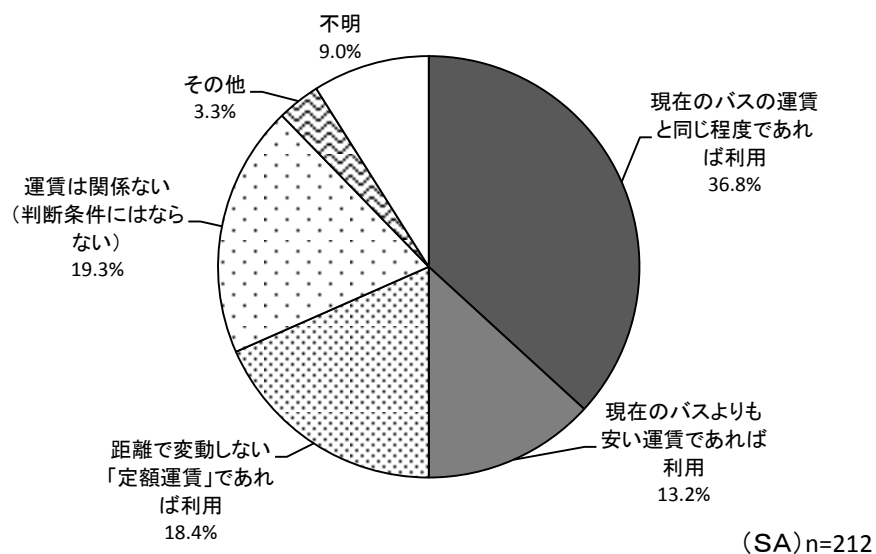
	1時間毎に1本程度運行するなら利用	30分毎に1本程度運行するなら利用	15分毎に1本程度運行するなら利用	運行本数は関係ない(判断条件にはならない)	その他	不明	合計
全体	22.2	39.6	12.7	16.0	3.3	6.1	212
20歳未満	0.0	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0	9
20歳代	0.0	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0	9
30歳代	20.0	53.3	13.3	13.3	0.0	0.0	15
40歳代	17.2	51.7	17.2	6.9	6.9	0.0	29
50歳代	16.1	29.0	12.9	32.3	6.5	3.2	31
60～64歳	0.0	54.5	18.2	13.6	0.0	13.6	22
65～69歳	29.6	29.6	7.4	18.5	7.4	7.4	27
70～74歳	52.2	26.1	4.3	8.7	0.0	8.7	23
75～79歳	22.2	44.4	3.7	22.2	0.0	7.4	27
80歳以上	37.5	25.0	6.3	12.5	0.0	18.8	16
不明	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
大塚校区	11.8	52.9	23.5	5.9	0.0	5.9	17
三谷校区	19.2	38.5	15.4	19.2	0.0	7.7	26
蒲郡校区	22.7	43.2	15.9	9.1	4.5	4.5	44
中部校区	17.5	38.6	8.8	28.1	3.5	3.5	57
塩津校区	40.9	40.9	0.0	4.5	4.5	9.1	22
形原校区	15.4	46.2	19.2	11.5	3.8	3.8	26
西浦校区	33.3	16.7	5.6	22.2	5.6	16.7	18
不明	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2

(2) 運賃に関する条件

運賃に関する条件は、「現在のバスの運賃と同じ程度であれば利用」が 36.8%と最も高く、次いで、「運賃は関係ない（判断条件にはならない）」(19.3%)、「距離で変動しない「定額運賃」であれば利用」(18.4%) となっている。

年齢別、居住地別ともに、同様の傾向となっている。

図表 7- 8 運賃に関する条件



図表 7- 9 運賃に関する条件（年齢別・居住地別）

	現在のバスの運賃と同じ程度であれば利用	現在のバスよりも安い運賃であれば利用	距離で変動しない「定額運賃」であれば利用	運賃は関係ない（判断条件にはならない）	その他	不明	合計
全体	36.8	13.2	18.4	19.3	3.3	9.0	212
20歳未満	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	9
20歳代	66.7	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	9
30歳代	66.7	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0	15
40歳代	44.8	10.3	13.8	20.7	6.9	3.4	29
50歳代	29.0	9.7	29.0	22.6	6.5	3.2	31
60～64歳	22.7	13.6	22.7	27.3	0.0	13.6	22
65～69歳	29.6	18.5	25.9	11.1	0.0	14.8	27
70～74歳	26.1	21.7	21.7	13.0	4.3	13.0	23
75～79歳	29.6	14.8	14.8	29.6	0.0	11.1	27
80歳以上	50.0	0.0	0.0	25.0	6.3	18.8	16
不明	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	4
大塚校区	41.2	23.5	23.5	5.9	0.0	5.9	17
三谷校区	46.2	7.7	15.4	11.5	7.7	11.5	26
蒲郡校区	40.9	9.1	15.9	25.0	2.3	6.8	44
中部校区	26.3	14.0	21.1	31.6	1.8	5.3	57
塩津校区	54.5	9.1	9.1	9.1	4.5	13.6	22
形原校区	30.8	15.4	26.9	11.5	3.8	11.5	26
西浦校区	27.8	16.7	16.7	16.7	5.6	16.7	18
不明	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2

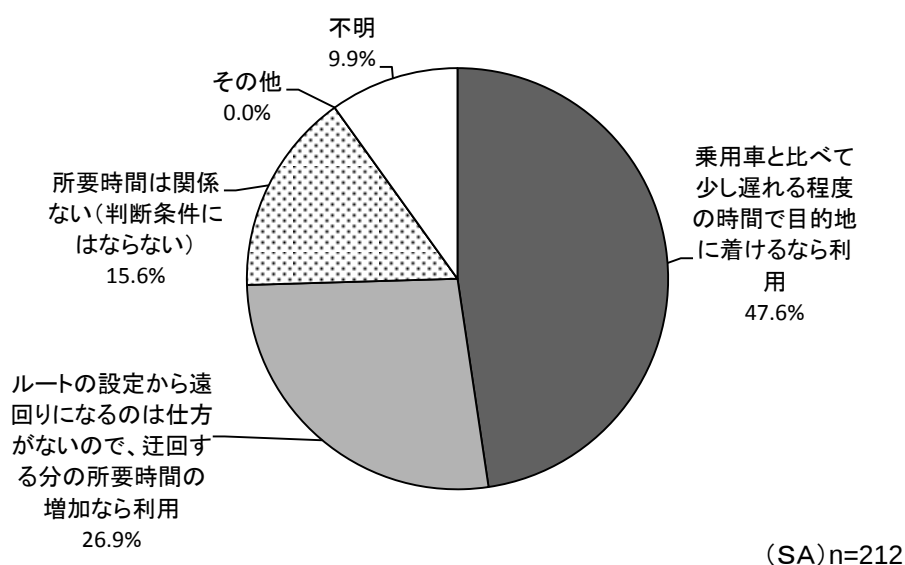
(3) 目的地までの所要時間に関する条件

目的地までの所要時間に関する条件は、「乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用」が 47.6%と最も高く、次いで、「ルートの設定から遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用」(26.9%)、「所要時間は関係ない(判断条件にはならない)」(15.6%) となっている。

年齢別では、「75～79 歳」で「ルートの設定から遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用」が 40.7%と最も高くなっている。

居住地別では、同様の傾向となっている。

図表 7- 10 目的地までの所要時間に関する条件



図表 7- 11 目的地までの所要時間に関する条件（年齢別・居住地別）

	乗用車と比べて少し遅れる程度で目的地に着けるなら利用	ルートの設定から遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用	所要時間は関係ない(判断条件にはならない)	その他	不明	合計
全体	47.6	26.9	15.6	0.0	9.9	212
20歳未満	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0	9
20歳代	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	9
30歳代	53.3	40.0	6.7	0.0	0.0	15
40歳代	51.7	31.0	13.8	0.0	3.4	29
50歳代	48.4	19.4	25.8	0.0	6.5	31
60～64歳	50.0	13.6	27.3	0.0	9.1	22
65～69歳	59.3	14.8	11.1	0.0	14.8	27
70～74歳	34.8	39.1	17.4	0.0	8.7	23
75～79歳	33.3	40.7	14.8	0.0	11.1	27
80歳以上	31.3	18.8	12.5	0.0	37.5	16
不明	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	4
大塚校区	70.6	5.9	17.6	0.0	5.9	17
三谷校区	50.0	30.8	7.7	0.0	11.5	26
蒲郡校区	50.0	22.7	18.2	0.0	9.1	44
中部校区	45.6	31.6	17.5	0.0	5.3	57
塩津校区	40.9	36.4	9.1	0.0	13.6	22
形原校区	50.0	26.9	15.4	0.0	7.7	26
西浦校区	27.8	22.2	22.2	0.0	27.8	18
不明	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2

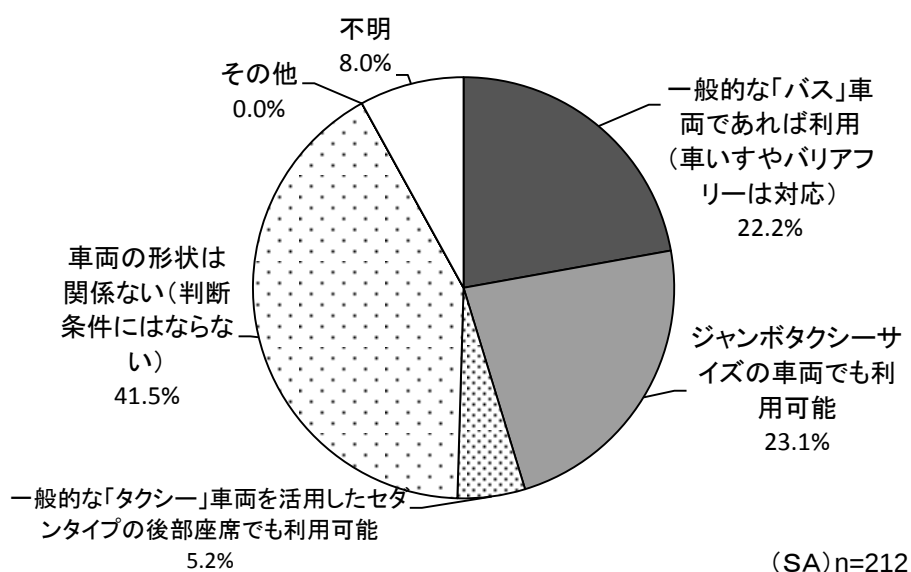
(4) 車両の形状に関する条件

車両の形状に関する条件は、「車両の形状は関係ない（判断条件にはならない）」が 41.5%と最も高く、次いで、「ジャンボタクシーサイズの車両でも利用可能」（23.1%）、「一般的な「バス」車両であれば利用（車いすやバリアフリーは対応）」（22.2%）となっている。

年齢別では、「80 歳以上」で「一般的な「バス」車両であれば利用（車いすやバリアフリーは対応）」が 25.0%と最も高くなっている。

居住地別では、「大塚校区」で「一般的な「バス」車両であれば利用（車いすやバリアフリーは対応）」が 35.3%と最も高くなっている。

図表 7- 12 車両の形状に関する条件



図表 7- 13 車両の形状に関する条件（年齢別・居住地別）

	一般的な 「バス」車 両であれ ば利用 (車いす やバリア フリーは 対応)	ジャンボタ クシーサ イズの車 両でも利 用可能	一般的な 「タク シー」車 両を 活用し たセダン タイプの 後部座 席でも 利用可 能	車両の形 状は関係 ない(判 断条件に はならな い)	その他	不明	合計
全体	22.2	23.1	5.2	41.5	0.0	8.0	212
20歳未満	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	9
20歳代	11.1	11.1	11.1	66.7	0.0	0.0	9
30歳代	20.0	20.0	6.7	53.3	0.0	0.0	15
40歳代	17.2	20.7	3.4	55.2	0.0	3.4	29
50歳代	9.7	32.3	0.0	54.8	0.0	3.2	31
60～64歳	31.8	27.3	0.0	31.8	0.0	9.1	22
65～69歳	29.6	25.9	11.1	29.6	0.0	3.7	27
70～74歳	26.1	17.4	4.3	39.1	0.0	13.0	23
75～79歳	18.5	33.3	11.1	29.6	0.0	7.4	27
80歳以上	25.0	12.5	6.3	18.8	0.0	37.5	16
不明	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4
大塚校区	35.3	29.4	5.9	23.5	0.0	5.9	17
三谷校区	19.2	30.8	0.0	46.2	0.0	3.8	26
蒲郡校区	20.5	20.5	4.5	47.7	0.0	6.8	44
中部校区	22.8	22.8	5.3	43.9	0.0	5.3	57
塩津校区	9.1	27.3	4.5	40.9	0.0	18.2	22
形原校区	26.9	11.5	11.5	42.3	0.0	7.7	26
西浦校区	16.7	27.8	5.6	33.3	0.0	16.7	18
不明	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2

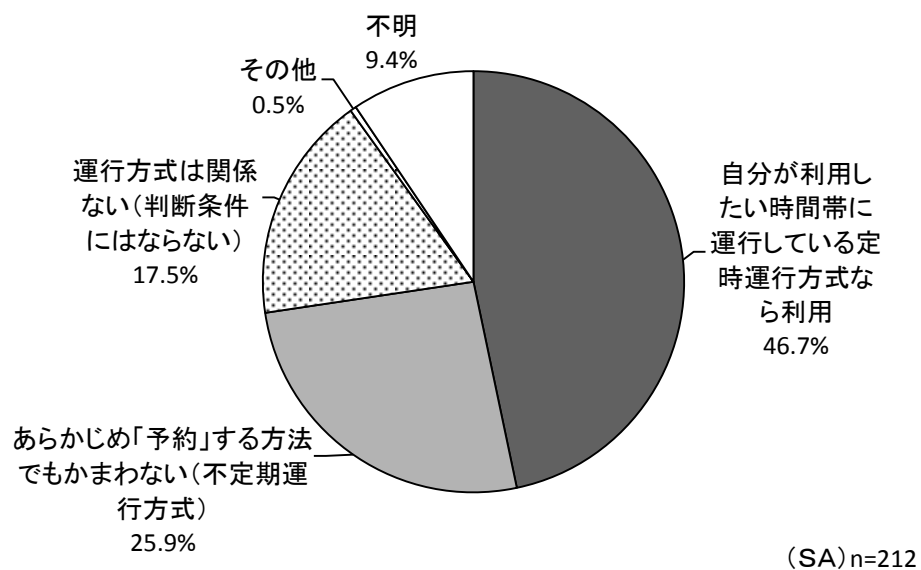
(5) 運行方式に関する条件

運行方式に関する条件は、「自分が利用したい時間帯に運行している定時運行方式なら利用」が46.7%と最も高く、次いで、「あらかじめ「予約」する方法でもかまわない（不定期運行方式）」(25.9%)、「運行方式は関係ない（判断条件にはならない）」(17.5%)となっている。

年齢別では同様の傾向となっている。

居住地別では、「塩津校区」で「あらかじめ「予約」する方法でもかまわない（不定期運行方式）」が36.4%と最も高くなっている。

図表 7- 14 運行方式に関する条件



図表 7- 15 運行方式に関する条件（年齢別・居住地別）

	自分が利用したい時間帯に運行している定時運行方式なら利用	あらかじめ「予約」する方法でもかまわない（不定期運行方式）	運行方式は関係ない（判断条件にはならない）	その他	不明	合計
全体	46.7	25.9	17.5	0.5	9.4	212
20歳未満	88.9	0.0	11.1	0.0	0.0	9
20歳代	55.6	22.2	22.2	0.0	0.0	9
30歳代	60.0	26.7	13.3	0.0	0.0	15
40歳代	44.8	31.0	20.7	0.0	3.4	29
50歳代	38.7	32.3	29.0	0.0	0.0	31
60～64歳	50.0	18.2	18.2	0.0	13.6	22
65～69歳	55.6	22.2	11.1	0.0	11.1	27
70～74歳	43.5	34.8	13.0	0.0	8.7	23
75～79歳	37.0	29.6	18.5	3.7	11.1	27
80歳以上	31.3	12.5	12.5	0.0	43.8	16
不明	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	4
大塚校区	41.2	29.4	17.6	0.0	11.8	17
三谷校区	53.8	30.8	3.8	0.0	11.5	26
蒲郡校区	52.3	18.2	20.5	2.3	6.8	44
中部校区	49.1	26.3	19.3	0.0	5.3	57
塩津校区	31.8	36.4	13.6	0.0	18.2	22
形原校区	50.0	23.1	23.1	0.0	3.8	26
西浦校区	27.8	27.8	22.2	0.0	22.2	18
不明	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2

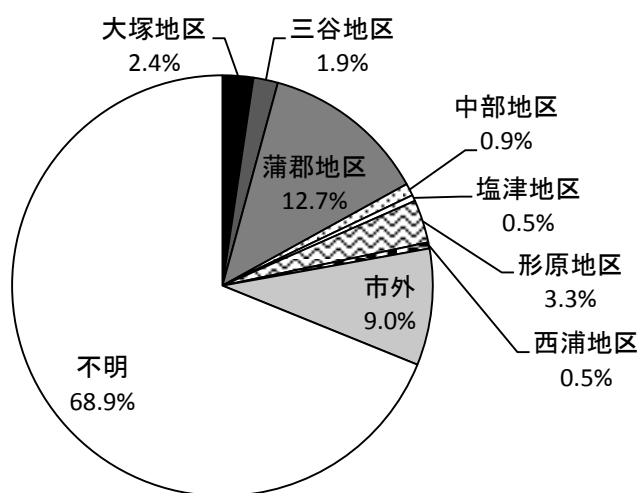
（６）バス利用が考えられる目的別の目的地と外出頻度

①通勤・通学

通勤・通学における目的地は、「蒲郡校区」が12.7%と最も高く、次いで、「市外」(9.0%)、「形原校区」(3.3%)となっている。

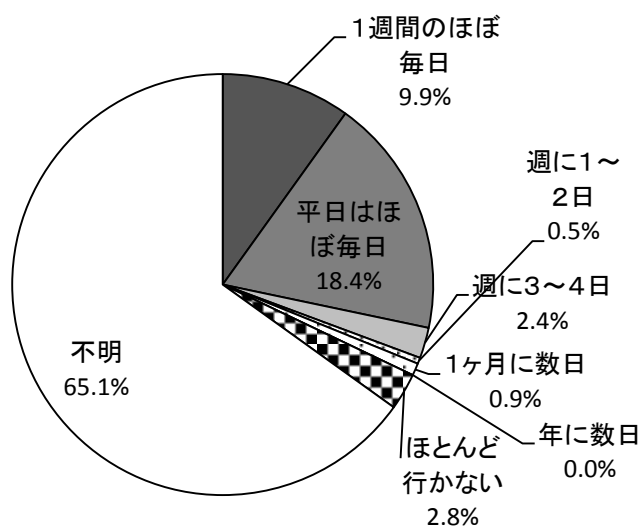
外出頻度は、「平日ほぼ毎日」が18.4%と最も高く、次いで、「1週間のほぼ毎日」(9.9%)、「ほとんど行かない」(2.8%)となっている。

図表 7- 16 通勤・通学における目的地



(SA)n=212

図表 7- 17 通勤・通学における外出頻度



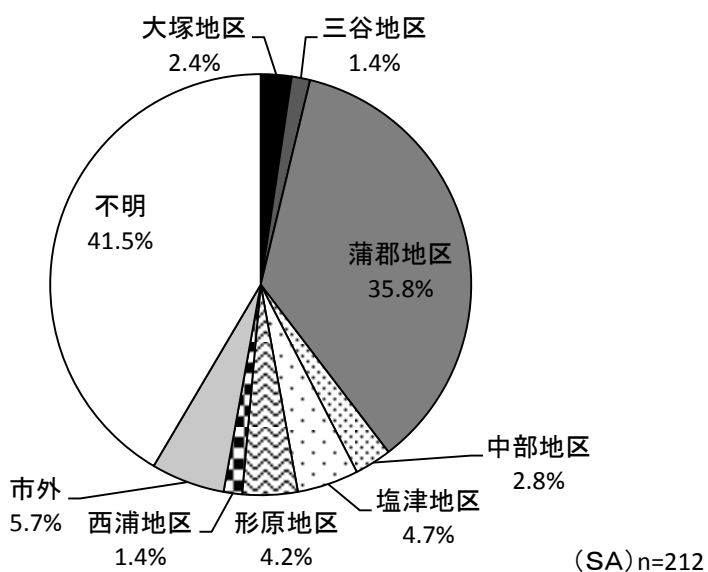
(SA)n=212

②買い物・娯楽

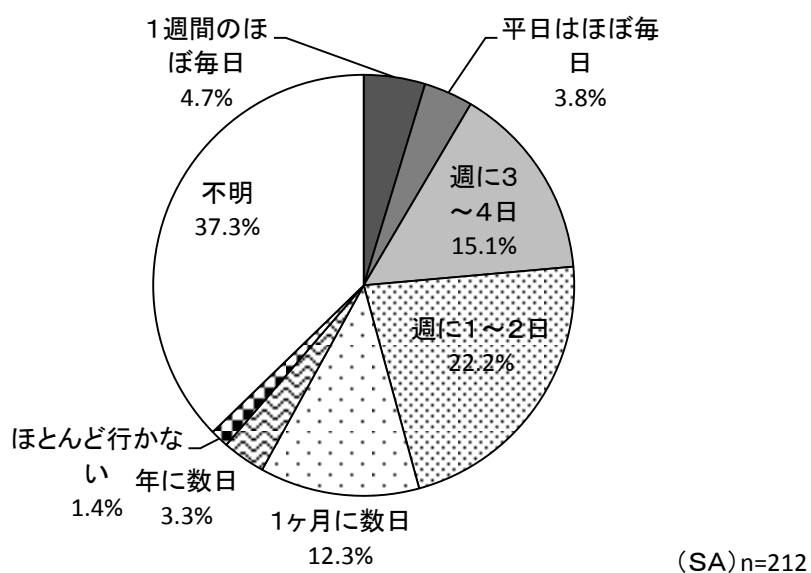
買い物・娯楽における目的地は、「蒲郡校区」が35.8%と最も高く、次いで、「市外」(5.7%)、「塩津校区」(4.7%)となっている。

外出頻度は、「週に1～2日」が22.2%と最も高く、次いで、「週に3～4日」(15.1%)、「1ヶ月に数日」(12.3%)となっている。

図表 7- 18 買い物・娯楽における目的地（年齢別・居住地別）



図表 7- 19 買い物・娯楽における外出頻度（年齢別・居住地別）

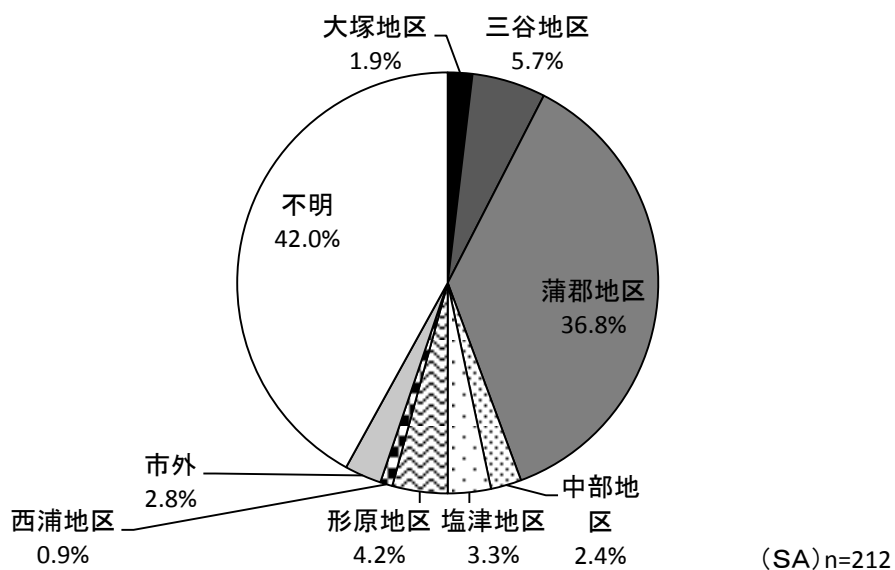


③病院（通院）

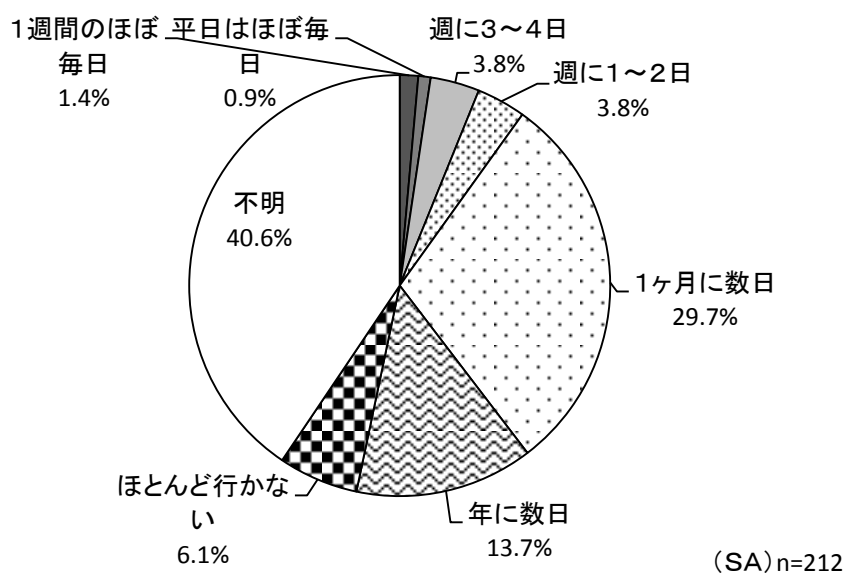
病院（通院）における目的地は、「蒲郡校区」が 36.8%と最も高く、次いで、「三谷校区」（5.7%）、「形原校区」（4.2%）となっている。

外出頻度は、「1ヶ月に数日」が 29.7%と最も高く、次いで、「年に数日」（13.7%）、「ほとんど行かない」（6.1%）となっている。

図表 7- 20 病院（通院）における目的地（年齢別・居住地別）



図表 7- 21 病院（通院）における外出頻度（年齢別・居住地別）

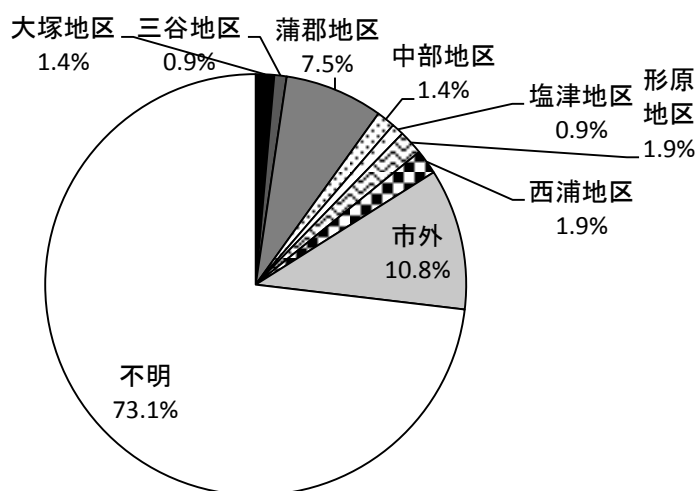


④その他

その他における目的地は、「市外」が 10.8%と最も高く、次いで、「蒲郡校区」(7.5%)、「形原校区」(1.9%) となっている。

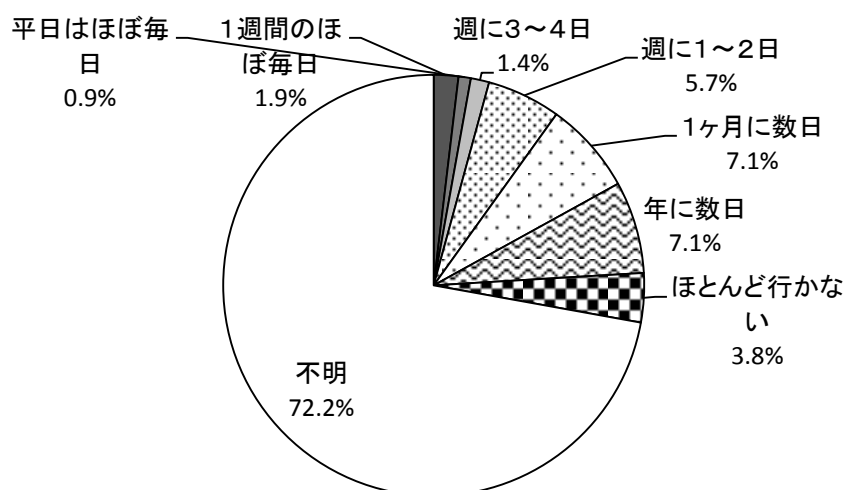
外出頻度は、「年に数日」と「1 ヶ月に数日」が 7.1%と最も高く、次いで、「週に 1～2 日」(5.7%) となっている。

図表 7- 22 その他における目的地（年齢別・居住地別）



(SA)n=212

図表 7- 23 その他における外出頻度（年齢別・居住地別）



(SA)n=212